

セネガル共和国
理数科教育改善プロジェクトフェーズ2
中間レビュー評価調査報告書

平成27年5月
(2015年)

独立行政法人国際協力機構
人間開発部

人間
JR
15-066

セネガル共和国
理数科教育改善プロジェクトフェーズ2
中間レビュー評価調査報告書

平成27年5月
(2015年)

独立行政法人国際協力機構
人間開発部

序 文

セネガル共和国（以下、「セネガル」と記す）の初等教育は、総就学率が 67.2%（2000 年）から 93.9%（2011 年）まで達したものの、教育の修了率は 2006 年の 49.7%から 2011 年の 66.2%にとどまっており、ミレニアム開発目標（MDGs）に示された「全児童が初等教育の全課程を修了する」という目標の達成は極めて難しい状況にあります。初等教育修了試験の合格率は例年 6 割程度にとどまり、4 割の児童の学びが不十分で、教育の質、特に教員の質の低さが主な要因となっています。児童数急増に伴う教員不足解消のため、セネガル政府は 1995 年からボランティア教員制度を導入するとともに、教員養成校期間を 4 年間から約 6 カ月に短縮したことにより、教員の知識や技能が著しく低下してしまいました。

現職教員研修制度には、クラスターによる教員分科会（C.A.P）と校内研修があり、教員の参加が義務づけられています。しかし、政府による技術的支援は不十分であり、C.A.P の質は低下し、教員の参加動機づけは弱く、参加率は 4～5 割程度にとどまっていました。また、校内研修は約 7 割の教員が年 3 回以上参加しているものの、学校によって研修の質が大きく異なっていました。

こうした状況を受け、JICA は、C.A.P の質向上を目的として、2007 年 12 月から 2011 年 8 月まで、3 州を対象に「理数科教育改善プロジェクト」（以下、「フェーズ 1」と記す）を実施しました。その成果として、教員の C.A.P への参加率の上昇（79%）、教授法の改善等が確認されました。これらの成果を受けて、セネガル国民教育省はフェーズ 1 で開発された現職教員理数科研修の更なる改善と、段階的な全国展開の支援を目的とした技術支援を日本政府に要請し、「理数科教育改善プロジェクトフェーズ 2（以下、「本プロジェクト」と記す）」を開始することになりました。

今般、本プロジェクトの中間レビューを目的として調査団を派遣し、セネガル政府や関係機関との間でプロジェクトの進捗状況の確認、DAC 評価 5 項目に基づいた評価、今後の方向性に関する協議を行いました。

本報告書は、この調査結果を取りまとめたものであり、今後のプロジェクトの実施に活用されることを願うものです。

最後に、本調査にご協力いただいた内外の関係者の方々に謝意を表するとともに、引き続き一層のご支援をお願いする次第です。

平成 27 年 5 月

独立行政法人国際協力機構

人間開発部長 戸田 隆夫

目 次

序 文
目 次
地 図
写 真
略語表

評価調査結果要約表

第1章 中間レビュー調査団の概要	1
1-1 調査団派遣の経緯と目的	1
1-2 調査団の構成	2
1-3 調査日程	2
第2章 プロジェクトの概要	3
2-1 基本計画	3
2-1-1 協力期間	3
2-1-2 対象地域	3
2-1-3 協力内容	3
2-2 プログラムにおける位置づけ	3
2-3 プロジェクト・デザイン・マトリックス (PDM)	3
2-4 実施体制	4
2-4-1 実施機関	4
2-4-2 実施体制	4
第3章 評価の方法	5
3-1 評価設問と必要なデータ・評価指標	5
3-2 評価実施体制	5
3-3 評価実施方法	5
3-3-1 評価実施プロセス	5
3-3-2 評価方法	6
3-4 評価調査の制約・限界	6
第4章 プロジェクトの実績	7
4-1 実績の確認	7
4-1-1 投入実績	7
4-1-2 活動実績	9
4-1-3 成果達成状況	10
4-1-4 プロジェクト目標達成状況 (見込み)	12

4-1-5 上位目標達成状況（見込み）	13
4-2 実施プロセスにおける特記事項	13
第5章 評価結果	15
5-1 評価結果	15
5-1-1 評価5項目による評価	15
5-1-2 阻害・貢献要因	18
第6章 提言・所感	20
6-1 提言	20
6-1-1 プロジェクトの残り期間の進捗	20
6-1-2 プロジェクトの持続性（2015年～）に向けて	20
6-2 所感	20
付属資料	
1. 調査日程表	25
2. ミニッツ（英文）	27
3. ミニッツ（仏文）	42
4. 評価グリッド（英文）	90
5. 評価グリッド（仏文）	105

地 図



- ① パイロット 3 州 : テイエス、ファティック、ルーガ
- ② 拡大第 1 世代 5 州 : カオラック、カフリン、ジュールベル、マタム、サンルイ
- ③ 拡大第 2 世代 6 州 : ダカール、タンバクンダ、ケドゥグ、ジガンシヨール、コルダ、セドゥ

写

真



算数の授業でのグループワークの様子



授業研究を行った教員が作成した授業案



クラスター（C.A.P）による授業研究の様子



州研修レビューの様子



国民教育省でのミニッツ協議



事務次官とレビュー調査団長のミニッツ署名

略 語 表

略語	正式名（仏語・英語）	日本語
ASEI-PDSI	Activity, Student, Experiment, Improvisation – Plan, Do, See, Improve	活動・生徒中心・実験・工夫 －計画・実践・評価・改善 (授業法改善の理念)
BCI	Budget Consolidé d'Investissement	政府投資予算
BF	Budget Fonctionnement	経常予算
C.A.P	Cellule d'Animation Pédagogique	教員分科会
CAP	Certificat Aptitude Pédagogique	教員適正証書
CEAP	Certificat Elementaire Aptitude Pédagogique	小学校教員適正証書
CFEE	Certificat de Fin d'Etudes Elémentaires	初等教育修了資格
CIDA	Canadian Internation Development Agency	カナダ国際開発庁
CRFPE	Centre Régional de Formation de Personnels de l'Education	州研修センター (EFI と PRF を統合)
DAC	Development Assistance Committee	開発援助委員会
DAGE	Direction d'Administration Générale et de l'Equipement	総務機材局
DEE	Direction de l'Enseignement Elémentaire	初等教育局
DFC	Direction de la Formation et de la Communication	研修・コミュニケーション局
DPRE	Direction de la Planification et de la Réforme	教育企画改革局
DSRP (PRSP)	Document de Stratégie de Réduction de la Pauvreté	貧困削減戦略文書
EFA-FTI	Education for All – Fast Track Initiative	「万人のための教育」ファスト・トラック・イニシアティブ
EFI	Ecole de Formation des Instituteurs	小学校教員養成校
FCFA	Franc de la Communauté Financière Africaine	アフリカ金融共同体フラン (セーファーフラン)
IA	Inspection d'Académie	州視学官事務所
IEF	Inspections de l'Education de la Formation	県視学官事務所（長）
INEAD	Institut National d'Etude et d'Action pour le Développement de l'Education	教育開発国立研究所
INSET	In-service Training	現職教員研修
LT	Local Trainer	県トレーナー
M&E	Monitoring and Evaluation	モニタリング・評価

MDGs	Millennium Development Goals	ミレニアム開発目標
MEN	Ministère de l'Education Nationale	国民教育省
M/M	Minutes of Meeting	ミニッツ（協議議事録）
NSC	National Steering Committee	合同調整委員会
NT	National Trainer	中央トレーナー
PAES	Projet d'Appui à l'Amélioration de l'Environnement Scolaire	（セネガル）教育環境改善プロジェクト
PAQEEB	Projet d'Amélioration de la Qualité et de l'Equité de l'Education de Base	基礎教育の質及び公平性改善プロジェクト
PAQUET	Programme d'Amélioration de la Qualité, de l'Equité et de la Transparence	教育の質、公平性及び透明性改善プログラム
PDCA	Plan-Do-Check-Action	PDCA（事業運営）サイクル（計画・実行・評価・改善）
PDEF	Programme Décennal de l'Education et de la Formation	教育訓練 10 ヶ年計画
PDM	Project Design Matrix	プロジェクト・デザイン・マトリックス
PO	Plan of Operation	活動工程表
POBA	Plan d'Opération et Budget Annuel	年間活動・予算計画
PREMST	Projet de Renforcement de l'Enseignement des Mathématiques, des Sciences et de la Technologie	セネガル理数科教育改善プロジェクト
PRF	Pôle Régional de Formation	地方教員研修センター
R/D	Record of Discussion	討議議事録
RT	Regional Trainer	州トレーナー
SG	Secretary General	事務次官
SMASE-WECSA	Strengthening of Mathematics and Science Education in Western, Eastern, Central and Southern Africa	理数科教育強化－西部・東部・中部・南部アフリカ（域内ネットワーク）
SMASSE	Strengthening of Mathematics and Science in Secondary Education	（ケニア）中等理数科教育強化計画
SMASTE	Strengthening Mathematics, Science, and Technology Education	（ザンビア）授業研究支援プロジェクト
SNERS	Système National d'Evaluation du Rendement Scolaire	国家教育達成評価システム
TICAD	Tokyo International Conference on African Development	アフリカ開発会議
USAID	United States Agency for International Development	米国国際開発庁

評価調査結果要約表

1. 案件の概要	
国名：セネガル共和国	案件名：理数科教育改善プロジェクトフェーズ 2
分野：基礎教育	援助形態：技術協力プロジェクト
主管：人間開発部基礎教育第二課	協力金額（評価時点）：約 2.0 億円
協力期間	(R/D)：2011 年 9 月 1 日～2015 年 8 月 31 日（4 年間）
	先方関係機関：セネガル国民教育省
	日本側協力機関：-
	他の関連協力：-
<p>1-1 協力の背景と概要</p> <p>セネガル共和国（以下、「セネガル」と記す）の初等教育は、総就学率が 67.2%（2000 年）から 93.9%（2011 年）まで達したが、初等教育の修了率は 2006 年の 49.7%から 2011 年の 66.2%¹にとどまっており、ミレニアム開発目標（MDGs）に示された「全児童が初等教育の全課程を修了する」という目標の達成は極めて難しい。初等教育修了資格（CFEE）試験合格率は例年 6 割程度にとどまり、4 割の児童の学びが不十分で、教育の質、特に教員の質の低さが主な要因となっている。児童数急増に伴う教員不足解消のため、セネガル政府は 1995 年からボランティア教員制度²を導入するとともに、教員養成期間を 4 年間から約 6 カ月に短縮した³ため、教員の知識や技能が著しく低下した。</p> <p>現職教員研修制度には、クラスターによる教員分科会（C.A.P）と校内研修があり、教員の参加が義務づけられている。しかし、政府による技術的支援は不十分であり、C.A.P の質は低下し、教員の参加動機づけは弱く、参加率は 4～5 割程度であった。校内研修は約 7 割の教員が年 3 回以上参加しているものの、学校によって研修の質が大きく異なる。こうした状況を受け、JICA は、C.A.P の質向上を目的として、2007 年 12 月から 2011 年 8 月まで、3 州を対象に「理数科教育改善プロジェクト」（以下、「フェーズ 1」と記す）を実施した。その成果として、教員の C.A.P への参加率の上昇（79%）、教授法の改善等が確認された。これらの成果を受けて、国民教育省（以下、「教育省」と記す）はフェーズ 1 で開発された現職教員理数科研修の更なる改善と、段階的な全国展開の支援を目的とした技術支援を日本政府に要請した。</p> <p>1-2 協力内容</p> <p>本プロジェクトはセネガルの全 14 州において、州研修と県研修を通じた県トレーナーの養成と C.A.P 及び校内研修への授業研究の定着を通じて、教員の知識向上及び教授法の改善を図り、もって児童の理数科分野の学力向上に寄与するものである。</p> <p>(1) 上位目標： <u>初等教育における児童の理数科に関する学力が向上する。</u></p> <p>(2) プロジェクト目標： <u>理数科に関して児童の学習を支援するための教員の指導力が向上する。</u></p>	

¹ 教育の質、公平性及び透明性改善プログラム（PAQUET）2013～2025 年

² 養成校を修了した者はボランティア教員として学校に勤務できる。その後 2 年の教員経験を経て契約教員となり、更に 2 年の教員経験を経て昇格試験受験資格を得、合格し採用されることで正規または準正規教員となる。

³ 教育制度は初等 6 年、前期中等 4 年、後期中等 3 年であり、教員養成校の学生はすべて中等学校修了者であったが、2012 年より同校入学資格を高校卒業に引き上げた。2013 年現在の養成期間 9 カ月となっている。

(3) 成果：

1. 理数科の継続研修モデルが既存の現職教員研修制度に組み込まれる。
2. トレーナーの研修実施能力が強化される。
3. 理数科に関する教員の教科内容及び教授法にかかる知識が向上する。
4. 理数科の授業研究がクラスター研修及び校内研修で定期的実施される。

(4) 投入（評価時点）

1) 日本側：総投入額：2.0 億円

長期専門家派遣	3 名
短期専門家派遣	2 名
本邦研修	36 名
第三国研修（ケニア）	15 名
機材供与額	112,672 千 FCFA
在外事業強化費	410,213 千 FCFA

2) 相手国側：

カウンターパート（C/P）配置
プロジェクト・マネジャー：1 名
中央トレーナー（NT）：9 名
州トレーナー（RT）：242 名〔パイロット地域（3 州）：52 名、拡大第 1 世代（5 州）：85 名 拡大第 2 世代（6 州）：105 名〕
県トレーナー（LT）：1,855 名（パイロット地域 469 名、拡大第 1 世代：590 名、拡大第 2 世代：796 名）
プロジェクト事務所
ローカルコスト負担（研修、モニタリングに係る交通費 216,006 千 FCFA、プロジェクト事務所光熱水費 など）

2. 評価調査団概要

調査者	団長	田中 紳一郎	JICA 国際協力専門員（教育）／課題アドバイザー
	協力企画	村岡 隆之	JICA 人間開発部 基礎教育第二課
	授業研究	藤井 浩樹	岡山大学大学院 教育学研究科 理科教育講座
	評価分析	伊藤 治夫	株式会社アイコンズ 主任コンサルタント

調査期間 2013 年 11 月 23 日～12 月 12 日

評価種類：中間レビュー

3. 評価結果概要

3-1 実績の確認

(1) アウトプットの達成度

1) 成果 1

指標 1-1：教育省が理数科の継続研修モデルを承認する。

指標 1-2：州視学官事務所（または州研修センター）が作成する年間研修計画に、県研修、クラスター研修、校内研修が組み込まれる。

指標 1-1、1-2 は達成された。一方で指標 1-2 に関しては指標の修正が必要となる。

指標 1-1 に関して、教育省は、2013 年 8 月 30 日のワークショップにおいて「現職研修モデル」文書を承認した。指標 1-2 に関しては、州視学官事務所（IA）が作成する年

間研修計画に県研修、C.A.P、校長研修が組み込まれたことも確認された。しかし、今後、質改善計画の策定は、IA から、県視学官事務所 (IEF) に移管されるため、「モデル」を活用した研修も今後は IEF の年間研修計画へ反映されることが必要となる。

2) 成果 2

指標 2-1 : 州トレーナーによる中央トレーナーの評価結果が 3.0 中 2.4 まで改善する。

指標 2-2 : 中央トレーナーによる州トレーナーの評価結果が 3.0 中 2.4 まで改善する。

指標 2-3 : 州トレーナーによる県トレーナーの評価が 3.0 中 2.3 まで改善する。

研修実施能力に関して、NT の評点は 2.1 (目標 2.4)、拡大第 1 世代の LT の評点は 2.1 (目標 2.3) であり、いずれも目標に未達である。一方で RT、パイロット州の LT は指標を達成しておりトレーナーの能力強化が実現しつつある。

3) 成果 3

指標 3-1 : 拡大第 1 世代 5 州の教員の理解度テストの平均正答率が、プレテストからポストテストにかけて 6% 向上する。

指標 3-1 は中間時点では確認できない。教員の能力改善に係る指標は 2012 年 2 月に実施されたベースライン調査⁴ (プレテスト) と比較すべく、プロジェクト終了前の 2015 年にベースライン調査 (ポストテスト) が計画されている。中間評価のインタビューでは、教員の能力向上に肯定的な見方が基調であり、エンドライン調査における指標の向上が期待される。

4) 成果 4

指標 4-1 : 90% のクラスターが、年 3 回以上 (1・2 年目は 2 回以上) 授業研究の実践活動を実行する。

指標 4-2 : 50% の学校が校内研修において授業研究を実施する。

指標 4-1 は未達、4-2 は中間時点では確認できない。

2012/2013 年度は授業研究を実施している C.A.P は 57% (目標 90%) と低迷した。これはセネガル側の予算執行の遅れから、2012 年に開催予定の県研修、C.A.P の実施が遅れ、その結果、規定数である 3 回の授業研究を実施できない C.A.P が増加したためである。指標 4-2 の校内研修の実施率 (目標 50%) に関しては、中間レビュー時点では適切な指標が取れていない。同指標に関しては、エンドライン調査にて測定し効果を確認することが合意された。

(2) プロジェクト目標の達成度

指標 1 : サンプル教員の授業観察平均スコアが 3.0 中 1.5 まで改善する。

指標 2 : サンプル教員のうち少なくとも授業観察スコア 1.5 達成の教員の割合が 50% まで改善する。

2013 年 6 月に実施された対象 5 県⁵での授業観察の結果、授業観察指標は 1.55 (Max3.00) で目標値 1.5 を達成している。さらに、54.3% の教師が 1.50 以上を獲得しており、これも目標値 (50% 以上) を達成している。しかしこの 2013 年 6 月調査は、ベースライン調査と

⁴ 拡大第 1 世代 5 州のベースライン調査におけるプレテスト (N=612) の平均正答率は 58.6% となっている。

⁵ ベースライン調査対象県である Linguère, Kanel, Foundiougne, Nioro, Kougheul の 5 県。

は異なる教員を対象とし、また標本数も限定される。したがって、現時点でプロジェクト目標達成したとはいえない。

(3) 上位目標の達成度

指標 1 : 各州における初等教育修了資格 (CFEE) 試験の結果が向上する。

指標 2 : プロジェクトが開発する理数科学力テストの結果が向上する。

試験設計の変更により、2012/2013 年の CFEE 試験の結果は全国的に低下した (2011/2012 : 56%→2012/2013 : 31%)。パイロット州では全国平均同等に低下しており (2011/2012 : 53.4%→2012/2013 : 24.6%)、現時点でプロジェクトが CFEE 試験のスコアに影響を与えたとは判断できない。一方で、指標 2 に関しては、2012 年 2 月のベースライン調査において児童 2,480 名を対象に理数科の学力測定がなされている。エンドライン調査 (2015 年 2 月に実施予定) と比較・分析がなされる予定である。

3-2 評価結果の要約

(1) 妥当性 : 高い

セネガルの教育政策文書「教育の質、公平性及び透明性改善計画 (PAQUET) 2013~2025 年」では、教員の能力強化を含め、教育の質改善及び科学、技術、イノベーションの推進に重点が置かれている。本プロジェクトは、セネガル政府の優先課題と整合する。

また、セネガルの児童の理数科学力は不十分であることが、国家教育達成評価システム (SNERS)⁶や、本プロジェクトベースライン調査より確認されている。さらに、セネガルでは契約教員の割合が 59.5%を占めると同時に、教員養成期間の短縮、継続的な現職教員訓練の不足が問題となっていることから、教員の能力向上を目的とした本プロジェクトの妥当性は高い。

(2) 有効性 : 中程度

前述のとおり、授業観察指標は目標値に到達している。指標もベースライン調査結果に基づき、おおむね適切に設定されている。しかし、現時点で入手できる授業観察指標は、サンプル数、ベースライン調査との対象教員が異なることからプロジェクト目標達成の判断根拠とはならない。この判断は、エンドライン調査の結果を待つ必要がある。

成果とプロジェクト目標の因果関係については、計画された 4 つの成果はプロジェクト目標達成に十分である。しかし、C.A.P のモニタリング率は 55%にとどまり、NT、RT によるモニタリングは不十分である。また、校長研修の実施にもかかわらず、多くの教員 (42%) が校長による支援に大きな変化がないと回答している。これらは、モデルが内包する脆弱性といえ、改善の余地がある。以上から、有効性は中程度と判断される。

(3) 効率性 : 高い

セネガル、日本双方からの投入は計画どおりに実施され、量、質、タイミングともに適切である。既に 28.5 千人の教員、3 千人以上の校長に裨益する見込みである。C/P からの本邦研修、第三国研修、日本人専門家に対する満足度も高く、投入は効率的に活用されて

⁶ CI (小学 1 年生)、CE1 (小学 3 年生) 対象にフランス語・算数・理科の学力調査と教育環境に関する調査を隔年で実施する。実施機関は、教育開発国立研究所 (INEAD)。

いるといえる。また既存のクラスター方式教員分科会である C.A.P を用いることは費用対効果を高め⁷、教員 1 人当たりのコストは 11,000FCFA (約 2,366 円)⁸と廉価である。プロジェクト経費のうち、約 80%の研修費用、50%のモニタリング費用はセネガル側負担であるが、中間レビュー時点においては予定金額の 47%が支出済みである。執行の遅れにもかかわらず、当初計画どおりの予算執行がなされている。

(4) インパクト：中程度

上位目標は、児童の成績向上に関する指標を設定しているが、数値上の変化は確認できない。聞き取り調査では、児童の興味や関心、授業への参加が促進されていることが報告されている。また、プロジェクト活動が直接児童の成績に貢献すると回答した教員は限定的である。プロジェクトの児童の成績への寄与はエンドライン調査において分析される予定である。

上位目標以外への波及には、以下が挙げられる。

- ① ASEI⁹や授業研修の手法は他教科においても活用が可能であり、プロジェクトの他教科への波及効果が期待される。
- ② カナダ国際開発庁 (CIDA)、米国国際開発庁 (USAID) はプロジェクトにより構築されたカスケードと C.A.P を用いた研修モデルを活用する予定である。
- ③ またプロジェクト関係者が同国の新カリキュラム開発のワークショップに参加し、プロジェクトで作成されたモジュールの内容をカリキュラムに取り入れる試みが開始されている¹⁰。

(5) 持続性：中程度

国家教育政策である PAQUET (2013～2025 年) では、教員能力の強化、教育の質改善及び科学、技術、イノベーションの推進に重点が置かれている。また、教育省が 2013 年に「PREMST 現職教員研修モデル」を承認したことから、プロジェクトの活動に対して政策レベルの継続的なコミットメントが確保されている。同モデル文書には、関係者の役割・責任が明示されている。プロジェクト終了後も IA、IEF、教員が、本来業務の一部としての活動継続が期待される。一方で、C.A.P の継続には、IA、IEF によるモニタリング体制の再構築が不可欠となる。

予算面での持続性としては、プロジェクト終了後の研修は教員 1 人当たり 1,173 FCFA と既存の C.A.P を用いた低予算での実施が見積もられている。しかし、具体的な予算のリソースは確定していない。技術面においては、NT、RT、LT は一定の研修実施能力を備えている一方で、一部の LT の研修能力不足がみられることから更なる能力強化が求められる。

3-3 効果発現に貢献した要因

(1) 計画内容に関すること

研修レビューの実施

州、県、C.A.P 研修において、研修実施後に関係者によるレビューが実施され改善点が議論及びレビュー報告書が作成されている。これは他州/県間での意見交換の場となり、パイロット州の経験を拡大州に効果的に伝達することに寄与している。

⁷ C.A.P への参加は教員の義務であるため、C.A.P 研修参加者には交通費や日当を支給していない。

⁸ JICA による執行済みの機材供与と在外事業強化費の合計及び先方政府負担による執行済み予算の総計。

⁹ 活動・生徒中心・実験・工夫—計画・実践・評価・改善 (授業法改善の理念)

¹⁰ 改訂されたカリキュラムがいつ印刷され、教員に配布されるか、現時点では未定である。

(2) 実施プロセスに関すること

質の高いモジュールの提供

質の高いモジュールの提供は教員の C.A.P 研修への参加率を高めている。さらに文書による説明のみならず、DVD 教材といった視聴覚教材を用いることにより授業研究に関してのイメージを与えることを促進している。

3-4 問題点及び問題を惹起した要因

(1) 計画内容に関すること

特になし。

(2) 実施プロセスに関すること

① 研修予算執行の遅滞

セネガル側が負担する研修経費の支払いは、セネガルの制度上「立替・精算払い」であり、かつ経費申請手続きが煩雑である。関係者の不十分な理解も重なり、一部の研修トレーナー、参加者への出張旅費の支払いが滞っている。今後も支払いがない場合には、参加者のボイコットなど、プロジェクト活動への影響が予想される。

② モニタリングの不足

C.A.P に関して、交通手段の不足、研修日程の重複などを原因としてモニタリングが十分に実施されていない点が問題視されている。

③ 教員のストライキ

ルーガ州では教員ストライキの影響を受け、C.A.P が実施されない県があった。本件は解決の方向に向かい 2013 年からは計画どおり C.A.P が開始された。しかし、教員のストライキは上位目標の外部条件でもあるため、活動の継続に向けて今後も確認する必要がある。

3-5 結論

プロジェクト終了までに実施されるエンドライン調査とベースライン調査の比較により指標を検証する必要があるものの、PREMST 2 は、プロジェクト終了時までに所定の目的を達成する見込みが高い。

パイロット州を対象とした授業観察を含めたモニタリング活動によれば、観察対象となった 46 名の教員の授業観察指標はプロジェクト目標の 1.5 を超えている。

PREMST 2 は 5 つの評価項目のそれぞれに成果を上げているが、なかでも際立つのは効率性とインパクトである。まず、PREMST はその高い効率性が特徴である。全 8 州、約 28,500 人の教員が、700 カ所で展開する C.A.P に参加しており、この進捗からはプロジェクト終了までには、全国の約 1,300 の C.A.P において約 52,500 人の教員が参加することが見込まれる。さらに、PREMST は参加する教員の全員に研修教材（モジュール）を配布している。これらは、ストライキやボイコット等のプロジェクト運営上の困難にもかかわらず達成されており、PREMST の実施体制（中央、州、県）の各レベルで、高い意欲と優れたチームワークに支えられていることを示す。

フェーズ 1 でも確認されたことであるが、PREMST のインパクトはなお注目に値する。PREMST は、セネガルに由来からある現職研修実践である C.A.P とカスケード式研修を組み合わせたが、この手法は有効であり、現在では他の国際ドナーもこれを模倣している。C.A.P は一定地域の学校に勤める教員が中心校に集まり、公開授業を中心に据えた勉強会である。セネ

ガルでは、契約教員の正規教員への登用試験に授業実技が含まれる。これを受け、多くの C.A.P は、授業実技試験のリハーサルの機会として、年配のベテラン教員が若年の契約教員の授業実技を批評する場へと変容し、あるいはそれすら形骸化していた。PREMST はここに授業研究の思想を持ち込み、従来のやや垂直的・一方的な C.A.P を水平的・互恵的な相互研鑽の場に変容させつつある。既存の教員施策の意味づけを変容させたインパクトは意義深い。

3-6 提言（当該プロジェクトに関する具体的な措置、提案、助言）

以上の評価結果に基づき、中間評価チームは、プロジェクトの残り期間の間に以下の活動がなされることを提言する。

（1）プロジェクトの残り期間の進捗

- ① 中央トレーナーの配置：2013年2月に前プロジェクト・マネジャーは定年のため退官し、教育省付きの中央トレーナーが後任に就いた。その結果、教育省付きの中央トレーナーが空席となったが、その後任人事がなされていない。早急な任命が求められる。
- ② 視学官による C.A.P モニタリングのカバー率の向上：セネガル政府が追加予算を措置したにもかかわらず、視学官による C.A.P モニタリングのカバー率が低い（パイロット 3州：27%、第一次新規 5州：55%、2012/13年）ことが各所で指摘されており、カバー率向上が求められる。
- ③ より迅速な交通費・手当の払い出し：現在の交通費・手当の払い出し手続きが遅滞し、現在までに 2州での研修ボイコットを招いたが、これは今なお存在するリスクであり、より迅速な手続きの導入が求められる。

（2）プロジェクトの持続性（2015年～）に向けて

- ① PREMST が体現した現職教員研修モデル（Formation Continue de PREMST）の活性を維持するために必要な、教育省の活動を構想、計画する。これには以下のような活動が想定される。
 - a. 州視学官事務所（IA）に対する通達（指示／提言／勧奨）の発出
 - b. 「National Review Workshop」の毎年開催の検討（プロジェクト終了後）
 - c. 2015年以降、初等教育局（DEE）のモデル活性維持の責任を明示すべく、所掌記述の改訂
 - d. 中期計画の策定：3～5年程度をめどとする中期計画（2015年を初年度とすることを想定）を策定する。2015年に必要な経費の予算化を含む
- ② 研修・コミュニケーション局（DFC）の事業における PREMST の成果（モジュール、研修モデル、人材）の活用を検討する。

3-7 フォローアップ状況

調査団の提言に基づき、PDM の修正、実施体制の改善を図り、プロジェクトの日常活動の中で提言項目の具現化に対応する。

第1章 中間レビュー調査団の概要

1-1 調査団派遣の経緯と目的

セネガル共和国（以下、「セネガル」と記す）の初等教育は、総就学率が92.5%（2009年）まで達したが、初等教育修了資格（CFEE）試験合格率は60.8%（2009年）にとどまっており、ミレニアム開発目標（MDGs）に示された「全児童が初等教育の全課程を修了する」という目標の達成は極めて難しい。CFEE試験合格率の低さは、教育の質、特に教員の質の低さが主な要因となっている。児童数急増に伴う教員不足解消のため、セネガル政府は1995年からボランティア教員制度を導入するとともに、教員養成期間を4年間から約6カ月に短縮したため、教員の知識や技能が著しく低下した。少なくとも2015年までは毎年約6万人ずつ児童が増加する見込みであり、セネガル政府は今後も教員の短期間での養成を継続するとともに、現職教員研修を通じて、教員の資質向上を図る方針である。

現職教員研修制度には、クラスター研修と校内研修があり、教員の参加が義務づけられている。しかし、政府による技術的支援がないために、クラスター研修は質が低下し、教員にとって参加する意義が薄れ、教員の参加率も4～5割へと低下している。校内研修は約7割の教員が年3回以上参加しているものの、学校によって研修の質が大きく異なる。これに対しJICAは、クラスター研修の質向上を目的として、2007年12月から2011年8月まで、3州を対象に「理数科教育改善プロジェクト」（以下、「フェーズ1」と記す）を実施した。その成果として、教員のクラスター研修参加率の上昇（79%）、教授法の改善、修了資格試験合格率の向上などが確認された。その一方で、ほか11州における本プロジェクトフェーズ1で導入した州研修と県研修の実施を通じた県トレーナー（クラスター代表）の育成、及び全14州における校内研修の質の向上を通じた授業の質改善が更なる課題とされた。

このような状況から、「教育訓練開発計画フェーズ3（PDEF 3）2008～2011年」も初等教育の質を重点分野とし、目標として児童の就学率及び学力向上を掲げて、初等教員の能力強化を優先度の高い戦略として位置づけていた。PDEF 3は現在、「教育の質、公平性及び透明性改善プログラム（PAQUET）2013～2025年」として改定されているが、改定後も引き続き、教員の能力強化を通じた教育の質の向上に重点を置いている。セネガル国民教育省（以下、「教育省」と記す）は、PDEF 3における教員の能力強化に関する施策として、本プロジェクトフェーズ1の成果と経験を踏まえ、州研修と県研修の実施を通じてクラスター研修と校内研修の質を向上させる研修の構成（継続研修モデル）を全国に展開する計画を策定した。

これを受けてJICAは、「理数科教育改善プロジェクトフェーズ2」を、教育省をカウンターパート（C/P）機関として、2011年9月から2015年8月までの4年間の予定で実施中であり、現在3名の長期専門家（チーフアドバイザー、授業研究／理数科教育、業務調整／研修運営）を派遣中である。本プロジェクトは、この計画に係る研修の実施運営体制の構築・強化や、理数科の教科知識や教授法といった研修内容の質改善に関する技術支援を行うものであり、研修経費等の事業予算の大部分を教育省が負担するものである。

今回実施の中間レビュー調査では、以下を目的として実施した。

- ① これまで実施した協力活動を当初計画に照らし、投入実績、活動実績、計画達成度を評価グリッドにまとめ、問題点を整理する。
- ② 計画達成度を踏まえ、評価5項目（妥当性、有効性、効率性、インパクト、持続性）の観

点から、プロジェクトチーム及びセネガル側関係者ととも、プロジェクトの中間評価を行う。

- ③ 上述の評価結果に基づき、プロジェクト終了までの課題と今後の活動計画についてプロジェクトチーム及びセネガル側関係機関と協議し、提言を行う。
- ④ プロジェクト・デザイン・マトリックス（PDM）を見直し、必要に応じて変更を行う。
- ⑤ 評価・協議結果を双方の合意事項としてミニッツ（M/M）に取りまとめる。

1-2 調査団の構成

担当分野	氏名	所属
団長	田中 紳一郎	JICA 国際協力専門員（教育）／課題アドバイザー
協力企画	村岡 隆之	JICA 人間開発部 基礎教育第二課
授業研究	藤井 浩樹	岡山大学大学院 教育学研究科 理科教育講座
評価分析	伊藤 治夫	株式会社アイコンズ

1-3 調査日程

現地調査は、2013年11月23日（土）～12月12日（木）〔うち、JICA 団員は12月1日（日）～12日（木）〕までの期間にて実施された。詳細日程は付属資料1のとおりである。

第2章 プロジェクトの概要

2-1 基本計画

2-1-1 協力期間

2011年9月1日～2015年8月31日（4年間）

2-1-2 対象地域

セネガル全14州

2-1-3 協力内容

（1）上位目標：

初等教育における児童の理数科に関する学力が向上する。

（2）プロジェクト目標：

理数科に関して児童の学習を支援するための教員の指導力が向上する。

（3）成果：

1. 理数科の継続研修モデルが既存の現職教員研修制度に組み込まれる。
2. トレーナーの研修実施運営能力が強化される。
3. 理数科に関する教員の教科内容及び教授法にかかる知識が向上する。
4. 理数科の授業研究がクラスター研修及び校内研修で定期的に行われる。

2-2 プログラムにおける位置づけ

2012年5月に策定（2013年9月改訂）された、わが国の対セネガル国別援助方針では、援助重点分野のひとつとして「基礎的社会サービスの向上」が挙げられており、同項において「教育への公平なアクセスと質の改善のための支援及び教育行政の改善などを行う」ことが明記されている。また、対セネガル JICA 国別事業展開計画においては、援助重点分野である開発課題「基礎的社会サービスの向上」に対応するプログラムとして「基礎教育向上プログラム」が設定されており、本プロジェクトは同プログラムの中核案件として位置づけられている。

2-3 プロジェクト・デザイン・マトリックス（PDM）

JICA では、1990年代前半から、プロジェクト管理手法の一環としてプロジェクト・サイクル・マネジメント（PCM）手法を導入した。PCM 手法において中心的役割を果たすのは、PDM と名付けられたプロジェクト計画概要表である。これは「目標」「活動」「投入」などのプロジェクトの主要構成要素や、プロジェクトをとりまく「外部条件」との論理的相関関係を示したものである。

本プロジェクトにおいても、2011年6月の討議議事録（R/D）締結時に PDM version 1 を策定し、R/D の附属文書として承認した。その後、ベースライン調査の結果を踏まえて指標を設定した PDM version 2 が 2012年12月に承認され、本中間レビューは同 PDM（version 2）に基づいて実施された。PDM は附属資料1（ミニッツ別添）に示す。

2-4 実施体制

2-4-1 実施機関

国民教育省

- プロジェクト・ディレクター : 教育大臣
- プロジェクト・コーディネーター : 教育省初等教育局長
- プロジェクト・マネジャー : 教育省初等教育局職員（専属）

2-4-2 実施体制

教育省内に設立された以下の組織が中心となって活動を実施する。

- ・中央技術チーム（National Technical Team）
中央トレーナー（9名）：州・県視学官、教員養成校教官、現職教員研修センター教官等
- ・州技術チーム（Regional Technical Team）
州トレーナー（全242名）：州・県視学官、教員養成校教官等

第3章 評価の方法

3-1 評価設問と必要なデータ・評価指標

本中間レビュー調査は、①プロジェクトの現状把握・検証〔実施協議で合意された活動計画（PO）に即して活動が実施されており、PDMに定められた期待される効果を上げられる見込みか〕、②DAC評価5項目（妥当性、有効性、効率性、インパクト、持続性）の評価基準からの判断、③プロジェクトの軌道修正の必要はないかの検討、④提言や教訓の導出という手順で行われた。また、調査実施のために必要なデータ・評価指標が検討され、評価グリッドが作成された（付属資料4及び5参照）。

3-2 評価実施体制

本中間レビュー実施のため、日本側・セネガル側による合同評価委員会が設置された。合同評価委員会のメンバーは、以下のとおりである。

	氏名（担当）	所属
セネガル側	Amadou SALL（Mr.）	国民教育省初等教育局（DEE）
	Alioune Badara DIOP（Mr.）	DEE（プロジェクトマネージャー）
	Maba BA（Mr.）	州コーディネーター（IEF Kenel 県）
	Matar Thiam（Mr.）	国民教育省教育企画改革局（DPRE）
	Tapa Demba Sy（Mr.）	DEE（地方コーディネーター）
	Mamadou Seydy LY（Mr.）	国民教育省人事局
	Maimouna DIOP MBOUP（Mrs.）	国民教育省総務機材局（DAGE）
日本側	田中 紳一郎（団長）	JICA 国際協力専門員（教育）／課題アドバイザー
	村岡 隆之（協力企画）	JICA 人間開発部 基礎教育第二課
	藤井 浩樹（授業研究）	岡山大学大学院 教育学研究科 理科教育講座
	伊藤 治夫（評価分析）	株式会社アイコンズ 主任コンサルタント

3-3 評価実施方法

本中間レビュー調査の実施プロセスと評価方法は以下のとおりである。

3-3-1 評価実施プロセス

- ① 計画（PDM ver. 2）に沿って、投入実績、活動実績、計画達成度を確認する。
- ② 計画達成度を踏まえ、評価5項目（妥当性、有効性、効率性、インパクト、持続性）の観点から、プロジェクトの目標達成度及び成果等を評価する。
- ③ 上記の評価結果に基づき、プロジェクト終了までの課題及び今後の活動計画についてプロジェクトチーム、セネガル側関係機関と協議し、提言、教訓を取りまとめる。
- ④ 調査結果を踏まえプロジェクト基本計画の修正点に関する協議を行い、必要に応じて

PDM、PO の関連部分の変更について合意する。

3-3-2 評価方法

- ① 文献・既存資料レビュー
- ② プロジェクト作成モニタリング・評価報告書等、既存報告書の分析
- ③ 中央トレーナー（NT）、州トレーナー（RT）、県トレーナー（LT）及び校長、教員に対する質問票調査
- ④ 関係者聞き取り調査

3-4 評価調査の制約・限界

本中間レビュー調査実施にあたり、以下の制約・限界があった。

① 情報・データの不足

中間レビュー時点（2013年11月）ではPDM指標の達成状況の確認に必要な情報・データが一部入手されておらず、いくつかの指標に関して指標の達成度は確認できていない。これらの指標の達成度の判断は、プロジェクト開始当初（2012年2月）に実施されたベースライン調査¹¹に対応したエンドライン調査（2015年2月実施予定）の結果を待つ必要がある。また今回確認できなかった指標に関しては、聞き取り調査によりその達成の見込みを確認し、評価結果に反映した。

② サンプル数・サンプリングの制約

調査期間の制約により、質問票と聞き取り調査は、プロジェクトが選択した地域において、限られた訪問先を対象に行われた。したがって、本調査の結果から母集団の動向を正確に把握することは困難である。質問票サンプル数は、研修講師26名（NT：4、RT：13、LT：9）、小学校校長：6名、教員：38名である。なお、校長、教員に関しては訪問先の学校及び教育分科会（C.A.P）の参加者のみを対象としたため、サンプリングに偏りがあることが本調査における制約となっている。

¹¹ 州・県・学校という3つの階層のリストを作り、上から順に、無作為抽出をして、合計120の学校を選択した。ただし、州に関しては、①パイロット州、②拡大州、③その他の6州の各ゾーンからサンプルが集まるよう、①パイロット州3州のうち2州、②拡大州5州のうち3州、③その他6州のうち3州と割り当てを決めたうえで、それぞれのグループより無作為抽出を行った。

第4章 プロジェクトの実績

4-1 実績の確認

4-1-1 投入実績

(1) 日本側投入

日本側総投入額は2.0億円で、詳細は以下のとおりである。

1) 専門家派遣 (2013年10月まで)

表4-1に示すとおり、3名の長期専門家と2名の短期専門家が派遣された。

表4-1 専門家派遣実績

区分	指導科目	氏名	派遣期間
長期専門家	チーフアドバイザー	宮崎 岳	2011/09/01-2013/12 現在
	授業研究/理数科教育	松本 知子	2011/09/01-2013/12 現在
	業務調整	斎藤 健介	2013/01/17-2013/12 現在
短期専門家	理科教育	藤井 浩樹	2013/02/28-2013/03/08
	視聴覚教材	田口 明男	2013/03/23-2013/06/21

2) 研修員受入れ (2013年10月まで)

本邦研修には計36名を受け入れ、ケニアアフリカ理数科・技術教育センター (The Centre for Mathematics, Science and Technology Education in Africa) における第三国研修には計15名が参加した。実施された本邦研修及びケニアでの第三国研修の実績は表4-2のとおりである。

表4-2 研修員受入れ状況

区分	研修コース名	人数	受入期間
本邦研修	現職教員研修 (JICA 広島)	2	2011/09/27-2011/10/29
	現職教員研修 (JICA 四国)	4	2012/01/18-2012/02/18
	現職教員研修 (JICA 四国)	3	2013/01/16-2013/02/18
	授業研究 (岡山大学)	11	2012/10/15-2012/11/07
	理数科教育 (JICA 北海道)	2	2013/06/05-2013/07/20
	青年リーダー研修 (初等理数科教育)	4	2013/09/09-2013/09/26
	授業研究 (岡山大学)	10	2013/10/03-2013/10/29
第三国研修 (ケニア)	現職教員研修	5	2012/01/13-2012/01/29
	現職教員研修	5	2012/09/22-2012/07/10
	現職教員研修	5	2013/09/02-2013/09/13

3) 機材供与 (2013年10月まで)

2013年10月までに24,494千円¹²に相当する機材を供与した。主な供与機材はプロジェクト車両(1台)、及び中央、地方の州視学官事務所に対するコンピュータ、コピー機、プリンター等である。

4) 在外事業強化費 (2013年9月まで)

研修教材印刷費、専門家出張経費、年次レビュー会合開催費、技術交換費等として、2013年9月までに約89,177千円の在外事業強化費が支出された(表4-3参照)。これは当初計画の61%の執行率である〔費目別の支出については、付属資料3「ミニッツ」のAnnex 2(セーファーフラン建て)参照〕。

表4-3 JICA側、セネガル側経費支出実績

(千円)

投入要素	計画	実績	割合
セネガル側	100,030	46,958	47%
日本側	146,914	127,155	87%

出典：プロジェクト資料

(2) セネガル側投入

1) 施設等の提供

国民教育省内にプロジェクト事務所、専門家執務スペース及びそれに係る光熱費が提供されている。

2) カウンターパート (C/P) 配置

中央の教育省レベルでは、プロジェクト・マネジャー1名、中央トレーナー(NT)：9名の計10名、州レベルには州、県視学官事務所及び州研修センター(CRFPE)の職員を中心として、州トレーナー(RT)が計242名〔パイロット地域(3州)：52名、拡大第1世代(5州)：85名、拡大第2世代(6州)：105名〕配置されている(詳細は付属資料3「ミニッツ」のAnnex 1参照)。各教員分科会(C.A.P)には校長、理数科を専攻した教員等を中心として県トレーナー(LT)¹³が計1,855名(パイロット地域469名、拡大第1世代：590名、拡大第2世代：796名)が配置されている。

2013年2月に前任者の定年退職に伴い、新プロジェクトマネージャーとして初等教育局職員の中でNTを勤めていた人物が後任として任命された。その後、NTは補充されておらず、現在でもNTの人数が1名足りない状況となっている。

3) ローカルコスト負担

セネガル側のローカルコスト負担額は、「日本側投入の在外事業強化費」に記載した表4-3のとおり、2013年9月までに約46,958千円が執行された。経費分担については、研修(州、県、クラスター)費用の約80%及びモニタリング費用の約50%がセネガルの政府投資予算(BCI)に計上され、セネガル負担が計画されている。2013年の9月

¹² 1円≒4.6FCFAにて換算(2013年12月現在)

¹³ プロジェクトの持続性にかんがみ、LTは現在、以前から存在するクラスター代表と呼ばれ、県研修を通常業務として実施することが計画されている。

現在の執行率は計画の47%となっており、当初執行の遅れがみられたものの、プロジェクトの中間時点において約半分が執行されており、ほぼ計画どおりといえる。

4-1-2 活動実績

活動は、成果2において2011年から続いている先方政府の予算執行の問題¹⁴により県研修及びクラスター研修の実施が遅れたこと、成果3、4の学校レベルでの校長の支援状況、校内研修の実施状況に係る情報が不足していることを除きおおむね計画に沿って実施された。成果2について、2013年度は計画どおり研修が実施されることが見込まれている。また成果3、4に係る学校レベルでの活動に関しては、2015年2月に実施が計画されているエンドライン調査において、実施状況を確認することが計画された。

表4-4 主な活動の実績（2013年10月）

活動	進捗	備考
0 ベースライン・エンドライン調査を実施する	ほぼ計画どおり	
1-1 州研修（ワークショップ）及び県研修を導入する	計画より遅れて実施	フェーズ2の研修モデルはワークショップにおいて承認された。公式文書の発行を待っている。
1-2 研修教材、モニタリング・評価ツール等を開発する	計画より遅れて実施	遠隔教育、授業研究教材の改定も含む
1-3 研修及び授業のモニタリング・評価の仕組みを導入する	ほぼ計画どおり	
1-4 各研修の実施時及び実施前後におけるモニタリング・評価を実施する	ほぼ計画どおり	
1-5 プロジェクト活動及び理数科教育に関する広報活動を実施する	ほぼ計画どおり	パンフレット、ポスター、ステアリングコミティ、承認ワークショップでの情報共有
2-1 中央トレーナーに対する研修を実施する	計画より遅れて実施	
2-2 州トレーナーに対する研修を実施する	計画どおり実施	
2-3 県トレーナーに対する研修を実施する	計画より遅れて実施	セネガル側予算の遅滞による
3-1 教員に対するクラスター研修を実施する	計画より遅れて実施	セネガル側予算の遅滞による

¹⁴ 2012年の予算を利用し、2011年分の出張費・食費を執行する手続きを行ったため、2012年11月より開始する予定であった研修を実施する予算不足となった。

3-2 教員の理数科にかかる自己学習と、クラスター研修の内容の授業実践を促進するための校長研修を実施する	計画どおり実施	
3-3 校長が教員の自己学習と研修内容の授業実践にかかる支援を実施する	活動実施状況を確認するための情報不足	エンドライン調査にて実施状況確認
4-1 クラスター研修及び校内研修において授業研究を実施する	計画より遅れて実施	
4-2 教員の授業案作成とその授業案の実践を促進するための校長研修を実施する	ほぼ計画どおり	
4-3 校長が教員の授業案作成・実践にかかる支援を実践する	活動実施状況を確認するための情報不足	エンドライン調査にて実施状況確認

4-1-3 成果達成状況

成果1：理数科の継続研修モデルが既存の現職教員研修制度に組み込まれる。

指標 1-1：教育省が理数科の継続研修モデルを承認する。

指標 1-1 に関して国民教育省は、2013年8月30日のワークショップにおいて「セネガル理数科教育改善プロジェクト（PREMST）」により開発された「PREMST 現職研修モデル（Modele de Formation Continue du PREMST）」を承認した。今後、承認された研修モデルに係る公式文書が発行される予定となっている。同モデル文書には、研修実施の手順、関係者の具体的な役割分担、研修実施予算の積算等が含まれている。

指標 1-2：州視学官事務所（または州研修センター）が作成する年間研修計画に、県研修、クラスター研修、校内研修が組み込まれる。

指標 1-2 に関しては、州視学官事務所が作成する年間研修計画に県研修、C.A.P、校長研修が組み込まれたことが確認された。しかし、世銀及び「教育のためのグローバル・パートナーシップ（GPE）」が支援しているプロジェクトである「基礎教育の質及び公平性改善プロジェクト（PAQEED）」が開始されたことにより、州レベルの州視学官事務所による年間研修計画は廃止になり、同プロジェクトの支援対象は県視学官事務所（IEF）が作成する質改善計画¹⁵に沿って実施されることに変更された。同指標は PREMST の研修事業をセネガル政府が作成する改善計画に組み込むことにより、他ドナー等の支援を視野に入れた将来的な持続性の確保をめざしたものである。このため同指標を「州視学官事務所が作成する年間研修計画」から「県視学官事務所が作成する質改善計画」に変更することが協議のうえ、決定された。

成果2：トレーナーの研修実施運営能力が強化される。

指標 2-1：州トレーナー（RT）による中央トレーナー（NT）の評価結果が 3.0 中 2.4 まで改善

¹⁵ Plan d'Amélioration de la Qualité : PAQ

する。

指標 2-2 : 中央トレーナー (NT) による州トレーナー (RT) の評価結果が 3.0 中 2.4 まで改善する。

指標 2-3 : 州トレーナー (RT) による県トレーナー (LT) の評価が 3.0 中 2.3 まで改善する。

研修実施能力に関して、NT の評点は 2.1 (目標 2.4)、拡大第 1 世代の LT の評点は 2.1 (目標 2.3) であり、いずれも目標に未達である。聞き取り調査の結果からも、一部の LT に関しては C.A.P を実施する能力が十分とは言えないことが指摘されている。一方で RT、パイロット州¹⁶の LT は指標を達成しておりトレーナーの能力強化が実現しつつある。

表 4-5 講師の研修実施能力

指標	目標	ベースライン (2012年2月)	中間時点モニタリング (2013年6月)
2-1 RT による NT の評価	2.4	2.1	2.1
2-2 NT による RT の評価	2.4	2.1	2.4
2-3 RT による LT の評価	2.3	2.0	(パイロット州) 2.3 (拡大第 1 世代) 2.1

出典：プロジェクト資料

成果 3 : 理数科に関する教員の教科内容及び教授法にかかる知識が向上する。

指標 3-1 : 拡大第 1 世代 5 州の教員の理解度テストの平均正答率が、プレテストからポストテストにかけて 6% 向上する。

指標 3-1 は中間レビュー時点では確認できない。教員の能力改善に係る指標は 2012 年 2 月に実施されたベースライン調査 (プレテスト)¹⁷と比較すべく、プロジェクト終了前の 2015 年にベースライン調査 (ポストテスト) が計画されている。中間レビューの聞き取り調査では、教員の能力向上に肯定的な見方が基調であり、研修講師への質問票 (N=26) の結果からも 92.3% の講師が「教員の理数科の能力が向上したか」という質問に対して、「向上した」もしくは「とても向上した」と回答しており、エンドライン調査における同指標の向上が期待される。

成果 4 : 理数科の授業研究がクラスター研修及び校内研修で定期的実施される。

指標 4-1 : 90% のクラスターが、年 3 回以上 (1・2 年目は 2 回以上) 授業研究の実践活動を実行する。

表 4-6 に示すとおり、2012/2013 年度は授業研究を実施しているパイロット州の C.A.P は 57% (目標 90%)、モジュール遠隔研修を実施している拡大第 1 世代の C.A.P は 74% と前年度に比較して低迷した。これはセネガル側の予算執行の遅れから、2012 年に開催予定の県研修、C.A.P の実施が遅れ、その結果、規定数である 3 回の授業研究を実施できない C.A.P が増加し

¹⁶ セネガルには全部で 14 州あり、プロジェクトは 3 段階において、2013 年後半までに全国展開する計画にある。各段階の対象州は以下のとおり。①パイロット 3 州：ティエス、ファティック、ルーガ、②拡大第 1 世代 5 州：カオラック、カフリン、ジュルベル、マタム、サンルイ、③拡大第 2 世代 6 州：ダカール、タンバクンダ、ケドゥグ、ジガンシヨール、コルダ、セドゥ。

¹⁷ 拡大第 1 世代 5 州のベースライン調査におけるプレテスト (N=612) の平均正答率は 58.6% となっている。

ためである。

表 4-6 パイロット州及び拡大第 1 世代の C.A.P における
授業研究・モジュール遠隔研修実施状況

	2011/2012	2012/2013
パイロット州	92%	57%
拡大第 1 世代	99.6%	74%

出典：プロジェクト資料

指標 4-2：50%の学校が校内研修において授業研究を実施する。

指標 4-2 に関しては、中間レビュー時点では指標に係る情報が収集されていない。例えばフアティック州では 800~900 校中、約 450 校分からのデータが収集されており、校内研修の実施率は 85%であるが、校内研修を実施していない学校が報告書を提出していない可能性があり、このデータから指標の達成度を判断することはできない。同指標の達成度については、無作為抽出により実施されたベースライン調査と同じ対象校への実施が計画されているエンドラン調査の結果を待って判断することが合意された。

4-1-4 プロジェクト目標達成状況（見込み）

プロジェクト目標：理数科に関して児童の学習を支援するための教員の指導力が向上する。

指標 1：サンプル教員の授業観察平均スコアが 3.0 中 1.5 まで改善する。

2013 年 6 月に実施された対象 5 県¹⁸での授業観察の結果（表 4-7 参照）、指標 1 のサンプル教員の授業観察指標は 1.55（最大 3.0）となり、目標値である 1.5 を達成している。

指標 2：サンプル教員の内少なくとも授業観察スコア 1.5 達成の教員の割合が 50%まで改善する。

指標 2 に関しても、54.3%の教師が 1.50 以上を獲得しており、目標値（50%以上）を達成している。しかしこの 2013 年 6 月の中間モニタリング調査では、ベースライン調査とは異なるサンプル教員を観察対象としていることと、観察した教員の人数も限定されていることから、この結果をもってプロジェクト目標達成したとは判断できない。

表 4-7 授業観察指標結果

指標	ベースライン (2012 年 2 月)	中間モニタリング (2013 年 6 月)	増減
指標 1：授業観察指標（平均）	1,36 (N=68)	1,55 (N=46)	0.19
指標 2：平均 1.5 以上獲得した教員の割合	42.6%	54.3%	11.7

出典：プロジェクト資料

¹⁸ ベースライン調査対象県である Linguère, Kanel, Foundiougne, Nioro, Kounghoul の 5 県。

4-1-5 上位目標達成状況（見込み）

上位目標：初等教育における児童の理数科に関する学力が向上する。

指標 1：各州における初等教育修了資格（CFEE）試験の結果が向上する。

指標 1 に関しては、指標となる CFEE 試験の内容及び採点方法の変更により、表 4-8 に示すとおり、2010/2011 年に比較して、2012/2013 年の CFEE 試験の全国平均の合格率は大幅に低下した (-21.4)。一方で、フェーズ 1 から支援を継続し、現在は C.A.P において授業研究が実施されているパイロット州においても、全国平均同等に CFEE 試験の合格率が低下している (-25.0)。このことから、現時点でプロジェクトの実施が、CFEE 試験の合格率に影響を与えたとは判断できない。

また、同試験結果はプロジェクトが対象としている理数科に限定されないこと、プロジェクトによる授業改善が児童の成績の向上に影響を与えるには長期的な視点が必要となることなどから、CFEE 試験の結果を上位目標の判断基準に用いることの妥当性は低いと判断される。このため PDM の指標から CFEE 試験の結果を削除することが協議のうえ、合意された。

表 4-8 CFEE 試験結果

	2010/2011	2012/2013	増減
パイロット州	56.0%	31.0%	-25.0
拡大第 1 世代	53.0%	24.6%	-28.4
拡大第 2 世代	58.9%	37.2%	-21.7
全国平均	55.3%	33.9%	-21.4

出典：National Statistical Yearbook

指標 2：プロジェクトが開発する理数科学力テストの結果が向上する。

指標 2 に関しては、2012 年 2 月のベースライン調査において、プロジェクトにより作成したモジュールの内容を元にして、独自に開発した学力テストを用いて、児童 2,480 名を対象に理数科の学力測定が実施された。今後、ベースラインと同じ対象校において実施されるエンドライン調査（2015 年 2 月に実施予定）の結果と比較・分析がなされることで上位目標の達成状況を判断する。

表 4-9 理数科学力テスト結果

	児童数	算数	理科
パイロット州	433	43.7%	40.3%
拡大第 1 世代	970	37.6%	34.6%
拡大第 2 世代	1,077	37.2%	35.3%

出典：プロジェクト資料

4-2 実施プロセスにおける特記事項

表 4-10 に示すとおり、上位目標の指標、成果指標、成果指標の入手手段の一部をプロジェク

トの現状状況に合わせて PDM を変更し、中間レビュー調査期間に実施した協議においてすべての関係機関と共有した。

表 4-10 PDM 変更点

PDM ver.2 (変更前)	PDM ver.3 (変更後)	変更理由
<p><u>上位目標指標 1</u> 各州における初等教育修了資格 (CFEE) 試験の結果が向上する。</p>	<p>削除</p>	<p>CFEE は理数科に限定した試験ではない。 2012/2013 年度より試験方式が変更され、プロジェクト実施前後の比較ができない。</p>
<p><u>成果指標 1-2</u> 州視学官事務所が作成する年間研修計画に、県研修、クラスター研修、校内研修が組み込まれる。</p>	<p>県視学官事務所が作成する質改善計画に、県研修、クラスター研修、校内研修が組み込まれる。</p>	<p>PAQEED により、州視学官事務所が作成する年間研修計画は廃止され、代わりに県視学官事務所による質改善計画が作成されることとなった。</p>
<p><u>成果 4 指標入手手段</u> 50%の学校が校内研修において授業研究を実施する。</p>	<p>指標入手手段をベースライン調査とする。</p>	<p>本指標は無作為抽出により対象校を選定したエンドライン調査結果を用いて測定する必要がある。</p>

第5章 評価結果

5-1 評価結果

5-1-1 評価5項目による評価

(1) 妥当性：高い

1) 政策との整合性

- ・セネガルの教育政策文書「教育の質、公平性及び透明性改善プログラム（PAQUET）2013～2025年」では、教員の能力強化を含め、教育の質改善及び科学、技術、イノベーションの推進に重点が置かれている。本プロジェクトは、セネガル政府の優先課題と整合する。
- ・セネガル政府の教育予算は2000年の1,050億FCFAから2011年には4,320億FCFAと大幅に増加（年間平均増加率12.5%）しており、教育を優先課題とするセネガル政府の戦略と合致する。

2) ニーズとの整合性

- ・セネガルにおいては、児童の理数科学力は不十分であることが、2010年にフランス語、算数、理科の学科で実施された国家教育達成評価システム（SNERS）¹⁹の結果、さらには本プロジェクトのベースライン調査時の児童への学力テストにより確認されている。
- ・セネガルでは契約教員の割合が59.5%を占めると同時に、教員養成期間の短縮、継続的な現職教員訓練の不足が問題となっていることから、教員の能力向上を目的とした本プロジェクトの妥当性は高い。
- ・セネガルでは教員分科会（C.A.P）及び校内研修の実施に係る規程はあるものの、研修で実施する具体的活動の内容が規定されていないため、その実施状況及びその質は各C.A.P、学校でばらつきがある。

3) 日本の援助政策・協力計画との整合性

- ・わが国は、対セネガル事業展開計画における援助重点分野として開発課題「基礎的社会サービスの向上」に対応するプログラムとして「基礎教育向上プログラム」が設定されている。本プロジェクトは同プログラムの中核案件として位置づけられている。
- ・2013年6月に実施されたTICAD V 横浜行動計画（2013～2017年）である2,000万人の子どもに対する質の高い教育の提供とも合致するものであることから、日本の援助政策や協力計画と合致している。

4) 手段の妥当性

- ・プロジェクトで導入を計画している授業研究は日本の公立学校を中心に広く実施されている特徴的な活動であり、本プロジェクトは本邦研修等を通して日本の教育経験を積極的に活用している。
- ・カスケード方式により研修講師を育成し、既に制度化されているC.A.Pを用いて恒常的に研修内容を普及するアプローチは、セネガルの教育制度を適切に活用しており、支援の手段としての妥当性は高い。

¹⁹ CI（小学1年生）、CE1（小学3年生）対象にフランス語・算数・理科の学力調査と教育環境に関する調査を隔年で実施する。実施機関は教育開発国立研究所（INEAD）。

(2) 有効性：中程度

1) プロジェクト目標達成度

- ・前述のとおり、プロジェクト目標である授業観察指標はプロジェクトの中間時点で目標値に到達している。さらに指標もベースライン調査結果に基づき、おおむね適切に設定されていると判断できる。しかし、現時点で入手できる授業観察指標は、サンプル数、ベースライン調査との対象教員が異なることからプロジェクト目標達成の判断根拠とはならない。プロジェクト目標の判断には、ベースライン調査と同じ調査対象校に対して実施が計画されているエンドライン調査の結果を待つ必要がある。
- ・中間レビューによる授業研究の観察²⁰の結果からは、プロジェクトにより作成されたモジュールを活用した授業研究が各 C.A.P において実践されていることが確認された。授業研究の実施が教員の教授法の知識、教材に対する理解を向上させることにより授業改善が促進され、プロジェクト目標である授業観察指標の向上に貢献していることが想定される。

2) 成果とプロジェクト目標の因果関係

- ・成果とプロジェクト目標の因果関係については、計画された4つの成果はプロジェクト目標を達成するために不可欠な成果であるが、成果の一部は達成度を判断するために十分なデータが確保されていないことから確認ができない。
- ・質問票の結果 (N=24) からは 38%の講師のみが中央トレーナー (NT)、州トレーナー (RT) によるモニタリングが十分に行われていると回答している。さらに交通手段の不足、C.A.P 開催日の重複などの理由により、NT、RT による C.A.P へのモニタリング実施率が 55%にとどまるなど、不十分なモニタリングの実施状況が確認された。
- ・C.A.P 及び校内研修の促進には校長による教員へのサポートが重要となることが確認された。一方で、プロジェクトにより校長研修が実施されたにもかかわらず、質問票の結果からは多くの教員 (42%) がプロジェクトの実施前後で校長による支援に大きな変化がないと回答している。

(3) 効率性：高い

1) 成果達成度

- ・既に 28.5 千人の教員、3 千人以上の校長に裨益しており、最終的には約 55 千人の全初等教員、約 6 千人の校長といった広い裨益範囲が期待される。
- ・プロジェクトによる投入は成果の発現に貢献していると判断される。しかし、活動 3-3 「校長が教員の自己学習と研修内容の授業実践にかかる支援を実施する」及び活動 4-1 「クラスター研修及び校内研修において授業研究を実施する」に関しては、今後その実施状況を適切に把握し、効率性の評価に反映することが求められる。

2) 投入の実施状況

- ・カウンターパート (C/P) への質問票の結果 (N=22) からはすべての回答者が本邦研修及びケニアでの第三国研修参加者が研修内容に満足しており、91%が派遣された日本人専門家 (短期、長期) の支援に満足している。また 76%が供与された機材に満足

²⁰ 中間レビュー調査団、藤井准教授 (授業研究) により、カオラック州、ファティック州、ティエス州の3州で計4回の授業観察を行った。

度を示していることから、プロジェクトの投入は質・量ともに適切であると判断できる。

- ・プロジェクト経費のうち、約 80%の研修費用、50%のモニタリング費用はセネガル側負担であるが、中間レビュー時点においては予定金額の 47%が支出済みである。執行の遅れにもかかわらず、当初計画どおりの予算執行がなされており、プロジェクトの中間時点においては計画どおりと判断される。

3) 費用対効果

- ・教員への研修に既存のクラスター方式教員分科会である C.A.P を用いることは費用対効果を高め²¹、教員 1 人当たりのコストは 11,000FCFA (約 2,366 円)²²と廉価である。
- ・PDM 指標の達成度確認のための計量データの収集には多くの時間が必要となり、質的な分析をする時間が十分に確保できない。そのためプロジェクトでは、PDM 指標を大幅に絞り込むことにより、効率的な指標の収集・分析を可能とした。

(4) インパクト：中程度

1) 上位目標達成予測

- ・上位目標は、児童の成績向上に関する指標を設定しているが、初等教育修了資格(CFEE)試験の合格率の結果やプロジェクトの学力テスト結果といった指標による数値上の変化は現時点では確認できない。プロジェクトの児童の成績への寄与はエンドライン調査において分析される予定である
- ・聞き取り調査では、児童の興味や関心、授業への参加が促進されていることが報告されている一方で、質問票の結果からは 31%のみの教員がプロジェクトは児童の成績に貢献すると回答しており、同時に教員の授業改善による児童の成績向上は、長期的に取り組む必要があることが指摘されている。

2) 波及効果

- ・上位目標以外への波及効果としては、以下のものが挙げられる。
 - ① ASEI²³や授業研修の手法は他教科においても活用が可能であり、プロジェクトの他教科への波及が期待される。
 - ② カナダ国際開発庁 (CIDA)、米国国際開発庁 (USAID) はプロジェクトにより構築されたカスケードと C.A.P を用いたモデルを活用した研修を計画している。
 - ③ プロジェクトの C/P が同国の新カリキュラム開発のワークショップに参加し、プロジェクトで作成されたモジュールの内容をカリキュラムに反映する取り組みが開始されている²⁴。

(5) 持続性：中程度

1) 政策・制度面

- ・国家教育政策である PAQUET (2013~2025 年) では、教員能力の強化、教育の質改善及び科学、技術、イノベーションの推進に重点が置かれている。また、教育省は 2013

²¹ C.A.P への参加は教員の義務であるため、C.A.P 研修参加者には交通費や日当を支給していない。

²² JICA による執行済みの機材供与と在外事業強化費の合計及び先方政府負担による執行済み予算の総計。

²³ 活動・生徒中心・実験・工夫ー計画・実践・評価・改善 (授業法改善の理念)

²⁴ 改訂されたカリキュラムがいつ印刷され、教員に配布されるか、現時点では未定である。

年に「PREMST 現職教員研修モデル」を承認したことから、プロジェクトの活動に対して政策レベルの継続的なコミットメントが確保されているため、政策・制度面における持続性は高い。

2) 組織面

- ・「PREMST 現職教員研修モデル」には、関係者の役割・責任が明示されている。プロジェクト終了後は州・県中心の現職教員研修が展開される予定となっており、中央・州トレーナーの多くが州・県視学官として本来業務として、プロジェクトで得られた知見を活用して活動を継続することが計画されている。
- ・一方で C.A.P、校内研修がプロジェクト開始前の形骸化した状況に戻ることを回避するためにも、州・県視学官による定期的なモニタリング体制の再構築が不可欠となる。

3) 財政面

- ・財政面からの持続性としては、プロジェクト終了後の研修は教員 1 人当たり 1,173 FCFA (約 255 円)²⁵と、既存の C.A.P を用いた低予算での研修の実施が想定されており、財政的な持続性が期待される。しかし、プロジェクト終了後の具体的な予算のリソースは確定していない。

4) 技術面

- ・技術面においては、NT、RT、県トレーナー (LT) は一定の研修実施能力を備えている一方で、一部の LT の研修能力不足がみられることから、技術面でのプロジェクト効果の持続に向けて、LT に対する更なる能力強化が求められる。

5-1-2 阻害・貢献要因

(1) 効果発現に貢献した要因の分析

1) 計画内容に関すること

研修レビューの実施

州・県研修に関して、研修実施後に関係者によるレビュー (Bilan) が実施されて改善点が議論され、レビュー報告書が作成されている。レビューの実施は他州・県間での意見交換の場となり、パイロット州の経験を拡大第 1・2 世代の州に効果的に伝達することに寄与している。

2) 実施プロセスに関すること

質の高いモジュールの提供

授業研究、遠隔研修に関する質の高いモジュールの提供は、教員の C.A.P 研修への参加率を高めている。さらに文書による説明のみならず、DVD 教材といった視聴覚教材を用いることにより、授業研究に関してのイメージを与えることを促進している。

(2) 効果発現を阻害した要因の分析

1) 計画内容に関すること

特になし

2) 実施プロセスに関すること

²⁵ プロジェクト終了後の県研修及び年次レビュー実施予定費用から算出したもの。C.A.P を用いた研修の実施も想定されているが、C.A.P への参加は既存の制度にて教員の義務とされているため、実施に際して費用を生じるものではない。

a) 研修予算執行の遅滞

セネガル側が負担する研修経費の支払いは、セネガルの制度上「立替・精算払い」であり、かつ経費申請手続きが煩雑である。関係者の不十分な理解も重なり、一部の研修トレーナー、参加者への出張旅費の支払いが滞っている。今後も支払いがない場合には、参加者のボイコットなど、プロジェクト活動への影響が予想される。

b) モニタリングの不足

C.A.P に関して、交通手段の不足、研修日程の重複などを原因としてモニタリングが十分に実施されていない点が問題視されている。

c) 教員のストライキ

ルーガ州では 2012 年度の教員ストライキの影響を受け、一部の C.A.P が実施されない県があった。本件は解決の方向に向かっており 2013 年からは計画どおり C.A.P が開始されている。しかし、教員のストライキは上位目標の外部条件でもあるため、活動の継続に向けて今後も確認する必要がある。

第6章 提言・所感

6-1 提言

6-1-1 プロジェクトの残り期間の進捗

(1) 中央トレーナーの配置

2013年2月に前プロジェクト・マネジャーは定年のため退官し、教育省付きの中央トレーナーが後任に就いた。その結果、教育省付きの中央トレーナーが空席となったが、その後任人事がなされていない。早急な任命が求められる。

(2) 視学官による教員分科会 (C.A.P) モニタリングのカバー率の向上

セネガル政府が追加予算を措置したにもかかわらず、視学官による C.A.P モニタリングのカバー率が低い（パイロット3州：27%、第一次新規5州：55%、2012/13年）ことが各所で指摘されており、カバー率向上が求められる。

(3) より迅速な交通費・手当の払い出し

現在の交通費・手当の払い出し手続きが遅滞し、現在までに2州での研修ボイコットを招いたが、これは今なお存在するリスクであり、より迅速な手続きの導入が求められる。

6-1-2 プロジェクトの持続性 (2015年～) に向けて

(1) 「セネガル理数科教育改善プロジェクト (PREMST)」が体现した現職教員研修モデル (Formation Continue de PREMST) の活性化を維持するために必要な、教育省の活動を構想、計画する。これには以下のような活動が想定される

- ① 州視学官事務所 (IA) に対する通達 (指示/提言/勸奨) の発出
- ② 「National Review Workshop」の毎年開催の検討 (プロジェクト終了後)
- ③ 2015年以降、初等教育局 (DEE) のモデル活性維持の責任を明示すべく、所掌記述の改訂
- ④ 中期計画の策定：3～5年程度をめどとする中期計画 (2015年を初年度とすることを想定) を策定する。2015年に必要な経費の予算化を含む

(2) 研修・コミュニケーション局 (DFC) の事業における PREMST の成果 (モジュール、研修モデル、人材) の活用を検討する

6-2 所感

本件では、セネガル側カウンターパート (C/P)、日本側専門家チームのリーダーシップがかみ合って、高いパフォーマンスを示している。

C.A.P は公開授業による学校群を単位とした研修制度で、セネガル教育省が省令で定める義務研修である。セネガル初等教育教員の60%を占める契約教員は、正規教員への昇進試験の際に授業実技試験が課されるが、C.A.P はその練習の場として活用 (契約教員が授業を公開し、同僚、上司がやや一方的にそれを批評) されるか、形骸化しているのが実態であった。PREMST 1は、

授業研究と ASEI を導入し、互惠的・水平的な関係性を持ち込むことで、やや一方的な「研修機会」であった C.A.P の活性化に貢献している。実はこれらはフェーズ1のパイロット3州から得られた成果である。フェーズ2では、C.A.P の活性化をもたらすこのモデルを全州普及に取り組むものであるが、中間地点においては、さまざまな困難（研修参加者の交通費手当の支給遅延、一部地域での教員ゼネストなど）を乗り越え、全体としては効率的に進捗している。これは中央、地方にて本件に従事するセネガル側、日本側両関係者のチームワーク、意欲の高さを示しており、大変高く評価できよう。

PREMST は残り期間に所定の活動を遂行することで、プロジェクト成果を達成することが見込まれる。この過程を通じて、PREMST モデルのみでなく授業研究や現職研修一般が抱える以下のジレンマを、何らかの仕掛けを施して多少でも是正できれば、同モデルの有用性は更に高まるだろう。

- ・ 授業観察観点の設定は講評会の円滑な運営を助けるが、同時に総体としての授業、子どもの反応、思考、学びが看過されてしまう傾向。
- ・ C.A.P や校内研修を終えた時点で、教員たちはある種の達成感を得る一方で、修得した内容の実際の授業への適用がおざなりになってしまう傾向。

(持続性)

文書準備・翻訳の日程都合上、ミニッツ (M/M) 本文では詳らかにできなかったが、本件の持続性は二層構造であると思われる。

①PREMST モデルによる C.A.P、校内研修の実施継続 (IE、IEF) (モデル文書に詳述)

②上記活性維持のための、教育省施策展開

「②」には中央が主催する、地方関係者を対象としたイベント類が想定される。以下議論の端緒としての素案であるが、PREMST 最終年にセミナー開催し、同時にこれを第1回の教育省主催の授業研究集会として位置づけ、プロジェクト終了後教育省が毎年開催し、頻度は年1〜2回程度で、地方を巡回して開催するのもよいだろう。各地方での取り組みの紹介、モデル文書の改訂の案内、改訂版の配布等の機会とし、これを通じて各地における同研修の活性の維持をめざす。大学教育学部の教員にも紹介し、研究テーマとして授業研究に取り組む研究者の出現を働きかけ、学会からの現場への刺激の実現。優良実践の表彰。教育省新聞での広報等。

持続のための財源には、当然のことながら教育省政府予算がまず想定される。同時に、現実的で有効な選択肢に他ドナー資金 [Global Partnership for Education (GPE) による PAQUEB] も財源として想定し得る。前者については教育省や財務省当局への働きかけが予算確保への一手段である。後者については、PREMST 専門家が定例のドナー会合に出席し、PREMST モデルを周知することが第一歩となる。

中間レビュー調査においては、C.A.P や校内研修の公正性をテーマとしては扱わなかった。C.A.P や校内研修の展開、PREMST モデル式の授業研究の活用具合の地域間の格差が把握され、上記②の教育省による施策展開は、これが反映されるとするのは一層望ましい。PREMST モデルの効率性・有効性が明らかになりつつあるので、今後は公正性についても点検することでモ

デルの信憑性は更に高まるだろう。

付 属 資 料

1. 調査日程表
2. ミニッツ（英文）
3. ミニッツ（仏文）
4. 評価グリッド（英文）
5. 評価グリッド（仏文）

1. 調査日程表

セネガル理数科教育改善プロジェクトフェーズ2 (PREMST2)
中間レビュー調査日程

	日付		授業研究	団長	協力企画	評価分析コンサルタント
			藤井 浩樹准教授	田中 紳一郎	村岡 隆之	伊藤 治夫
1	23-Nov	Sat	-	-	-	日本発
2	24-Nov	Sun	-	-	-	セネガル着
3	25-Nov	Mon	-	-	-	JICA事務所打合せ プロジェクト専門家打合せ・ヒアリング 教育省表敬(初等教育局長) PMヒアリング
4	26-Nov	Tue	-	-	-	朝: 移動(ダカール⇒サンルイ) 現場視察①@サンルイ IA, IEF(フォーカルポイント:FP)ヒアリング 州トレーナーヒアリング
5	27-Nov	Wed	-	-	-	現場視察①@サンルイ(続き) 授業観察(2校) 教員、校長ヒアリング IEF(FP)ヒアリング 夕方: 移動(サンルイ⇒ティエス)
6	28-Nov	Thu	-	-	-	州研修レビューWS視察@ティエス NTヒアリング 州コーディネータヒアリング 副州コーディネータヒアリング 夕方: 移動(ティエス⇒ルーガ)
7	29-Nov	Fri	-	-	-	現場視察②@ルーガ 朝: 移動(ルーガ⇒リンゲール) 午前: 授業観察(2校) 教員、校長ヒアリング 午後: 中央・州・県トレーナー、 IEF(FP)、ヒアリング 夕方: 移動(リンゲール⇒ルーガ)
8	30-Nov	Sat	-	日本発		現場視察②@ルーガ(続き) 朝: 移動(ルーガ⇒ケベメール) クラスター研修(授業研究)視察 県トレーナーヒアリング 午後: 移動(ケベメール⇒ダカール)
9	1-Dec	Sun	-	セネガル着、団内打合せ		資料整理・評価グリッド取りまとめ 団内打合せ
10	2-Dec	Mon	-	JICA事務所打合せ プロジェクト専門家打合せ・ヒアリング 教育省表敬(事務次官、初等教育局長) PMヒアリング		
11	3-Dec	Tue	日本発	現場視察③@ティアワンヌ(ティエス) 朝: 移動(ダカール⇒ティアワンヌ) 州トレーナーヒアリング 授業観察(1校) 教員、校長ヒアリング 夕方: 移動(ティアワンヌ⇒ダカール)	資料整理・評価グリッド取りまとめ 文書作成	
12	4-Dec	Wed	セネガル着	事務次官ヒアリング 初等教育局長ヒアリング PMヒアリング NT・RTヒアリング 文書作成		
13	5-Dec	Thu	現場視察④@カオラック JICA事務所にて団内打ち合わせ 移動(ダカール⇒カオラック) 午後: 授業観察(1校) 観察した授業に関する協議 教員、校長ヒアリング	DPREヒアリング 新カリキュラム(STP,OEB)に関するヒアリング DCF(ORFPE担当局)ヒアリング 文書作成		

14	6-Dec	Fri	現場視察⑤@フンジュン 朝:移動(カオラック=>フンジュン) 授業観察(2校) 観察した授業に関する協議 教員、校長ヒアリング 州トレーナーヒアリング 夕方:移動(フンジュン=>カオラック)	ミニッツ協議		
15	7-Dec	Sat	朝:移動(カオラック=>ンプール)	朝:移動(ダカール=>ンプール)		
			現場視察⑥@ンプール(ティエス) クラスター研修(授業研究)観察 教員、校長ヒアリング 県トレーナーヒアリング 午後:移動(ンプール=>ダカール)			
16	8-Dec	Sun	ミニッツ作成・団内打ち合わせ			
17	9-Dec	Mon	ミニッツ協議			
18	10-Dec	Tue	ミニッツ署名 JICA事務所報告 大使館報告 夕方セネガル発	ミニッツ署名 JICA事務所報告 大使館報告 別案件の調査へ合流	ミニッツ署名 JICA事務所報告 大使館報告 夕方セネガル発	
19	11-Dec	Wed	移動日	移動日	-	移動日
20	12-Dec	Thr	大阪着	東京着	-	東京着

**MINUTES OF MEETING
BETWEEN
THE MID-TERM REVIEW TEAM
AND
THE AUTHORITIES CONCERNED OF THE GOVERNMENT OF
THE REPUBLIC OF SENAGAL
ON
JAPANESE TECHNICAL COOPERATION
FOR
STRENGTHENING MATHEMATICS, SCIENCE, AND TECHNOLOGIES
EDUCATION PROJECT (PREMST) PHASE II**

The Japanese Mid-Term Review Evaluation Team (hereinafter referred to as “the Team”), organized by the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as “JICA”) headed by Mr. Shinichiro TANAKA, visited the Republic of Senegal from 25 November to 10 December 2013 for the purpose of the review of the Project on “Strengthening Mathematics, Science and Technologies Education Project Phase II (PREMST Phase II)” (hereinafter referred to as “the Project”).

During its stay in Senegal, the Team had a series of discussions with the Senegalese authorities concerned, jointly evaluated the achievements of the Project, and exchanged views for further improvement of the Project.


As a result of the discussions, both sides agreed upon the matters referred to in the document attached hereto.

This document has been prepared in French and English language, each text being equally authentic. In case of any divergence in the original translation, the original text in either or both languages may be modified as appropriate upon further consultation and agreement between the two parties.

Dakar, 9 December 2013


Mr. Shinichiro TANAKA
Leader
Mid-term Evaluation Team
Japan International Cooperation Agency




Pour le Ministre
et par Délégation
Le Secrétaire
Général
Baba Ousseynou LY
Mr. Baba OUSSEYNOU LY
Secretary-General
Ministry of National Education
Republic of Senegal

ABBREVIATIONS

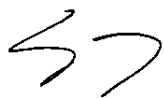
AFD	Agence Française de Développement
ASEI	Activity, Student, Experiment, Improvisation
BCI	Budget Consolidation Investment
BLS	Base-line survey
C.A.P	Cellule d'Animation Pédagogique
CAP	Certificat d'Aptitude Pédagogique
CEAP	Certificat Elementaire d'Aptitude Professionnelle
CFEE	Certificat de Fin d'Etudes Elémentaires
CIDA	Canadian International Development Agency
CNBST	Coordination Nationale des Blocs Scientifiques et Technologiques
CRFPE	Centre Régional de Formation des Personnels de l'Education
DAGE	Direction de l'Administration Générale et de l'Equipement
DEE	Direction de l'Enseignement Elémentaire
DPRE	Direction de la Planification et de la Réforme de l'Education
DRH	Direction des Ressources Humaines
EFI	Ecole de Formation des Instituteurs
ELS	End-line survey
F CFA	Franc de la Communauté Financière Africaine
IA	Inspection d'Académie
IEF	Inspection de l'Education et de la Formation
JICA	Japan International Cooperation Agency
LT	Local Trainer [Formateur Local]
M&E	Monitoring and Evaluation [Suivi et évaluation]
MoE	Ministry of National Education
NT	National Trainer [Formateur National]
PAQEEB	Projet d'Amélioration de la Qualité et de l'Equité dans l'Education de Base
PAQUET	Programme d'Amélioration de la Qualité, de l'Equité et de la Transparence
PEQT 2	Programme d'Education de Qualité pour tous Phase 2
PDM	Project Design Matrix [Cadre Logique du Projet]
PO	Plan of Operation
PREMST	Projet de Renforcement des Mathématiques, des Sciences et de la Technologie
RT	Regional Trainer [Formateur Régional]
SNERS	Système National d'Evaluation des Rendements Scolaires
STI	Sciences, Technologies and Innovations
USAID	United States Agency for International Development

57



TABLE OF CONTENTS

1. Introduction.....	3
1-1. Background and Purpose of the Review.....	3
1-2. Period of the Evaluation	3
1-3. Members of the Team.....	3
1-4. Methodology of Evaluation.....	4
1-5. Change of the Project Design Matrix.....	4
2. Evaluation	5
2-1. Achievements of the Project.....	5
2-1-1. Outputs	5
2-1-2. Project Purpose	7
2-1-3. Overall Goal	7
2-2. Implementation Process	8
2-2-1 Promoting factors.....	9
2-2-2 Hindering factors.....	9
2-3. Evaluation by the Five Criteria	10
2-4 Observation of lesson study in PREMST 2.....	12
2-5. Conclusion	13
3. Suggestions	13



1. Introduction

1-1. Background and Purpose of the Review

The purpose of this mission is to review the progress of project activities and assess the project achievement after two years and two months since the commencement in September 2011. The project is scheduled to be terminated in August 2015.

The objectives of the Mid-Term Review are;

- (1) To review the implementation of activities under the Project according to Project Design Matrix (PDM) and Plan of Operation (PO);
- (2) To have common understanding on the progress of the activities and issues related to project implementation among the members both in Senegalese and Japanese parties;
- (3) To have a common vision for achieving targets of the Project and future cooperation between Senegal and Japanese parties.

1-2. Period of the Evaluation

The Mid-term Review was conducted from November 25 to December 10, 2013 in Senegal.

1-3. Members of the Team

The Mid-Term review was jointly conducted by both Senegalese and Japanese parties. The members of the parties are shown below:

Senegalese party:

Amadou SALL (M.)	Division of Teaching/Learning, DEE
Alioune Badara DIOP (M.)	Projet Manager of PREMST, DEE
Maba BA (M.)	Inspector of IEF Kanel, Regional Coordonnator of Matam
Matar Thiam (M.)	Division of M&E, DPRE
Abdou Guèye	Monitoring office of projets, DPRE
Papa Demba Sy (M.)	Division Coordonnator of DEE
Mamadou Seydy LY (M.)	Head of training office, DRH
Maimouna DIOP MBOUP (Mme.)	Division of Budget and Finance, DAGE

Japanese party:

Shinichiro TANAKA (Mr.)	Team Leader
Hiroki FUJII (Dr.)	Senior Advisor (Education), JICA Team Member (Lesson Study), OKAYAMA University
Takayuki MURAOKA (Mr.)	Team Member (Cooperation Planning), Staff, Basic Education Division II, Basic Education Group, Human Development Department, JICA
Haruo ITO (Mr.)	Team Member (Education Analysis), Senior Consultant, Social System Department, ICONS International Cooperation Inc.



1-4. Methodology of Evaluation

The evaluation is designed to verify the following aspects based on the PDM and Plan of Operations (PO):

- 1) Achievement of the Project based on the PDM indicators
- 2) Implementation Process
- 3) Five Evaluation Criteria of DAC (Development Assistance Committee, OECD)

Table 1: Definitions of the five criteria are as follows;

Relevance	Degree of compatibility between the development assistance and priority of policy of the target group, the recipient, and the donor.
Effectiveness	A measure of the extent to which an project attains its objectives.
Efficiency	Efficiency measures the outputs - qualitative and quantitative - in relation to the inputs. It is an economic term which is used to assess the extent to which aid uses the least costly resources possible in order to achieve the desired results. This generally requires comparing alternative approaches to achieving the same outputs, to see whether the most efficient process has been adopted.
Impact	The positive and negative changes produced by a development intervention, directly or indirectly, intended or unintended. This involves the main impacts and effects resulting from the activity on the local, social, economic, environmental and other development indicators.
Sustainability	Sustainability is concerned with measuring whether the benefits of an activity are likely to continue after donor funding has been withdrawn. Projects need to be environmentally as well as financially sustainable.

Conclusions are drawn from the results of the mid-term evaluation and recommendations are made by both sides.

1-5. Change of the Project Design Matrix

The original PDM was approved in July 2011. The second version of PDM was approved with the result of the BLS (base-line survey) in December 2012 in order to agree on the indicators. During the review, the second version of PDM is amended after the discussion with the Ministry of National Education and JICA, reflecting discussion made during the review as outlined in the table below.

Table 2: Changes made to PDM

PDM ver. 2	PDM ver.3 (modification)	Reasons
The result of CFEE improves (Overall Goal)	Eliminate this indicator	CFEE has all subjects not only Math and science. Change of testand scoring system of CFEE in 2013 hinders before-after analysis.
IA integrates the model in their annual training plan (output 1)	IEF integrates the model in their Quality Improvement Plan	IA terminated to implement their academic training plan of PEQT 2. Under the PAQEEB, IEF develops their Quality Improvement Plan.
50% of schools integrate Lesson Plan in their internal cells (output 4)	“Base-line survey” is added as mean of verification.	The indicator will be verified by using a sampling survey in the project end-line survey.

2. Evaluation

2-1. Achievements of the Project

2-1-1. Outputs

- Output 1: A continuing training model is integrated in the existing training framework**
- Output 2: The capacity of trainers is strengthened**
- Output 3: Teachers’ knowledge on subject contents of mathematics, science and technology and teaching method is enhanced**
- Output 4: Lesson study is regularly practiced at the cluster and school levels**

With the efforts of both the Senegalese and the Japanese sides, most of the planned activities have been implemented successfully and outputs are being produced which is expected to contribute to the attainment of the Project Purpose. The details of the achievement of each Output seen in as follows;

Output 1: A continuing training model is integrated in the existing training framework

(1) The model is validated by the MoE

The document titled “*Modele de Formation Continue du PREMST*” was validated by the Ministry of Education in the workshop held on 30th August 2013. Ministry now plans to disseminate the document to all of the 14 regions in Senegal. Ministry will issue a letter to IA and IEF soon, to orientate materialization of the model.

(2) IA integrates the model in their annual training plan

According to the field survey of mid-term evaluation, it is confirmed that IA in Saint-Louis and Louga regions has already integrated PREMST training in their annual training plan. (Quality Improvement Plan: “*Plan de Formation de l’Académie*”). Meanwhile, the Ministry considers that the Quality Improvement Plan to be prepared by IEF, under the PAQEER therefore indicators of the Output needs to be modified accordingly.

Output 2: The capacity of trainers is strengthened

(1) NT score evaluated by the RT improved

A National Team has been established at central level. The team is composed of the Project Manager (DEE) and 9 NT from CNBST, CRFPE and IA etc., to develop training modules and tools, to carry out Regional Training for RT and M&E activities. NT, evaluated by RT in June 2013, scored 2.1 and it is yet to reach the targeted 2.4 (as seen in the Table 3). The specific reasons for the low score of NT were not clearly mentioned in the interviews. It was sensed, however, that RT were not very much satisfied with the delay in regional training in 2012 (mentioned later), and it may have affected their RT’s on NT.

Table 3: Trainers’ Capacity (0-3 scale)

Indicators	Target	Baseline (2012 Feb.)	2013 June
NT (evaluated by RT)	2,4	2.1	2.1
RT (evaluated by NT)	2,4	2.1	2.4
LT (evaluated by RT)	2,3	2.0	2.3 (Pilot 3 Region) 2.1 (1st extension, 5 Region)

Source: BLS and Project M&E Report

(2) *RT score evaluated by the NT improved*

A Regional Team has been established at all 14 regions. Each IA assigned one Regional Coordinator and Regional Assistant Coordinator and RTs as members of Regional Team to carry out Local Training forand M&E activities at regional level. The total number of RT is 242 (Pilot: 52, 1st extension: 85, 2nd extension: 105). RT score evaluated by NT has been improved from 2.1 (baseline) to 2.4 (June 2013) and attained the target level. In the interview session, most of the NT and LT agreed that RT has enough capacity to improverevise modules and implement the local training.

(3) *LT score evaluated by the RT improved*

In total of 1,855 LT (pilot: 469, 1st extension: 590, 2nd extension: 796) has been assigned in all 14 regions. LT score evaluated by the RT improved from 2.0 (baseline) to 2.3 (June 2013) and attained the target value in the pilot regions. However, the indicator in the 1st extension (5 regions) has not attained the target as of June 2013. Some interviewees RT expressed that some LT has a difficulty to implement the cluster training for the teachers.

Output 3: Teachers’ knowledge on subject contents of mathematics, science and technology and teaching method is enhanced

(1) *The percentage answered of pre-test and post-test of training in 5 new regions improves by 6%*

There is no data made available to measure teacher’s subject knowledge on mathematics and science at the time of the mid-term evaluation. The pre-test results of 612 teachers from 5 regions of the 1st extension was 58.6% in average, according to the BLS (February 2012). Post-test is planned as part of ELS (end-line survey) in 2015.

Output 4: Lesson study is regularly practiced at the cluster and school levels

(1) *90% of Clusters implement at least three practical activities of lesson per year. (Twice for each 1st and 2nd years)*

Implementation rate of Cellule d’Animation Pédagogique (C.A.P) (% of clusters that implement C.A.P) has being constantly exceeding 90% throughout PREMST since 2007, and it was 92% in 2011/12. However, in 2012/2013, the rate was dropped to 57%. There are two major reasons; first regional and local training were delayed which disturb the annual planning of 3 C.A.P in the Pilot Region; and second, there were teacher’s boycott in some districts of Louga, this is due to the boycott of qualification exams by inspectors.

Table 4: Implementation Rate of C.A.P

	2011/2012	2012/2013
Pilot Region	92%	57%
1 st Extension (5 Regions)	99.6%	74%

Source: Project M&E Report

Louga region plans 6 sessions of the cluster training (C.A.P) instead of standard 3 in 2013/2014, to supplement the shortage.

(2) *50% of schools make use of the lesson study in school-based training*

A sampled survey is scheduled toward the end of the project to verify the output. During mid-term evaluation there are no available data to verify this indicator. The implementation rate of internal C.A.P will be verified throught sample survey toward the end of the project in 2015.

2-1-2. Project Purpose

To improve the quality of teaching to support learning mathematics, science and technology

Teachers have actively participated in the cluster training, which has led to the improvement in their attitude and teaching skills. The results of monitoring and evaluation conducted by the project show that the both indicators of Project Purpose have reached the target level.

(1) *The sample teachers obtained 1.5 out of 3.0 in average score of the lesson observation tool.*

As a result of the classroom monitoring in 5 districts¹ using M&E Tool of Lesson Observation in June 2013, the average score of Lesson Observation was 1.55 (target:1.50) which indicates satisfactory level of teacher's lessons. (Seen in Table 5)

Table 5: Analysis of Lesson Observation

Indicators	Baseline (2012 Feb.) (n=68)	June 2013 (n=46)	Increase
Average score of teacher's Lesson Observation	1.36	1.55	0.19
Percentage of teacher obtained 1,5 or more	42.6%	54.3%	11.7

Source: BLS and Project M&E Report

(2) *More than 50% of sample teacher obtained 1.5 out of 3.0 in average score of the lesson observation tool.*

54.3% of sample teachers (target: 50%) were obtained over 1.5 or more in the Lesson Observation in June 2013. The percentage of teachers attained at the target level.

2-1-3. Overall Goal

To improve the academic performance at elementary level in the subject of mathematics, science and technology

It is not possible to gauge probability of project contribution to the academic achievement and promotion rate of pupils in the future. The cluster training has just started since October 2008, therefore the impact at classroom level has not been seen yet. However, considerable numbers of interviewees pointed out changes observed with their students, such as that pupils are more interested in the subject when class is taught with the PREMST approach. This fact indicates there is potential of achieving the Overall Goal in the future, if teachers continuously participate in the cluster training and practice PREMST approach in their lessons.

(1) *The result of CFEE (Indicator in PDEF) improves*

The national average of CFEE score was sharply decreased in 2012/2013 due to the change in examination design and scoring system of the CFEE. Table 6 indicates that scores are declined in all categories, and there is no statistical significance in the variation. At this moment, it is difficult to point out that the project has an impact on the CFEE score.

¹ 5 districts are Linguère, Kanel, Foundiougne, Niore Kounghoul where the project has involved since 2011

7

Table 6: Pass Rate of CFEE

	2010/2011	2012/2013
Pilot Region	56.0 %	31.0 %
First Extension	53.0 %	24.6 %
Second Extension	58.9 %	37.2 %
National Average	55,3 %	33,9 %

Source: National Statistical Yearbook

(2) *Result of performance test developed by the Project improves*

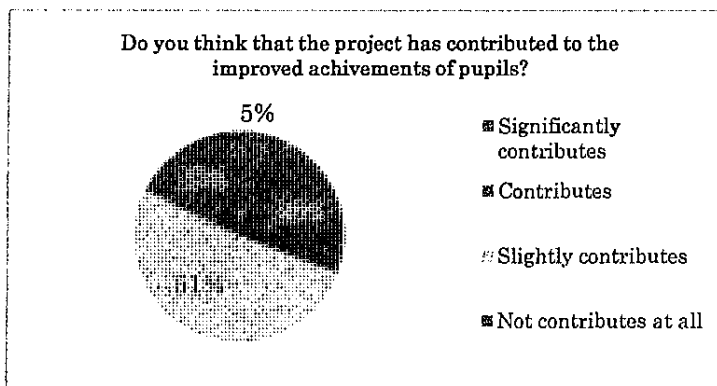
In the BLS in February 2012, the project conducted a test to 2,480 pupils to measure pupil's ability in Math and science using question sheet developed by the project. The project will conduct the ELS to measure an impact of PREMST on the pupil's achievement. The Table7 shows that the results of the BLS.

Table 7: Average Accuracy Rate

	No. of pupile	Math	Sciences
Pilot Region	433	43,7%	40,3%
1st Extension	970	37,6%	34,6%
2 nd Extension	1,077	37,2%	35,3%

Source: BLS (2012 Feb.)

Meanwhile, graphics below shows only 31% (N=44) of teachers answered that the Project has contributed to the improved pupil's achievement as seen in the Figure 1 bellow.



Source: Mid-term evaluation (Des. 2013)

Figure1: Project contribution on quality of learning

It seemed that CFEE exam result is not appropriate as project overall goal indicators as its scores are not comparable due to the exam design change applied from June 2013. Even if they are comparable, PRMST, just an INSET program, would only have very limited influence on a national exam score. Currently, it would be more reasonable to expect that PREMST to have stronger influences on student learning on the subject topic that are included in the training modules. With this consideration, CFEE score is removed from PDM as an indicator of overall goal.

2-2. Implementation Process

Most of the activities in the PDM have been implemented as planned. Meanwhile following activities were delayed or no significant progresses have not been confirmed due to the lack of information.

1-1 The PREMST model was validated in a workshop organized by the Ministry of Education National, but a formal ministerial letter to institutionalize the model has not been issued yet.

57

Handwritten signature

2-3 Some local training were delayed in 2012 due to slowness in mobilizing Senegal state budget of catering.

3-3 Progress of the activities need to be followed up.

4-3 Progress of the activities need to be followed up.

Table 8: Activities of the Project

Activity	Progress
0 To conduct Baseline and End-line survey	Nearly on schedule
1-1 To introduce regional and local trainings	Nearly on schedule
1-2 To develop instruments and M&E tools etc for trainings	Implemented in different timing as original plan
1-3 To introduce M&E system for training and lesson	Nearly on schedule
1-4 To conduct review workshops for sharing the outcomes with stakeholders	Nearly on schedule
1-5 To conduct public relations about maths and science education, and project activities	Nearly on schedule
2-1 To implement trainings for National Trainers	Implemented behind schedule
2-2 To implement trainings for Regional Trainers	On schedule
2-3 To implement trainings for Local Trainers	Implemented behind schedule
3-1 To implement cluster trainings for teachers	Implemented behind schedule
3-2 To implement trainings for principals ²	On schedule
3-3 To carry out on-site support on distant module for teachers	Insufficient information available about this activity
4-1 To carry out lesson study in cluster trainings and school-based trainings	Implemented behind schedule
4-2 To implement trainings for principals ³	Nearly on schedule
4-3 To carry out on-site support on lesson study for teachers	Insufficient information available about Internal Cells.

Source: Plan of Operation

2-2-1 Promoting factors

- 1) The review sessions of Regional and The cluster training provide an opportunity to improve training sessions and also to exchange information about the procedures and logistics of training preparation among trainers from different regions.
- 2) The quality training modules developed by the Project is one of the promoting factors to increase participation rate of the cluster training. The audio-visual aids also help teachers visualise what a good lesson-study session looks like. The audio-visual aids intend to demonstrate examples of what is difficult to explain in the written module.

2-2-2 Hindering factors

- 1) In February 2013, the Project Manager was retired and a new Project Manager (*chef de projet*) has been selected from NT in DEE. However, a replacement of the NT has not been made yet. It is necessary to assign new NT from DEE from before the nationwide replication.
- 2) The results were also summarized in M&E reports in each IA and IEF. Monitoring implementation rate of the cluster training was only 27.3% in pilot regions and 55% in the first extending regions. The reasons of the low coverage are lack of means of transportation and frequent reschedule of the cluster training.
- 3) The delay of transport expenses reimbursement by BCI (Budget Consolidation Investment) caused training postponement in the Pilot Region (3 districts of Louga region and Diourbel department) because of the boycott of the participants.
- 4) Teacher general strike has led to a lower cluster training implementation rate in several departments in Louga region.

² Supposed content is an assistance on teacher's self-study and practice of training contents in their lesson

³ Supposed content is an assistance on teacher's drawing up lesson plan and practice of training contents in their lesson

2-3. Evaluation by the Five Criteria

Results of the evaluation by the five criteria are summarized below.

<p>Relevance: High</p> <ol style="list-style-type: none">1. Program for the Improvement of Quality, Equity and Transparency (PAQUET) 2013-2025 stresses on promotion of education quality including teacher's quality. In the program, promoting the development of the teaching of Sciences, Technology and Innovations (STI) is also focused.2. State education budget have been increased significantly from 105 billion CFAF in 2000, to 432 billion CFAF in 2011, with 12.5% average annual growth.3. Low level of pupil's achievement in mathematics and science (according to the results of the SNERS 2010) was also confirmed in the BLS of the Project.4. As many of primary teachers have a academic background in arts not science. 59.5% of teachers are contract teachers in Senegal. The project respond to the needs of primary teachers to enhance their weaknesses in mathematic, science and technology.5. C.A.P is an existing INSET mechanism mandated by the Ministry, and utilization of the C.A.P is strategically appropriate to expand the project nationwide while keeping inputs minimum.
<p>Effectiveness: Fair</p> <ol style="list-style-type: none">1. Teachers are able to perform their class with an average LOI score 1.55, exceeding its target of 1.50, according to a sampled classroom observation in 5 selected departments in June 2013. The results indicate teaching has been improved in general, with a reservation; sample size was small (46 teachers)⁴; and sampled teachers were not identical to those observed in BLS. In order to measure accurate improvement of teaching, ELS is planned in 2015 with teachers identical to those of BLS.2. In the questionnaire, 64% of teachers answered that the Project contributes to the improvement of mathematics and science lesson. This shows that improving the practice of teacher's lessons requires a long-term effort.3. Only 38% of the trainers reply that follow-up and monitoring by NT and RT is adequate. Moreover, monitoring rate of the cluster training by RT was only 55% due to lack of means of transportation and overlap of the training schedule. Such insufficient monitoring has negatively affected the effectiveness of the cluster training.4. Although cluster training has contributed to the strengthening of the capacity of teachers, some difficulties of cluster. Training has been identified by stakeholders such as: 1) overcrowded cluster training. sessions; 2) insufficient time management; 3) insufficient follow up for cluster training by inspectors and school directors; 4) lack of materials for training; and 5) composing much theory and less practice.5. Training modules of the cluster training is consistent with the national curriculum of mathematics and science. The appropriateness of the training module contributed to the high attendance of the cluster training.6. In the questionnaire, only 58% of teachers answered that their school heads encourage teachers more than before the project start. Head teacher's burden for teaching at class especially in some schools hinders to support project activities at the school level.7. According to lesson and lesson study observation during the Review (in total of 4 lessons), the cluster training organizes lesson study with the knowledge from PREMST2 module, and this contributes to support teachers to gain a better pedagogical knowledge, and better teaching material understandings. It seemed that these have contributed to

⁴ In June 2013, the Lesson Observation was implemented for 275 teachers. However, the results in only five districts where the base-line survey was conducted were used to measure the project purpose. The number of teachers from the five districts was 46.

improve LOI.
Efficiency: High
<ol style="list-style-type: none"> 1. The inputs of the project are well utilized to produce the visible outputs. However, the progress of activities such as head teacher's supports (activity 3-3) and the Lesson Study at school level (activity 4-1) are to be confirmed. 2. Three Japanese long-term and two short-term experts have functioned effectively with senegalaise team. The Project will cover an number of teachers 52.5 thousandand over 6 thousand school heads throughout the country. 3. The inputs of the Project are appropriate. In the questionnaire, all respondents are satisfied with training in Japan and third country, Kenya. Moreover, 91% are satisfied with support of Japanese long-term and short-term experts, and 76% are satisfied with equipment provides by the Project. 4. Using the existing C.A.P system which functions without any monetary incentive for teacher's training allowed the Project to be cost-efficient. The project spends only 11,000 FCFA per teacher and per year. 5. Regarding cost sharing, approx. 80% of training cost (Regional, District and Local training) and 50% of monitoring cost was planned to be borne by Senegal government. By the September 2013. Currently only 47% of the planned budget during this period has been borne by the Senegal side.
Impact: Fair
<p>【Prospect of Achieving the Overall Goal】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. There is no concrete evidence to indicate impact of the Project on the increase of pupils' achievement at the time of mid-term evaluation. The pass rate of the CFEE has significantly decreased from 55.3% (2010/2011) to 33.9% (2012/2013) due to the change in exam design and scoring system. The pass rate of the CFEE therefore is not appropriate as indicator of project overall goal. 2. Probability of PREMST benefit to achieve its Overall Goal will be indicated by the end of project, by comparing mathematics and science exams results of BLS and ELS 3. 31% of teachers responded to questionnaire survey done by the review, answered that the REMST has contributed to improve quality of pupils' learning. <p>【External Effect】</p> <ol style="list-style-type: none"> 4. Many teachers expressed that ASEI(Activity, Student, Experiment, Improvisation) and Lesson Study are applicable to other subjects and are useful in improving the quality of teaching and learning in all subjects. 5. CIDA and USAID have considered employing PREMST model, in their assistance to improve the result of mathematics in primary school. 6. Ministry of education has started to discuss possible utilization of PREMST material and human resource to other INSET and PRESET activities by the Ministry. 7. JICA experts and NT were invited to the Workshop of Revision of the Guide of Curriculum for developing new pre-service curriculum. As a result, terminology of lesson plan in curriculum guide and PREMST modules has a consistency. <p>【Other Impacts】</p> <ol style="list-style-type: none"> 8. Though anecdotal, cluster training has positively affected the pass rate of Certificat d'Aptitude Pédagogique (CAP) and Certificat Elémentaire d'Aptitude Pédagogique (CEAP), according to an interviewed inspector.
Sustainability :Fair
<p>【Political Aspect】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. As the importance of the quality of education has been emphasized in the PAQUET 2013-2025, efforts of Ministry of Education National to improve quality of teachers

through INSET are expected to be continued.

2. The document titled "*Modele de Formation Continue du PREMST*" was validated by the Ministry of Education National at the workshop on 30th August 2013. Ministry plans to disseminate the document to all 14 regions in Senegal.

【Institutional and Organizational Aspect】

3. Roles and responsibilities of each member and organization are determined clearly in the "*Modele de Formation Continue du PREMST*".
4. Using the C.A.P, the institutionalized teacher training system, is secured the institutional suitability of the Project. However, continuing provision of inputs and monitoring to the cluster training from IA or IEF is suggested to stimulate its activities.

【Financial Aspect】

5. IA and IEF have very limited budget and means of transportation for monitoring to the cluster training and school activities.
6. The recurrent budget was estimated⁵ 61,410,000 F CFA francs per year, amounting to 1,173 F CFA per teacher. This budget includes the costs of local training and annual report. However, the future budget source for the training has not been determined.

【Technical Aspect】

7. There is no significant gap between the Pilot Region and 1st extension Region in LT capacity, Meanwhile, during the visit, mission observed not all the LT are competent enough to facilitate the cluster training in some locations.
8. Considering that the developed modules are highly appreciated by teachers, the National and Regional Team has sufficient capacity to develop the training modules based on the teachers' needs.

2-4 Observation of lesson study in PREMST 2

According to the lesson and lesson study observation during the Review, the cluster training, utilizing knowledge from PREMST2 modules, provides a sufficient opportunity for teachers to gain pedagogical knowledge. During a demonstrated lesson, it was very clear that the teacher distinguished "good" (knowledge and ideas to be mastered) and "bad" (those not to be mastered) ideas, before he let pointed students write up students' ideas on the blackboard in front of the class, to share the ideas with other students in the class. This indicates the teacher has acquired skills for formative evaluation using student responses, and to share the evaluation results with other students during class. It is expected and desirable that such skills are also acquired by other teachers attending the lesson study.

Group works (GW) are introduced to and practiced intentionally. It is not clear enough though, for what, GW is practiced. GW is a means to achieve lesson objectives. As such, a clearer understanding regarding purpose of the lesson as ends, and GW as means is necessary, for a lesson to contribute and effect more to children's' learning outcome.

Such issues on quality of lesson are discussed in the reflection session after the open lesson observed. In total of 3, out of 30, lesson observation indexes were selected before the lesson study, to bring a better focus to the discussion. Beside, there are rooms for improvement of skills to facilitate a reflection session. A facilitator observed during the review handled the session well most of the time, however, was not able to synthesize the comments and opinions provided by teachers, to share overall assessment of the lesson performed.

Overall, training utilizing PREMST2 module has contributed teachers to gain their confidence in preparing a lesson, by gaining their pedagogical knowledge and better teaching material understandings. This, however, needs be continued further with more clarity. More precisely, the "Justification" section of the lesson plan reflects knowledge to be mastered by

⁵ MODELE DE FORMATION CONTINUE DU PREMST Document de capitalisation (September 2013)

students in a lesson, and layers and structure of such knowledge, according to the teacher that prepares the plan. With these background idea, lesson is supposed to be planned with some prioritization and weighting of subtopics, and with some time allocation indication, reflecting teachers understandings. Lesson plan observed during the Review, however, lacked in such prioritization and weighting, and times are allocated insensitively to all the topic regardless of its comparative importance, which in turn ended with a over-time lesson without prioritized focus or emphasis.

This may be partly due to the lack of referential resources that addresses the issue: comparative importance of subtopics in a lesson with time allocation suggestion. As such, it is suggested for Ministry to develop such a referential material that addressee above, to supplement current PREMST2 modules.

2-5. Conclusion

PREMST2 is on a right track to achieve its project purpose toward its end, though indicators need to be verified by comparing BLS and ELS. By the time of the review, teachers are able to perform their class with an average LOI score exceeding its target of 1.50, according to a sampled classroom observation in 5 selected departments. Besides, the progress so far is also characterized by its distinct performances in efficiency and impacts.

First of all, PREMST II is characterized by its very high efficiency. The project have covered 28.5 thousand teachers over 700 C.A.P locations in 8 regions. It's most likely to reach all of the primary school teachers in Senegal totaling 52.5 thousand at over 1300 C.A.P nationwide by the end of the project. In addition, PREMST has distributed a sufficient numbers of modules sets to be delivered to individual teachers at the cluster training. These outstanding achievements have been achieved in spite of various logistic and management challenges such as the general strike and boycott of/by teachers, which indicates the PREMST organization at every layer (central, regional and departmental) is equipped with a high level of commitment and the teamwork.

Second, impact of PREMST modality is noteworthy; combining, cascaded training and horizontal C.A.P is innovative and now other international organizations are starting to use this model to implement the training for teachers in their respective project. PREMST has added value to and revitalized the cluster training, which is Senegalese practice mandated by a ministerial decree, where teachers get together 8 times from November to June to learn from each other. In reality, C.A.P tended to be utilized as opportunities for young contract teachers to prepare for the teacher qualification exam (to become government teachers), where senior teachers critique the performance of junior teachers in an open lesson setting. PREMT brought the idea of lesson study; thereby, turning C.A.P to a horizontal learning model, respecting mutual learning among all teachers, rather than a vertical one, where senior teachers critique junior teachers.

3. Suggestions

The mid-term review team made a set of recommendations regarding actions to be taken by the end of the project periods

For PREMST implementation during rest of the project period

- (1)**Assign NT (National Trainer).** NT within the DEE has been vacant for almost one year since February 2013 after the retirement of the former Project Manager. It is suggested to assign the successor ASAP.
- (2)**Improve the cluster training monitoring coverage by inspectors:** It is pointed out that the cluster training monitoring coverage by inspectors is lower than expected (only 27% in the

original 3 original region and 55% in the 5 regions (1st extension) in the year 2012/2013, despite of the fact that the government of Senegal allocated additional budget to cover the cost.

(3) Facilitate a swifter dispensing procedure of transport allowance for participating teachers.

Current mechanism is too slow to reimburse and has triggered a series of boycott of the participants in 2 regions to date, and this still is an existing risk. Major obstacle is that local territorial authorities are not always informed with PREMST activities therefore they are not sure if it is appropriate to issue travel orders. It is suggested that the Ministry to issue a circular to inform local territorial authority about PRMSTA.

For PREMST sustainability beyond project termination in 2015

(4) Design central government activities that are necessary to maintain the PREMST model for INSET (*Formation Continue*) in Regional, Departmental, cluster, and school level. This may include, but not restricted and limited to

- (a) Issue of a circular to orientate IA, and IEF
- (b) Discuss the possibility of continuing the “National Review Workshop” every year after project termination
- (c) Define terms of references of the DEE of MOE to clearly indicate its responsibility to maintain and keep the model active beyond 2015
- (d) Prepare a 3-5 year action plan by DEE, possibly commencing 2015, the final year of PREMST II, together with budget preparation for FY 2015

(5) Discuss the possibility of utilizing PREMST outputs (modules, model, personnel, etc.) in other INSET and PRESET activities, among the related Directions within the ministry

**PROCES VERBAL DES
DISCUSSIONS PORTANT SUR LA
COOPERATION TECHNIQUE JAPONAISE
ENTRE
L'EQUIPE DE L'EVALUATION A MI-PARCOURS
ET
LES AUTORITES CONCERNEES DU GOUVERNEMENT DE LA
REPUBLIQUE DU SENEGAL
POUR
LA PHASE II DU PROJET DE
RENFORCEMENT DE L'ENSEIGNEMENT DES MATHÉMATIQUES, SCIENCES ET
TECHNOLOGIES (PREMST)**

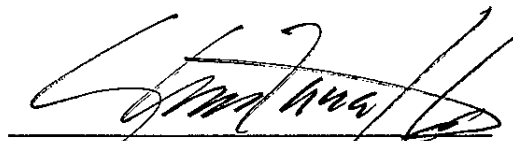
L'évaluation à mi-parcours conduite par l'équipe japonaise (ci-après dénommée «l'Équipe»), commanditée par l'Agence Japonaise de Coopération Internationale (ci-après dénommée «JICA»), dirigée par M. Shinichiro TANAKA a visité la République du Sénégal du 25 Novembre au 10 Décembre 2013 pour l'évaluation la Phase II du Projet de « Renforcement des Mathématiques, Sciences et Technologies (PREMST Phase II) » (ci-après dénommé «le Projet»).

Au cours de sa visite au Sénégal, l'équipe a tenu une série de discussions avec les autorités sénégalaises concernées. Les deux parties ont conjointement évalué les résultats du projet et ont échangé des points de vue en perspective de l'amélioration du projet.

À la suite de ces discussions, les deux parties se sont accordées sur les questions mentionnées dans le document joint en annexe.

Ce document est fait en Français et en Anglais, les deux textes faisant également foi. En cas de divergence dans la traduction de l'original, le texte original dans l'une ou dans les deux langues peut être modifié, s'il y a lieu, sur la base d'autres concertations et accords entre les deux parties.

Dakar, le 9 Décembre 2013



M. Shinichiro TANAKA
Chef d'équipe
Equipe d'évaluation à mi-parcours
Agence Japonaise de Coopération
Internationale



Pour le Ministre
et par Délégation
Le Secrétaire Général



Baba Ousseynou LY

M. Baba Ousseynou LY
Secrétaire Général
Ministère de l'Éducation Nationale
République du Sénégal

ABREVIATIONS

ACDI	Agence Canadienne Pour le Développement International
AFD	Agence Française de Développement
ASEI	Activity, Student, Experiment, Improvisation
BCI	Budget Consolidé d'Investissement
C.A.P	Cellule d'Animation Pédagogique
CAP	Certificat d'Aptitude Pédagogique
CEAP	Certificat Elementaire d'Aptitude Pédagogique
CFEE	Certificat de Fin d'Etudes Elémentaires
CNBST	Coordination Nationale des Blocs Scientifiques et Technologiques
CRFPE	Centre Régional de Formation des Personnels de l'Education
DAGE	Direction de l'Administration Générale et de l'Equipeement
DEE	Direction de l'Enseignement Elémentaire
DPRE	Direction de la Planification et de la Réforme de l'Education
DRH	Direction des Ressources Humaines
EFI	Ecole de Formation des Instituteurs
F CFA	Franc de la Communauté Financière Africaine
FL	Formateur Local
FN	Formateur National
FR	Formateur Régional
IA	Inspection d'Académie
IEF	Inspection de l'Education et de la Formation
JICA	Agence Japonaise de Coopération Internationale
MEN	Ministère de l'Education Nationale
PAQEEB	Projet d'Amélioration de la Qualité et de l'Equité dans l'Education de Base
PAQUET	Programme d'Amélioration de la Qualité, de l'Equité et de la Transparence
PEQT 2	Programme d'Education de Qualité pour Tous (phase 2)
PREMST	Projet de Renforcement des Mathématiques, des Sciences et de la Technologie
S&E	Suivi et Evaluation
SNERS	Système National d'Evaluation des Rendements Scolaires
STI	Sciences, Technologies Innovations
USAID	United States Agency for International Development

5

H

TABLE DES MATIERES

1. Introduction	3
1-1 Contexte et Objet de l'évaluation	3
1-2. Durée de l'évaluation.....	3
1-3. Membres de l'équipe	3
1-4. Méthodologie de l'évaluation.....	3
1-5. Changement du Cadre Logique du Project.....	4
2. Evaluation.....	6
2-1. Réalisations du Projet	6
2-1-1. Résultats	6
2-1-2. Objectif du Projet	8
2-1-3. Objectif global	9
2-2. Processus de mise en œuvre.....	10
2.2.1. Les facteurs de développement du projet.....	11
2.2.2. Les facteurs contraignants	11
2-3. L'Evaluation basée sur cinq critères	12
2-4 Sur l'observation de l'étude de leçon par le PREMST2	14
2-5. Conclusion	15
3. Suggestions	16

ANNEXES

ANNEXE 1. Intrants fournis au Projet

ANNEXE 2. Prévision Budgétaire et Exécution

ANNEXE 3. Cadre Logique du Projet (Ver.2.0 Novembre 2012)

ANNEXE 4. Cadre Logique du Projet (Ver.3.0 Décembre 2013)

ANNEXE 5. Plan d'Opérations

ANNEXE 6. Le nombre d'enseignants cible devant disposer de modules de formation

ANNEXE 7. Liste de documents

ANNEXE 8 : Programme de l'Evaluation à mi-parcours

1. Introduction

1-1 Contexte et Objet de l'évaluation

L'objet de cette mission est d'apprécier l'état d'avancement des activités et d'évaluer les réalisations après deux ans et deux mois d'exécution depuis le démarrage en Septembre 2011. Le projet prendra fin en Août 2015.

Les objectifs de l'évaluation à mi-parcours sont:

- (1) Passer en revue la mise en œuvre des activités du Projet suivant le Cadre Logique du Projet et le Plan des Opérations (PO);
- (2) Avoir la même compréhension de l'état d'avancement des activités et des questions relatives à la mise en œuvre du Projet entre parties Sénégalaises et Japonaises;
- (3) Avoir la même vision sur l'atteinte des objectifs du Projet et sur la coopération à venir entre les parties Sénégalaise et Japonaise.

1-2. Durée de l'évaluation

L'évaluation à mi-parcours a été réalisée du 25 Novembre au 10 Décembre 2013 au Sénégal. Le programme détaillé est indiqué en Annexe.

1-3. Membres de l'équipe

L'évaluation à mi-parcours a été menée conjointement par les parties Sénégalaise et Japonaise. Les membres des deux parties sont présentés ci-dessous.

Partie Sénégalaise:

Amadou SALL (M.)

Alioune Badara DIOP (M.)

Maba BA (M.)

Matar Thiam (M.)

Abdou Guèye

Papa Demba Sy (M.)

Mamadou Seydy LY (M.)

Maimouna DIOP MBOUP (Mme.)

Division Enseignement/Apprentissage, DEE

Chef du Projet PREMST, DEE

Inspecteur, IEF Kanel, Coordonnateur Régional de Matam

Division de suivi –Evaluation, DPRE

Bureau suivi des projets, DPRE

Coordonnateur des Division de la DEE

Chef de Bureau de la formation, DRH

Division Budget et Finances, DAGE

Partie Japonaise:

Shinichiro TANAKA (M.)

Chef de la Mission,
Conseiller en Chef (Education), JICA

Hiroki FUJII (Dr.)

Etude de Leçon, Maître de Conférence, Université d'OKAYAMA

Takayuki MURAOKA (M.)

Membre de l'équipe (Planification de la Coopération),
Cadre, Education de Base Section II, Groupe Education de Base,
Département du Développement Humain, JICA

Haruo ITO (M.)

Membre de l'équipe (Analyse de l'Education),
Expert Consultant, Département des Systèmes Sociaux,
'ICONS International Cooperation Inc.'

1-4. Méthodologie de l'évaluation

L'évaluation vise à vérifier les aspects suivants en conformité avec le cadre logique et le Plan des Opérations (PO):

- 1) Les réalisations du Projet sur la base des indicateurs du cadre logique
- 2) Le processus de mise en œuvre
- 3) Les cinq critères d'évaluation du CAD

Table 1: Définition des cinq critères

Pertinence	Degré de compatibilité entre l'aide au développement et la priorité de la politique du groupe cible, des bénéficiaires et du donateur.
Efficacité	Mesure du degré d'atteinte des objectifs d'un projet.
Efficiences	L'efficience mesure les extrants - qualitatifs et quantitatifs - en rapport avec les intrants. C'est un terme économique utilisé pour exprimer la capacité d'un programme à utiliser les ressources les moins coûteuses possibles pour atteindre les résultats souhaités. Cela nécessite généralement de comparer des approches alternatives pour atteindre les mêmes résultats, afin de voir si le processus le plus efficient a été adopté.
Impact	Changements positifs et/ou négatifs produits par une intervention de développement, directement ou indirectement, intentionnellement ou non. Il s'agit des principaux impacts et des effets résultant de l'activité sur les indicateurs locaux, sociaux, économiques, environnementaux et autres indicateurs de développement.
Durabilité	La durabilité porte sur les facteurs de pérennisation des bénéfices d'une activité, déterminant la possibilité de poursuivre après que le financement des donateurs a été exécuté. Les projets doivent être viables tant pour le volet environnement que pour le volet financier.

Les conclusions sont tirées des résultats de l'évaluation à mi-parcours et les recommandations formulées par les deux parties.

1-5. Changement du Cadre Logique du Project

La seconde version du cadre logique a été améliorée à la suite des discussions entre le Ministère de l'Education Nationale et la JICA. Les amendements proposés sont intégrés comme indiqué dans le tableau ci-après. La version 3 du cadre logique est l'annexe 4 du présent procès-verbal.

Table 2: les changements apportés au cadre logique

Cadre logique ver. 2	Cadre logique ver.3 (modification)	Motifs des changements
Les résultats du CFEE s'améliorent (objectif global)	Supprimer cet indicateur	Le CFEE regroupe toutes les matières et pas seulement les Mathématiques et les Sciences. Le changement des épreuves et du système de notation du CFEE ne permettent pas une analyse comparative des résultats.
Le Modèle de formation continue est intégré dans le dispositif de formation existant (résultat 1)	Le Modèle de formation continue est intégré dans les plans d'amélioration de la Qualité des IEF	Les IA ont terminé l'exécution de leur plan académique de formation du PEQT 2. Dans le cadre du PAQEED, les IEF élaborent des plans d'amélioration de la qualité.
50% des écoles utilisent l'étude de leçon dans les	Les résultats de l'étude de base sont retenus	L'indicateur sera vérifié à l'étude finale du projet.

cellules internes.	comme moyen de vérification.	
--------------------	---------------------------------	--

52

df

2. Evaluation

2-1. Réalisations du Projet

2-1-1. Résultats

Résultat 1: Le modèle de formation continue est intégré dans le dispositif de formation existant

Résultat 2: Les capacités des formateurs sont renforcées

Résultat 3: Les connaissances des enseignants en mathématiques, sciences, et technologie ainsi que leurs méthodes d'enseignement sont renforcées

Résultat 4: L'étude de leçon est pratiquée régulièrement au niveau des Cellules d'Animation Pédagogique et dans les écoles.

Avec les efforts des deux parties Sénégalaise et Japonaise, la plupart des activités prévues ont été mises en œuvre avec succès et des résultats ont été obtenus, ce qui devrait contribuer à la réalisation de l'Objectif du Projet. Les détails de la réalisation de chaque Résultat se présentent comme suit ;

Résultat 1: Le modèle de formation continue est intégré dans le dispositif de formation existant

(1) *Le modèle est validé par le MEN*

Le document intitulé "MODELE DE FORMATION CONTINUE DU PREMST" a été validé par le Ministre de l'Education lors de l'atelier du 30 août 2013. Le Ministère de l'Education Nationale prévoit de le diffuser dans les 14 régions du Sénégal. Le Ministère enverra bientôt une lettre d'orientation aux IA et aux IEF pour une mise en œuvre effective du modèle.

(2) *Les IA intègrent le modèle dans le Plan de Formation de l'Académie*

L'enquête d'évaluation à mi-parcours a confirmé que les IA dans les régions de Saint-Louis et de Louga ont déjà intégré la formation du PREMST dans leur plan annuel de formation. Le Ministère considère que les Plans d'Amélioration de la Qualité doivent être élaborés et mis en œuvre par les IEF dans le cadre du PAQEEB. Par conséquent, l'indicateur du cadre logique doit être modifié dans ce sens.

Résultat 2: Les capacités des formateurs sont renforcées

(1) *Le score des FN s'est amélioré d'après les résultats des évaluations des FR*

Une Equipe Nationale a été mise en place au niveau central. Elle est composée du Chef du Projet (DÉE) et de 9 FN issus des CNBST, des CRFPE, des IA, etc. Sa mission est de produire les modules et les outils de formation, de former les FR et de mener des activités de suivi –évaluation. D'après les résultats des évaluations des FR en juin 2013, la performance des FN avait un score de 2,1. Ce qui est en deçà de la valeur cible de 2,4 (comme indiqué dans le tableau 3). Les raisons spécifiques de la faiblesse de cet indicateur n'ont pas été identifiées lors des entretiens de l'évaluation à mi-parcours. Cependant, il a été ressenti une insatisfaction des FR relativement au retard de la formation régionale en 2012 (mentionnée plus loin). Cela a pu affecter leur point de vue par rapport aux FN.

Tableau 3: Capacités des Formateurs (échelle de 0 à 3)

6

Indicateurs	Objectif	Étude de base (Fév. 2012)	Juin 2013
FN (évalués par les FR)	2,4	2,1	2,1
FR (évalués par les FN)	2,4	2,1	2,4
FL(évalués par les FR)	2,3	2,0	2,3 (Zone pilote) 2,1(zone d'extension)

Source: Etude de base et Rapport de suivi-évaluation du Projet

(2) Le score des FR s'est amélioré d'après les résultats des évaluations des FN

Une Equipe Régionale a été mise sur pied dans toutes les 14 régions. Chaque IA a désigné un Coordonateur Régional, un Coordonateur Régional Adjoint et des FR pour composer l'Equipe Régionale chargée de mener des activités de formation et de supervision au niveau régional. Le nombre total des FR est de 242 (Zone pilote : 52 1ère Zone d'extension : 85, 2ème Zone d'extension : 105). Le résultat de l'évaluation des FR par les FN s'est amélioré de 2,1 (étude de base) à 2,4 (Juin 2013), atteignant ainsi le niveau ciblé. Lors des séances d'entretiens, la plupart des FN et des FL s'accordaient à dire que les FR avaient la capacité nécessaire d'améliorer les modules et de mettre en œuvre la formation locale.

(3) Le score des FL s'est amélioré d'après les résultats des évaluations des FR

Dans les 14 régions 1855 FL (Zone pilote : 469, 1ère Zone d'extension : 590, 2ème Zone d'extension : 796) ont été mobilisés. Les résultats d'évaluation des FL par les FR se sont améliorés de 2,0 (étude de base) à 2,3 (Juin 2013) et ont atteint la valeur cible dans la zone pilote. Cependant, l'indicateur dans la première zone d'extension n'a pas été atteint en juin 2013. Lors de l'entretien, les FR ont déclaré que certains FL avaient des difficultés à organiser la formation des enseignants dans les Cellules d'Animation Pédagogique.

Résultat 3: Les connaissances des enseignants en pédagogie et dans les contenus disciplinaires en mathématiques, sciences, et technologie sont renforcées

(1) Le pourcentage de pré-test et post-test des enseignants dans les 5 nouvelles régions s'améliore de 6%.¹

Il n'y avait pas de données pour mesurer les acquis des enseignants en mathématiques et en sciences au moment de l'évaluation à mi-parcours. Dans l'étude de base (Février 2012), les résultats de pré-test des 612 enseignants issus de 5 régions de la première zone d'extension étaient de 58,6 % en moyenne. Il est prévu d'organiser des post-tests dans l'étude finale du projet en 2015.

Résultat 4: L'étude de leçon est pratiquée régulièrement aux niveaux des Cellules d'Animation Pédagogique et dans les écoles

(1) 90% des cellules organisent 3 activités pratiques d'étude de leçons par an. (2 activités pour les 1^{ère} et 2^{ème} années.)

Le taux de mise en œuvre des C.A.P organisées dans le cadre du PREMST était régulièrement supérieur à 90% depuis 2007. En 2011/2012, il était de 92%. Cependant, en 2012/2013, ce taux a chuté jusqu'à 57 %. Les deux raisons principales de cette baisse sont : d'une part le retard des formations régionales et locales qui ont perturbé la planification annuelle des trois cellules dans les régions pilotes, d'autre part le boycott des enseignants

¹ La donnée de base est 58,6%.

dans quelques départements de Louga du fait du boycott des examens professionnels par les inspecteurs.

Tableau 4: Taux de mise en œuvre des C.A.P

	2011/2012	2012/2013
Zone pilote	92%	57%
1 ^{ère} zone d'extension	99,6%	74%

Source: Rapport du Projet S&E

Afin de rattraper la situation, la région de Louga a programmé 6 C.A.P en 2013/2014 au lieu des 3 habituellement prévues.

(2) 50% des écoles intègrent l'étude de leçon dans les cellules internes²

Une étude finale est programmée à la fin du projet pour vérifier ce résultat. Des données nécessaires à la justification de cet indicateur n'étaient pas disponibles au moment de l'évaluation à mi-parcours. Dans l'étude finale due projet en 2015, le taux de mise en œuvre des cellules internes devrait être mesuré à travers une enquête.

2-1-2. Objectif du Projet

Améliorer la qualité des enseignements / apprentissages des mathématiques, des sciences et de la technologie

Les enseignants avaient activement participé à la Formation organisée dans les C.A.P, ce qui a conduit à l'amélioration de leur comportement et de leur compétence d'enseignement. Les résultats des activités de suivi - évaluation conduites par le projet montrent que les deux indicateurs de l'Objectif du Projet ont atteint le niveau ciblé.

(1) Le groupe d'enseignants évalué avec L'outil d'observation de leçon a obtenu un score moyen de 1,5 sur 3,0³

Les résultats du suivi en classe dans 5 départements⁴ ayant utilisé l'outil de l'Observation de leçon en Juin 2013 montrent un score moyen de 1,55 (objectif ciblé : 1,50) qui indique un niveau satisfaisant des leçons déroulées par les enseignants. (Voir tableau 5 ci-dessous).

Tableau 5: Analyse de l'outil d'Observation de leçon

Indicateurs	Etude de base (Fév. 2012) (n=68)	Juin 2013 (n=46)	Augmentation
Score moyen de l'Observation de Cours de l'enseignant	1,36	1,55	0,19
Pourcentage des enseignants ayant obtenu un score de 1,5 ou plus	42,6%	54,3%	11,7

Source: Etude de base et Rapport du Projet S&E

(2) L'outil d'observation de leçon montre que le pourcentage des enseignants ayant un score d'au moins 1,5 sur 3,0 s'élève à 50%.⁵

54,3% de l'échantillon d'enseignants (cible: 50%) ont obtenu un score de 1,5 ou plus lors en observation de leçon en Juin 2013. L'objectif de 50% a été atteint avec un dépassement de 4,3.

² Le pourcentage sera revu selon le résultat du suivi-évaluation en 2011/12.

³ La donnée de base est 1,31.

⁴ Les 5 circonscriptions où le projet intervient depuis 2011 sont : Linguère, Kanel, Foundiougne, Niore et Koungheul.

⁵ La donnée de base est 38,1%.

2-1-3. Objectif global

Accroître les performances scolaires au niveau de l'élémentaire dans les domaines des mathématiques, des sciences, et de la technologie
--

A ce stade, il a été impossible d'évaluer l'apport du projet aux performances scolaires et au taux de passage des élèves. Les C.A.P organisées dans le cadre du projet n'ont démarré qu'en Octobre 2008. Par conséquent, l'impact au niveau de la classe n'est pas encore perçu. De nombreuses personnes interrogées attribuent l'intérêt des élèves aux leçons enseignées avec l'approche PREMST. Ce fait suscite un réel espoir quant à la réalisation de l'objectif global, si leurs enseignants continuent à participer aux C.A.P et à mettre en œuvre l'approche PREMST dans leur classe.

(1) Le résultat du CFEE s'améliore

Le score moyen national du CFEE a largement baissé en 2012/2013 en raison du changement des épreuves et du système de notation du CFEE. Dans le Tableau 6 ci-dessous, la moyenne nationale en 2012/2013 est plus élevée que celle de la zone pilote (31%). Par conséquent, il est difficile de dire que la mise en œuvre du projet a un impact sur le score du CFEE.

Tableau 6: Taux de Réussite du CFEE

	2010/2011	2012/2013
Zone pilote	56,0 %	31,0 %
1ère zone d'extension	53,0 %	24,6 %
2ème zone d'extension	58,9 %	37,2 %
Moyenne Nationale	55,3 %	33,9 %

Source: Annuaire National des Statistiques

(2) Le résultat des tests de performance des élèves élaborés par le Projet s'élève.

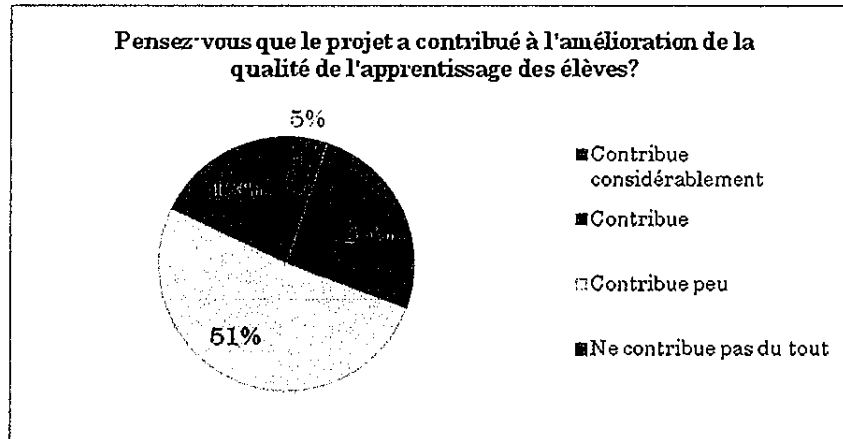
Dans l'étude de base menée en Février 2012 dans le cadre du projet, un test utilisant un questionnaire élaboré par le projet a été effectué sur un échantillon de 2480 élèves pour mesurer leur aptitude en mathématiques et en sciences. Le projet mènera l'étude finale pour mesurer l'impact du PREMST sur la réussite scolaire de l'élève. Le tableau 7 montre les résultats de l'étude de base.

Tableau 7: Taux moyen d'aptitude

	Nb d'élèves	Maths	Sciences
Zone pilote	433	43,7%	40,3%
1ère zone d'extension	970	37,6%	34,6%
2ème zone d'extension	1077	37,2%	35,3%

Source: Etude de base (Fév. 2012)

Les résultats du questionnaire de l'évaluation à mi-parcours montrent que 31% (N=44) seulement des enseignants ont répondu que le projet a contribué à l'amélioration des performances scolaires des élèves comme l'indique la figure 1 ci-dessous.



Source: Evaluation à mi-parcours (Déc. 2013)

Figure1: Contribution du Projet sur la qualité de l'apprentissage

Les résultats du CFEE ne sont pas des indicateurs appropriés à l'objectif global. Ils ne peuvent pas être comparés aux résultats du projet du fait du changement des épreuves survenu en juin 2013. Même si cela était le cas, le PREMST en tant que programme de formation continue, aurait eu une incidence limitée sur l'ensemble des résultats au niveau national. Il serait plus raisonnable de s'attendre à une plus grande influence du PREMST sur l'apprentissage des élèves relativement aux sujets traités dans les modules de formation. Vu sous cet angle, le taux de réussite au CFEE est enlevé des indicateurs du cadre logique.

2-2. Processus de mise en œuvre

La plupart des activités du cadre logique ont été mises en œuvre conformément à ce qui a été planifié. Toutefois, les activités listées ci-dessous ont été retardées ou leur état d'avancement non confirmé en raison d'un manque d'informations.

- 1-1 Le modèle de la phase 2 a été validé lors d'un atelier organisé par le Ministère de l'Education Nationale. Toutefois, le Ministère n'a pas encore délivré une lettre officielle qui valide institutionnellement le modèle.
- 2-3 Certaines séances de formation locale ont connu un retard en 2012 en raison de la lenteur dans les procédures de mobilisation du budget alloué à la restauration.
- 3-3. Progression des activités à suivre.
- 4-3. Progression des activités à suivre.

Tableau 8: Activités du Projet

Activité	Progression
0 Mise en œuvre de l'étude de base et de l'étude finale du projet	Presque comme prévu
1-1 Mise en place du dispositif stabilisé de formation en cascade	Presque comme prévu
1-2 Elaboration d'outils de formation	Mise en œuvre à des dates différentes
1-3 Mise en place d'un dispositif de suivi –supervision	Presque comme convenu
1-4 Organisation de bilans	Presque comme convenu
1-5 Campagne de communication	Presque comme convenu
2-1 Formation des formateurs nationaux	Mise en œuvre comme prévu
2-2 Formation des formateurs régionaux	Tel que prévu
2-3 Formation des formateurs locaux	Mise en œuvre avec du retard
3-1 Formation des maîtres	Mise en œuvre avec du retard
3-2 Formation des directeurs sur les trois modules ⁶	Tel que prévu
3-3 Suivi de formation des maîtres (modules) par les directeurs d'école	Insuffisance d'informations pour cette activité

⁶ Le contenu est: suivi-encadrement, management des ressources humaines, gestion des matériels didactiques.

4-1 Organisation d'activités pratiques d'étude de leçon	Mise en œuvre en retard
4-2 Formation des directeurs sur l'encadrement de l'étude de leçon	Presque comme prévu
4-3 Encadrement rapproché des maîtres (étude de leçon) par les directeurs d'école	Pas d'Informations suffisantes disponibles à propos des Cellules Internes.

Source: Plan d'Opération

2.2.1. Les facteurs de développement du projet

- 1) Les ateliers bilans de la formation régionale et locale ont pour objectif d'améliorer les séances de formation et d'échanger des informations sur l'ensemble des procédures relatives à la préparation de la formation de formateurs des différentes régions.
- 2) Les modules de formation de qualité mis en place par le Projet constituent un des facteurs favorisant l'accroissement du taux de participation aux C.A.P Les supports audio-visuels aident également les enseignants à visualiser des exemples d'études de leçons réussies. Ces supports illustrent également t des exemples qui sont difficiles à expliquer dans les modules.

2.2.2. Les facteurs contraignants

- 1) En février 2013, le Chef du Projet a pris sa retraite et un nouveau Chef du projet en service à la DEE a été sélectionné parmi les FN. Son remplacement n'est toujours pas effectué. La désignation d'un nouveau FN s'avère nécessaire avant la généralisation du projet.
- 2) Les résultats ont également été résumés dans les rapports de suivi - évaluation au sein de chaque IA et IEF. Le taux de supervision des C.A.P s'élevait seulement à 27.3% dans les régions pilotes et 55 % dans les régions de la première extension. Les raisons de ce faible taux sont le manque de moyens de transport ainsi que les reports fréquents des C.A.P.
- 3) Les retards de remboursement de frais de transport du BCI ont engendré des reports de formation dans les régions pilotes (3 départements de la région Louga et le département de Diourbel) suite au boycott des participants.
- 4) Le boycott général des enseignants a engendré un faible taux de mise en œuvre des C.A.P dans plusieurs départements de la région de Louga.

57

df

2-3. L'Evaluation basée sur cinq critères

Les résultats de l'évaluation selon les cinq critères sont résumés comme suit.

Pertinence: Elevée
<ol style="list-style-type: none">1. Le Programme d'Amélioration de la Qualité, de l'Equité et de la Transparence (PAQUET) 2013-2025 met l'accent sur la promotion de l'éducation de qualité et sur la formation des enseignants. Le programme met également l'accent sur la promotion de l'enseignement des Sciences, de la Technologie et des Innovations (STI).2. Les fonds alloués à l'Education sur le budget de l'Etat ont considérablement augmenté entre 2000 et 2011. De 105 milliards de F CFA en 2000, les fonds ont été portés à 432 milliards en 2011, soit un taux d'accroissement moyen annuel de 12,5%.3. Le faible taux de réussite des élèves en mathématiques et en sciences (selon SNERS 2010) a été confirmé par l'étude de base du projet.4. La plupart des enseignants ont reçu une formation académique littéraire. Dans le système 59,5% des enseignants sont des contractuels. Le Projet contribue au renforcement de capacité des enseignants en mathématiques, sciences et technologie.5. La C.A.P est un cadre de formation continue institutionnalisée par l'Etat du Sénégal. L'entrée par les C.A.P est une stratégie adéquate pour étendre le projet sur toute l'étendue du territoire avec un minimum de ressources.
Efficacité: Moyenne
<ol style="list-style-type: none">1. D'après un échantillon de leçons observées, les enseignants ont les capacités requises pour l'enseignement des mathématiques et des sciences avec un indice de 1,55 en Juin 2013 dépassant l'indicateur de 1,5 initialement fixé. Les résultats montrent que la capacité d'enseigner les mathématiques et les sciences a été améliorée. Toutefois, la taille de l'échantillon était petite (46 enseignants)⁷ et cet échantillon n'est pas le même que celui de l'étude de base du projet. Afin de mesurer avec précision l'amélioration de la capacité d'enseignement, une étude finale du projet est prévue pour 2015.2. Selon le questionnaire, 64% des enseignants ont affirmé que le projet contribue à l'amélioration des leçons de mathématiques et de sciences. Ceci montre que l'amélioration de la pratique de leçon requiert un effort à long terme.3. Seulement 38% des formateurs affirment que le travail de suivi et de supervision mené par les FN et les FR est approprié. En outre, le taux de suivi des C.A.P par les FR était de 55% seulement en raison du manque de moyens de transport, du chevauchement des calendriers de formation. Le manque de suivi a négativement affecté l'efficacité des C.A.P.4. Bien que les C.A.P aient contribué au renforcement de capacité des enseignants, certaines difficultés ont été relevées par les parties prenantes telles que : 1) le nombre pléthorique des participants aux C.A.P; 2) les insuffisances dans la gestion du temps; 3) la faible supervision des C.A.P par les inspecteurs et directeurs d'école ; 4) le manque de matériel de formation ; 5) la prédominance de la théorie sur la pratique.5. Les modules de formation des C.A.P sont en adéquation avec le curriculum national des mathématiques et des sciences. La pertinence des modules de formation a fortement contribué à un fort taux de participation aux C.A.P.6. Selon le questionnaire, 58% seulement des enseignants ont répondu que leurs directeurs les encouragent davantage qu'avant le début du projet. Dans certaines écoles, la surcharge de travail des directeurs d'école due au cumul de fonctions (directeur non déchargé) les empêchent d'accompagner correctement les activités du projet.

⁷ En Juin 2013, l'Observation de leçon a été faite pour 275 enseignants. Cependant, seuls les résultats provenant des cinq départements où l'enquête de base a été menée ont été utilisés pour mesurer les objectifs du projet. Le nombre d'enseignants issus des cinq circonscriptions était de 46.

7. Durant l'évaluation à mi-parcours, les résultats des études de leçon et des observations de leçon (au total 4) ont montré que les C.A.P ont contribué à l'aide des modules du PREMST 2 au renforcement des connaissances pédagogiques des enseignants et à une meilleure appropriation des contenus. Ceci aurait contribué à l'amélioration des indices de l'observation de leçon.

Efficienc e : Elevée

1. Les intrants du Projet sont bien utilisés pour produire des résultats visibles. Cependant, les progrès de certains résultats tels que l'encadrement des directeurs d'écoles et la pratique de l'Etude de Leçon au niveau scolaire n'ont pas été identifiés.
2. Trois experts Japonais à long-terme et deux à court-terme ont efficacement travaillé avec les équipes sénégalaises. Le Projet vise à atteindre un nombre de 52.500 d'enseignants et environ 6.000 directeurs d'écoles dans tout le Sénégal.
3. Les intrants du Projet sont appropriés. Selon les questionnaires, toutes les personnes interrogées sont satisfaites de la formation reçue au Japon et/ou au Kenya (pays tiers). De plus, 91 % sont satisfaits du soutien des experts Japonais à long et court termes et 76 % sont satisfaits de l'équipement fourni par le Projet.
4. L'organisation des C.A.P sans une motivation financière de la formation des enseignants a permis au Projet d'avoir un bon rapport coût/efficacité. En effet, Le projet a dépensé 11.000 F CFA seulement par enseignant et par an.
5. Concernant le partage des coûts, environ 80 % des coûts de formation (formations régionale, départementale et locale) et 50 % du coût du suivi des activités devaient être supportés par le gouvernement du Sénégal. En septembre 2013, 47 % du budget initial a été supporté par la partie sénégalaise.

Impact: Moyen

【 Perspective d'Atteinte de l'Objectif Global 】

1. Il n'y a pas de preuve concrète indiquant l'impact du Projet sur l'amélioration du niveau de réussite des élèves au moment de l'évaluation à mi-parcours. Le taux de réussite au CFEE a considérablement baissé de 55,3 % (2010/2011) à 33,9 % (2012/2013), du fait de la modification des épreuves et du système de notation. Cependant, ce taux de réussite au CFEE ne devrait pas être utilisé pour mesurer l'impact du Projet.
2. A la fin de la période de mise en œuvre du Projet, la comparaison des données de l'étude de base et des données de l'étude finale en de mathématiques et sciences permettra de déterminer si l'objectif global est atteint.
3. Selon le questionnaire, 31 % seulement des enseignants pensent que le Projet a contribué à l'amélioration de l'apprentissage des élèves.

【 Effet Global 】

4. Beaucoup d'enseignants ont indiqué que l'ASEI et l'Etude de Leçon sont des approches applicables à d'autres matières et sont utiles à l'amélioration de la qualité de l'enseignement et de l'apprentissage de toutes les matières.
5. L'ACDI et l'USAID ont envisagé d'appliquer le modèle de formation continue du PREMST dans le cadre de leur appui à l'amélioration des résultats en mathématiques à l'école élémentaire au Sénégal.
6. Le Ministère de l'Education Nationale a déjà commencé à réfléchir à la possibilité d'utiliser les outils développés par le PREMST ainsi que les ressources humaines au profit d'autres activités de formation initiale et continue du ministère.
7. Les experts de la JICA et les FN ont été invités à l'Atelier de Révision du curriculum pour l'élaboration d'un nouveau curriculum de formation initiale. De ce fait, il est donc cohérent d'utiliser le format de l'étude de leçons aussi bien dans le curriculum que dans les modules du PREMST.

【Autres Impacts】

8. Malgré quelques cas isolés, les C.A.P ont un impact positif sur le taux de réussite au Certificat d'Aptitude Pédagogique (CAP) et au Certificat Elémentaire d'Aptitude Pédagogique (CEAP) selon un inspecteur interviewé.

Durabilité : Moyenne**【Aspect Politique】**

1. Comme l'importance de la qualité de l'éducation a été soulignée dans le PAQUET 2013-2025, les efforts du Ministère de l'Education Nationale pour améliorer la formation des enseignants à travers la formation continue devraient être poursuivis.
2. Le document de capitalisation du "MODELE DE FORMATION CONTINUE DU PREMST" a été validé par le Ministère de l'Education Nationale lors de l'atelier du 30 août 2013. Ce modèle est retenu pour la généralisation du projet dans les 14 régions du Sénégal.

【Aspects Institutionnel et Organisationnel】

3. Les rôles et responsabilités de chaque membre et structure sont clairement déterminés dans le "MODELE DE FORMATION CONTINUE DU PREMST".
4. Faire fonctionner les C.A.P en tant qu'un système institutionnalisé de formation des enseignants, c'est garantir l'adaptabilité institutionnelle du Projet. Cependant, il faudrait continuer la provision d'intrants et le suivi des C.A.P afin de stimuler ses activités.

【Aspect Financier】

5. Les IA et IEF ont un budget et des moyens de déplacement très limités pour assurer le suivi des C.A.P et des activités des écoles.
6. Le budget de fonctionnement a été estimé⁸ à 61.410.000 F CFA par an, soit un montant de 1.173 F CFA par enseignant. Ce budget inclut les coûts de la formation locale et du rapport annuel. Cependant, les sources futures de financement des formations ne sont pas encore précisées.

【Aspect Technique】

7. Des différences majeures n'ont pas été notées entre les régions pilotes et celles de la première zone d'extension en termes de capacités des FL. Lors de la visite des C.A.P, l'équipe d'évaluation à mi-parcours a constaté des compétences de facilitation insuffisantes chez certains FL.
8. Considérant que les modules développés sont très appréciés par les enseignants, les équipes nationale et régionale disposent d'une capacité suffisante pour développer des modules de formation basés sur les besoins des enseignants.

2-4 Sur l'observation de l'étude de leçon par le PREMST2

Les formations sur l'étude de leçon à l'aide des modules du PREMST2 ont permis aux enseignants de renforcer leurs connaissances pédagogiques. Au cours d'une prestation, il apparaît clairement que l'enseignant distingue les bonnes réponses (les connaissances et concepts à maîtriser) des mauvaises réponses (les connaissances et concepts intuitifs des enfants) avant de désigner des élèves pour écrire leurs idées au tableau et les partager avec leurs camarades de classe. Ceci montre que l'enseignant a acquis les compétences requises pour faire une évaluation formative basée sur les réponses des élèves et de partager les résultats des évaluations avec la classe. Il est souhaitable que tous les enseignants participant aux études de leçon puissent développer de telles compétences.

Le travail de groupe a été introduit et organisé de manière intentionnelle. Cependant, l'objectif du travail de groupe en tant qu'outil n'est pas clairement spécifié. Pour qu'une leçon

⁸ MODELE DE FORMATION CONTINUE DU PREMST Document de capitalisation (Septembre 2013)

puisse contribuer et avoir un impact sur les résultats des apprentissages des élèves, il est nécessaire de décrire l'atteinte de l'objectif de la leçon comme la finalité de l'apprentissage et le travail en groupe comme est un moyen d'y parvenir.

Les aspects portant sur la qualité de la leçon sont discutés en plénière à la suite d'une observation de leçon. Pour mieux orienter les discussions, 3 sur 30 indicateurs d'observation de leçon sont retenus avant la mise en situation. En outre, ces séances sont des occasions d'améliorer les capacités de facilitation d'une séance plénière. Au cours de l'évaluation, le facilitateur observe, dirige bien la séance la plupart du temps mais éprouve des difficultés à résumer les différentes observations et commentaires formulés par les enseignants, à partager les conclusions générales de la leçon déroulée

En général, les formations sur l'étude de leçon à l'aide des modules du PREMST2 ont renforcé les connaissances des enseignants en pédagogie, favorisé une meilleure appropriation du matériel didactique et ont permis aux enseignants d'être plus confiants dans la préparation de leurs leçons. Cependant, ceci doit se poursuivre avec plus de clarté. Au cours de la préparation de la leçon, l'enseignant doit décrire de manière précise dans la partie justification de la leçon les informations que les élèves doivent maîtriser ainsi que les différentes étapes de la leçon. Avec toutes ces idées, la leçon doit être programmée sur la base d'une priorisation en fonction de l'importance du sujet et d'un timing pour chaque partie de manière à refléter la compréhension de l'enseignant. Toutefois, les leçons observées au cours de l'évaluation à mi-parcours ont révélé des insuffisances dans la priorisation des sujets et dans le timing. Ceci aboutit à une leçon qui tire en longueur sans une priorisation quelconque.

Ceci peut être dû en partie à un manque de documents de référence pouvant prendre en charge la question de l'importance comparative des sous sujets d'une leçon et d'une proposition de répartition du temps entre les différentes parties d'une leçon. Etant donné la situation, il est recommandé au Ministère de développer des documents de référence pour prendre en charge toutes ces questions et de compléter les modules actuels du PREMST2

2-5. Conclusion

Le PREMST 2 est en bonne voie de réalisation des objectifs fixés d'ici à la fin de la période de mise en œuvre, même s'il reste à vérifier plus tard le niveau d'atteinte des résultats des indicateurs à partir de la comparaison des données de l'étude de base et de celles de l'étude de fin de projet. Au moment de la revue à mi-parcours, les enseignants ont prouvé leur aptitude à dérouler les cours avec un indice moyen qui dépasse 1,50 d'après un échantillon de leçon observées dans cinq (05) départements sélectionnés. De plus, les progrès notés jusque là sont caractérisés par les performances des régions en termes d'efficience et d'impact.

Tout d'abord, Le PREMST 2 est caractérisé par une efficacité très élevée. Il a touché 28.500 enseignants à travers 700 C.A.P dans 8 régions. D'ici à la fin de la phase de mise en œuvre, le projet va très certainement toucher tous les enseignants des écoles élémentaires du Sénégal totalisant ainsi un nombre de 52.500 à travers 1.300 C.A.P sur l'ensemble du territoire national. Le PREMST a également distribué un nombre suffisant de modules de formation à tous les enseignants à l'occasion des C.A.P. Ces réalisations pertinentes ont eu lieu dans un contexte marqué par des problèmes de logistique et de gestion liés aux grèves et boycotts des enseignants. Ceci montre que l'organisation du PREMST à tous les niveaux (central, régional, et départemental) est globalement caractérisée par un engagement fort et un travail en équipe.

En second lieu, il convient de noter l'impact remarquable de la démarche du PREMST : combiner la formation en cascade et la formation dans les cellules C.A.P est une pratique innovante que d'autres organismes internationaux ont commencé à utiliser pour la formation des enseignants dans le cadre de leurs projets respectifs. Le PREMST a apporté une valeur ajoutée et a

redynamisé les C.A.P qui sont une pratique sénégalaise qui réunissent les enseignants 8 fois dans l'année entre novembre et juin pour un apprentissage mutuel. En réalité, les C.A.P sont devenues des occasions pour les enseignants contractuels de préparer leurs examens professionnels pour l'obtention du statut d'enseignant qualifié. Au cours de ces séances, les instituteurs observent et critiquent les prestations de leurs collègues. L'Etude de leçon est une approche introduite par le PREMST. Par ce moyen, les C.A.P deviennent un modèle de formation horizontal plutôt qu'un modèle de formation verticale et promeut l'apprentissage mutuel entre enseignants.

3. Suggestions

La revue à mi-parcours a formulé un ensemble de recommandations relatives aux actions à entreprendre d'ici à la fin du projet.

Pour la mise en oeuvre du projet

- (1) Affecter un FN (formateur national) à la DEE. Ce poste est vacant depuis presque un an à la suite du départ à la retraite de l'ancien chef du projet en février 2013. Il est recommandé de trouver un remplaçant dans les meilleurs délais.
- (2) Améliorer la portée des activités de supervision des inspecteurs: en dépit du budget additionnel octroyé par le Gouvernement du Sénégal pour couvrir les frais liés à la supervision, il est ressorti qu'en 2012/2013 le taux de supervision des C.A.P par les inspecteurs est inférieur au résultat attendu (seulement 27% dans les 3 régions pilotes et 55% dans les 5 régions de la première extension.
- (3) Mettre en place un système efficace de paiement des frais de mission : Le mécanisme mis en place pour le remboursement des frais de mission est trop lent et a déclenché une série de boycott des enseignants dans 2 régions. Ceci demeure une situation à risque pour le projet. Le problème principal est que les autorités de l'administration territoriale ne sont pas toujours informées des activités du PREMST. Par conséquent, ils ne sont pas sûrs qu'il soit approprié de signer des ordres de mission. Il est recommandé que le ministre envoie une circulaire d'information aux autorités de l'administration.

Pour la durabilité du PREMST

- (4) Développer des activités qui permettent aux autorités du niveau central de maintenir le Modèle de formation continue dans les régions, les départements, les C.A.P et les écoles. Les points suivants sont des suggestions soumises à votre appréciation :
 - (a) Envoyer une note circulaire pour donner des orientations aux IA et aux IEF.
 - (b) Continuer l'organisation des ateliers bilans après la fin du projet.
 - (c) Elaborer des termes de références pour la DEE en spécifiant de manière claire la responsabilité de la DEE dans le processus de pérennisation du modèle au delà de 2015
 - (d) Développer à la DEE, un plan d'action de 3 à 5 ans comportant une rubrique budgétaire et qui sera mis en oeuvre si possible en 2015, année qui correspond à la fin du projet.
- (5) Discuter avec les directions concernées du Ministère de la possibilité d'intégrer les acquis du projet (modules, modèle de formation, personnel, etc.) dans la formation initiale et continue.



ANNEXE 1. Intrants fournis au Project

ANNEXE 1-1 Liste des Experts (septembre 2011 - octobre 2013)

(1) Liste des Experts à Long-terme

	Nom complet	Domaine de compétence/Structure	Période	Objectif
1	MIYAZAKI, Takeshi	Conseiller principal	1 septembre 2011 – présent	Accompagner au Projet pour sa mise en œuvre
2	MATSUMOTO, Tomoko	Pédagogie / Etude de Leçon	1 septembre 2011 – présent	Accompagner au Projet pour sa mise en œuvre
3	SAITO, Kensuke	Administration	17 janvier 2013 – présent	Accompagner au Projet pour sa mise en œuvre

(2) Liste des Experts à court-terme

	Nom, Prénom	Spécialité/ Structure	Période	Objectif
1	FUJII, Hiroki	Etude de Leçon	28 février – 8 mars 2013	Suivi de la formation à Okayama (2012)
2	TAGUCHI, Akio	Audio-visuel	23 mars – 21 juin 2013	Appui au développement de document audio-visuel sur l'étude de leçon

SD



ANNEXE 1-2. Machines et Equipements

(1) Partie sénégalaise

- Un Bureau du Projet (Ministère de l'Education Nationale)
- Les formations Régionales et Locales ont lieu dans les Centres INSET existants et les Centres Régionale de Formation Personelle et des Enseignants.
- Les activités des CAP se sont déroulées avant et après le début du Projet dans les écoles primaires.

(2) Partie Japonaise

a) Liste des Machines et Equipements fournis par JICA

Liste des équipements (Dakar)

	Item	Spécification (Modèle, Nom/No, Fabricant)	Quantité	Prix Unitaire (FCFA)	Sous-Total	Date de livraison	Etat
1	Véhicule du Projet (4x4)	TOYOTA Land Cruiser Prado	1	23,900,000	23,900,000	14-Dec-11	Bon état
2	Appareil photo numérique	Olympus VG-110	1	95,380	95,380	28-Oct-11	Bon état
3	Caméscope	Canon Legria FS406	1	290,180	290,180	14-Nov-11	Bon état
4	Imprimante (portable)	HP OfficeJet P100	1	206,500	206,500	14-Dec-11	Bon état
5	Coffre fort	Bumil Safe EDS-104	1	450,000	450,000	10-Oct-11	Bon état
6	Ordinateur pour le bureau	HP Pro 3400MT	3	556,667	1,670,001	8-Mar-12	Bon état
7	Ordinateurs Portables	HP ProBook 4530s	4	532,667	2,130,668	8-Mar-12	Bon état
8	Imprimante (Laser)	Lexmark Color C544dn	1	449,640	449,640	15-Mar-13	Bon état
9	Scanneur	HP ScanJet 7500	1	1,123,000	1,123,000	20-Feb-12	Bon état
10	Destructeur de papier	HSM Classic 225.2	1	965,990	965,990	28-Feb-12	Bon état
11	Logiciel	Remark Office v.8	1	674,938	674,938	23-Jan-12	Bon état
12	Projecteur	Epson EB-X12	1	493,550	493,550	13-Mar-13	Bon état

Liste des équipements des trois régions pilots (Louga)

	Item	Spécification (Modèle, Nom/No, Fabricant)	Quantité	Prix Unitaire (FCFA)	Sous-Total	Date de livraison	Etat
1	Caméscope	Canon Legria 407	1	290,180	290,180	14-Nov-11	Bon état
2	Appareil Photo Numérique	Olympus VG-110	1	95,380	95,380	28-Oct-11	Bon état
3	Ordinateur Portable	HP ProBook 4530s	3	532,667	1,598,001	8-Mar-12	Bon état
4	Imprimante Laser	Lexmark Laser E260DN	1	121,490	121,490	22-May-13	Bon état

Liste des équipements des trois régions pilots (Thiès)

	Item	Spécification (Modèle, Nom/No, Fabricant)	Quantité	Prix Unitaire (FCFA)	Sous-Total	Date de livraison	Etat
1	Caméscope	Canon Legria 407	1	290,180	290,180	14-Nov-11	Bon état
2	Appareil Photo Numérique	Olympus VG-110	1	95,380	95,380	28-Oct-11	Bon état
3	Ordinateur Portable	HP ProBook 4530s	2	532,667	1,065,334	8-Mar-12	Bon état
4	Ordinateur Portable*	HP ProBook 4530s	1	565,894	565,894	20-Mar-12	Bon état
5	Risographe	RISO EZ-300	1	2,432,500	2,432,500	19-Jul-12	Bon état

* On a acheté cet ordinateur après l'achat de deux ordinateurs portables pour deux formateurs nationaux de Thiès

Liste des équipements des trois régions pilots (Fatick)

	Item	Spécification (Modèle, Nom/No, Fabricant)	Quantité	Prix Unitaire (FCFA)	Sous-Total	Date de livraison	Etat
1	Caméscope	Canon Legria 407	1	290,180	290,180	14-Nov-11	Bon état
2	Appareil Photo Numérique	Olympus VG-110	1	95,380	95,380	28-Oct-11	Bon état
3	Ordinateur Portable	HP ProBook 4530s	2	532,667	1,065,334	8-Mar-12	Bon état
4	Risographe	RISO EZ-300	1	2,432,500	2,432,500	19-Jul-12	Bon état

57

df

Liste des équipements des Première zone d'extionsion (Diourbel)

	Item	Spécification (Modèle, Nom/No, Fabricant)	Quantité	Prix Unitaire (FCFA)	Sous-Total	Date de livraison	Etat
1	Risographe	RISO EZ-300	1	3,574,570	3,574,570	24-Nov-11	Bon état
2	Photocopieuse	Sharp MX-M260	1	2,299,046	2,299,046	24-Nov-11	Bon état
3	Ordinateur Portable	HP 620	1	550,700	550,700	24-Oct-11	Bon état
4	Ordinateur Portable	HP ProBook 4530s	3	565,894	1,697,682	20-Mar-12	Bon état
5	Projecteur	Sony VPL-EX100	1	350,000	350,000	24-Oct-11	Bon état
6	Caméscope*	Sony CX 280E	1	290,180	290,180	14-Nov-11	Bon état
7	Scanneur	HP ScanJet N6310	1	465,000	465,000	20-Feb-12	Bon état
8	Appareil Photo Numérique	Olympus VG-110	1	95,380	95,380	28-Oct-11	Bon état

*On a acheté le même caméscope que les autres 8 régions. Mais à cause de la panne, le fournisseur nous a donné un autre modèle qui ont la même spécification parcequ'il ne pouvait pas réparer

Liste des équipements des Première zone d'extionsion (Saint-Louis)

	Item	Spécification (Modèle, Nom/No, Fabricant)	Quantité	Prix Unitaire (FCFA)	Sous-Total	Date de livraison	Etat
1	Risographe	RISO EZ-300	1	3,574,570	3,574,570	24-Nov-11	Bon état
2	Photocopieuse	Sharp MX-M260	1	2,299,046	2,299,046	24-Nov-11	Bon état
3	Ordinateur Portable	HP 620	1	550,700	550,700	25-Oct-11	Bon état
4	Ordinateur Portable	HP ProBook 4530s	4	565,894	2,263,576	20-Mar-12	Bon état
5	Projecteur*	EPSON EB-X11	1	350,000	350,000	25-Oct-11	Bon état
6	Caméscope	Canon Legria 407	1	290,180	290,180	14-Nov-11	Bon état
7	Scanneur	HP ScanJet N6310	1	465,000	465,000	20-Feb-12	Bon état
8	Appareil Photo Numérique	Olympus VG-110	1	95,380	95,380	28-Oct-11	Bon état

*A cause de la panne, on a acheté un autre modèle qui ont la même spécification

Liste des équipements des Première zone d'extionsion (Matam)

	Item	Spécification (Modèle, Nom/No, Fabricant)	Quantité	Prix Unitaire (FCFA)	Sous-Total	Date de livraison	Etat
1	Risographe	RISO EZ-300	1	3,574,570	3,574,570	24-Nov-11	Bon état
2	Photocopieuse	Sharp MX-M260	1	2,299,046	2,299,046	24-Nov-11	Bon état
3	Ordinateur Portable	HP 620	1	550,700	550,700	24-Oct-11	Bon état
4	Ordinateur Portable	HP ProBook 4530s	3	565,894	1,697,682	20-Mar-12	Bon état
5	Projecteur	Sony VPL-EX100	1	418,000	418,000	24-Oct-11	Bon état

SD

SP

6	Caméscope	Canon Legria 407	1	290,180	290,180	14-Nov-11	Bon état
7	Scanneur	HP ScanJet N6310	1	465,000	465,000	20-Feb-12	Bon état
8	Appareil Photo Numérique	Olympus VG-110	1	95,380	95,380	28-Oct-11	Bon état

Liste des équipements des Première zone d'extionsion (Kaolack)

	Item	Spécification (Modèle, Nom/No, Fabricant)	Quantité	Prix Unitaire (FCFA)	Sous-Total	Date de livraison	Etat
1	Risographe	RISO EZ-300	1	3,574,570	3,574,570	24-Nov-11	Bon état
2	Photocopieuse	Sharp MX-M260	1	2,299,046	2,299,046	24-Nov-11	Bon état
3	Ordinateur Portable	HP 620	1	550,700	550,700	25-Oct-11	Bon état
4	Ordinateur Portable*	HP ProBook 4530s	1	532,667	532,667	8-Mar-12	Bon état
5	Ordinateur Portable	HP ProBook 4530s	4	565,894	2,263,576	20-Mar-12	Bon état
6	Projecteur	Sony VPL-EX100	1	350,000	350,000	25-Oct-11	Bon état
7	Caméscope	Canon Legria 407	1	290,180	290,180	14-Nov-11	Bon état
8	Scanneur	HP ScanJet N6310	1	465,000	465,000	20-Feb-12	Bon état
9	Appareil Photo Numérique	Olympus VG-110	1	95,380	95,380	28-Oct-11	Bon état

*Cet ordinateur est pour une formatriste nationale. On l'a acheté en différente temps que les auters .

Liste des équipements des Première zone d'extionsion (Kaffrine)

	Item	Spécification (Modèle, Nom/No, Fabricant)	Quantité	Prix Unitaire (FCFA)	Sous-Total	Date de livraison	Etat
1	Risographe	RISO EZ-300	1	3,574,570	3,574,570	24-Nov-11	Bon état
2	Photocopieuse	Sharp MX-M260	1	2,299,046	2,299,046	24-Nov-11	Bon état
3	Ordinateur Portable	HP 620	1	550,700	550,700	25-Oct-11	Bon état
4	Ordinateur Portable	HP ProBook 4530s	4	565,894	2,263,576	20-Mar-12	Bon état
5	Projecteur	Sony VPL-EX100	1	350,000	350,000	25-Oct-11	Bon état
6	Caméscope	Canon Legria 407	1	290,180	290,180	14-Nov-11	Bon état
7	Scanneur	HP ScanJet N6310	1	465,000	465,000	20-Feb-12	Bon état
8	Appareil Photo Numérique	Olympus VG-110	1	95,380	95,380	28-Oct-11	Bon état

57

Liste des équipements des Deuxième zone d'extionsion (Ziguinchor)

	Item	Spécification (Modèle, Nom/No, Fabricant)	Quantité	Prix Unitaire (FCFA)	Sous-Total	Date de livraison	Etat
1	Risographe	RISO EZ-301	1	2,475,000	2,475,000	en prévu au mois de	Bon état
2	Photocopieuse	TOSHIBA e-studio 2507	1	1,645,000	1,645,000	en prévu au mois de	Bon état
3	Ordinateur Portable	HP Probook 4540s	1	515,000	515,000	en prévu au mois de	Bon état
4	Projecteur	EPSON EB-X12	1	395,000	395,000	en prévu au mois de	Bon état
5	Caméscope	Sony Handycam SX22	1	220,000	220,000	en prévu au mois de	Bon état
6	Imprimante (Laser)	HP Laserjet Pro M1536dnf	1	191,000	191,000	en prévu au mois de	Bon état
7	Appareil Photo Numérique	Olympus VG-130	1	71,000	71,000	en prévu au mois de	Bon état

Liste des équipements des Deuxième zone d'extionsion (Sédhiou)

	Item	Spécification (Modèle, Nom/No, Fabricant)	Quantité	Prix Unitaire (FCFA)	Sous-Total	Date de livraison	Etat
1	Risographe	RISO EZ-301	1	2,475,000	2,475,000	en prévu au mois de	Bon état
2	Photocopieuse	TOSHIBA e-studio 2507	1	1,645,000	1,645,000	en prévu au mois de	Bon état
3	Ordinateur Portable	HP Probook 4540s	1	515,000	515,000	en prévu au mois de	Bon état
4	Projecteur	EPSON EB-X12	1	395,000	395,000	en prévu au mois de	Bon état
5	Caméscope	Sony Handycam SX22	1	220,000	220,000	en prévu au mois de	Bon état
6	Imprimante (Laser)	HP Laserjet Pro M1536dnf	1	191,000	191,000	en prévu au mois de	Bon état
7	Appareil Photo Numérique	Olympus VG-130	1	71,000	71,000	en prévu au mois de	Bon état

Liste des équipements des Deuxième zone d'extionsion (Kolda)

	Item	Spécification (Modèle, Nom/No, Fabricant)	Quantité	Prix Unitaire (FCFA)	Sous-Total	Date de livraison	Etat
1	Risographe	RISO EZ-301	1	2,475,000	2,475,000	en prévu au mois de	Bon état
2	Photocopieuse	TOSHIBA e-studio 2507	1	1,645,000	1,645,000	en prévu au mois de	Bon état
3	Ordinateur Portable	HP Probook 4540s	1	515,000	515,000	en prévu au mois de	Bon état
4	Projecteur	EPSON EB-X12	1	395,000	395,000	en prévu au mois de	Bon état
5	Caméscope	Sony Handycam SX22	1	220,000	220,000	en prévu au mois de	Bon état
6	Imprimante (Laser)	HP Laserjet Pro M1536dnf	1	191,000	191,000	en prévu au mois de	Bon état
7	Appareil Photo Numérique	Olympus VG-130	1	71,000	71,000	en prévu au mois de	Bon état

Liste des équipements des Deuxième zone d'extionsion (Dakar)

	Item	Spécification (Modèle, Nom/No, Fabricant)	Quantité	Prix Unitaire (FCFA)	Sous-Total	Date de livraison	Etat
1	Risographe	RISO EZ-301	1	2,475,000	2,475,000	en prévu au mois de	Bon état
2	Photocopieuse	TOSHIBA e-studio 2507	1	1,645,000	1,645,000	en prévu au mois de	Bon état
3	Ordinateur Portable	HP Probook 4540s	1	515,000	515,000	en prévu au mois de	Bon état
5	Projecteur	EPSON EB-X12	1	395,000	395,000	en prévu au mois de	Bon état
6	Caméscope	Sony Handycam SX22	1	220,000	220,000	en prévu au mois de	Bon état
7	Imprimante (Laser)	HP Laserjet Pro M1536dnf	1	191,000	191,000	en prévu au mois de	Bon état
8	Appareil Photo Numérique	Olympus VG-130	1	71,000	71,000	en prévu au mois de	Bon état

Liste des équipements des Deuxième zone d'extionsion (Tambacounda)

	Item	Spécification (Modèle, Nom/No, Fabricant)	Quantité	Prix Unitaire (FCFA)	Sous-Total	Date de livraison	Etat
1	Risographe	RISO EZ-301	1	2,475,000	2,475,000	en prévu au mois de	Bon état
2	Photocopieuse	TOSHIBA e-studio 2507	1	1,645,000	1,645,000	en prévu au mois de	Bon état
3	Ordinateur Portable	HP Probook 4540s	1	515,000	515,000	en prévu au mois de	Bon état
4	Projecteur	EPSON EB-X12	1	395,000	395,000	en prévu au mois de	Bon état
5	Caméscope	Sony Handycam SX22	1	220,000	220,000	en prévu au mois de	Bon état
6	Imprimante (Laser)	HP Laserjet Pro M1536dnf	1	191,000	191,000	en prévu au mois de	Bon état
7	Appareil Photo Numérique	Olympus VG-130	1	71,000	71,000	en prévu au mois de	Bon état

Liste des équipements des Deuxième zone d'extionsion (Kédougou)

	Item	Spécification (Modèle, Nom/No, Fabricant)	Quantité	Prix Unitaire (FCFA)	Sous-Total	Date de livraison	Etat
1	Risographe	RISO EZ-301	1	2,475,000	2,475,000	en prévu au mois de	Bon état
2	Photocopieuse	TOSHIBA e-studio 2507	1	1,645,000	1,645,000	en prévu au mois de	Bon état
3	Ordinateur Portable	HP Probook 4540s	1	515,000	515,000	en prévu au mois de	Bon état
4	Projecteur	EPSON EB-X12	1	395,000	395,000	en prévu au mois de	Bon état
5	Caméscope	Sony Handycam SX22	1	220,000	220,000	en prévu au mois de	Bon état
6	Imprimante (Laser)	HP Laserjet Pro M1536dnf	1	191,000	191,000	en prévu au mois de	Bon état
7	Appareil Photo Numérique	Olympus VG-130	1	71,000	71,000	en prévu au mois de	Bon état

SD

Q

b) Formation sur la Formation Continue au CEMASTEAM (Kenya)

	Nom et prénom	Sexe	Fonction / Structure	Fonction dans le PREMST (octobre. 2013)
<u>2012 : 13 - 29 janvier 2012</u>				
1	Omar Labo GAGIAGA	H	Inspecteur / CRFPE-Thiès	Formateur Régional
2	Mignane DIOUF	H	Inspecteur / CRFPE-Foundiougne	Formateur Régional
3	Al Hamdou NDIAYE	H	Inspecteur / CRFPE-Louga	Formateur Régional
4	Amadou SOW	H	Directeur d'école / Badara DIOP Kébémér	Lauréat, Olympiades 2011
5	Coumba Diop NDIAYE	H	Enseignant / Ndiayene Sapenda, Linguère	Lauréat, Olympiades 2011
<u>2012 : 22 septembre – 7 octobre 2012</u>				
1	Abdoul Aziz FALL.	H	Inspecteur / IA Kaolack	Formateur Régional
2	Alioune Kane SECK	H	Inspecteur / IEF Kongheul	Formateur Régional
3	Ababacar KANE	H	Inspecteur / IA Saint Louis	Formateur Régional
4	Cherif Mahmoud KEBE	H	Inspecteur / IA Matam	Formateur Régional
5	Alassane BARO	H	Inspecteur / IA Diourbel	Formateur Régional
<u>2013 : 2 - 13 septembre 2013</u>				
1	Imam Amady GAYE	H	Inspecteur / IEF Malem Hodar	Formateur Régional
2	Mohamadou SOUMARE	H	Inspecteur / IEF Kanel	Formateur Régional
3	Abdoulaye GASSAMA	H	Inspecteur / IEF Kaolack Com.	Formateur Régional
4	Abou Beydary DIALLO	H	Inspecteur / IEF Dagana	Formateur Régional
5	Mamadou Aliou LOULIBALY	H	Inspecteur / CRFPE Diourbel	Formateur Régional

c) Formation au Japon

Formation sur la Formation Continue (Hiroshima, Japon)

	Nom et prénom	Sexe	Fonction / Structure	Fonction dans le PREMST (octobre. 2013)
<u>2011 : 27 septembre – 29 octobre 2011</u>				
1	Mor GUEYE	H	Inspecteur / IEF Louga	Formateur Régional
2	Abdoulaye SALL	H	Inspecteur / IEF Tivaouane	Formateur Régional (Point Focal - IEF Tivaouane)

Formation sur la Formation Continue (Shikoku, Japon)

	Nom et prénom	Sexe	Fonction / Structure	Fonction dans le PREMST (octobre. 2013)
<u>2012 : 18 janvier – 18 février 2012</u>				
1	Chiekh NDOUR	H	Inspecteur / CRFPE	Ancien Coordonateur Régional - Fatick
2	Abdoulaye MANGANE	H	Provisseur / Lycee Ngoundiane, Thies	Formateur Régional

3	Yakhya Dit Magueye	H	Inspecteur / IEF Thiès	Formateur Régional
4	Demba Fatim SALL	H	Inspecteur / IEF Kébémér	Formateur Régional (Point Focal - IEF Kébémér)
2013 : 16 janvier – 18 février 2013				
1	Seydi GUISSSE	H	Inspecteur / IA Saint Louis	Coordonateur Régional – Saint Louis
2	Ibrahima NDIAYE	H	Inspecteur / IA Kaffrine	Coordonateur Régional -
3	Ibrahima THIAO	H	Inspecteur / CRFPE Kaolack	Coordonateur Régional Adjoint - Kaolack

Formation sur l'Etude de Leçon (Okayama, Japon)

	Nom et prénom	Sexe	Fonction / Structure	Fonction dans le PREMST (octobre. 2013)
2012 : 15 octobre – 7 novembre 2012				
1	Abdoulaye MBODJI	H	DEE	Ancien Coordonateur National
2	Alioune Badara DIOP	H	Inspecteur / DEE	Coordonateur National
3	Massoum NIANG	H	Professeur / BST-Dakar	Formateur National
4	Marguerite Faye NDIAYE	F	Inspecteur / CRFPE Dakar	Formateur National
5	Ibrahima BAR	H	Inspecteur / IA-Thiès	Formateur National / Coordonateur Régional -Thiès
6	Diamé FAYE	H	Professeur / BST-Thies	Formateur National
7	Moussa FAYE	H	Conseiller Pédagogique / CRFPE Fatick	Formateur National / Coordonateur Régional - Fatick
8	Aminata DIOP	F	Inspecteur / IA Kaolack	Formateur National
9	Papa Ibrahima LY	H	Inspecteur / CRFPE Louga	Formateur National
10	Deurguene DIENG	H	Inspecteur / CRFPE Louga	Formateur National
11	Boubacar SOW	H	Inspecteur / IA Louga	Coordonateur Régional - Louga

Formation sur L'Enseignement des Mathématiques et des Sciences (Hokkaido, Japon)

	Nom et prénom	Sexe	Fonction / Structure	Fonction dans le PREMST (octobre. 2013)
2013 : 5 juin – 20 juillet 2013				
1	Mbaye DIEYE	H	Inspecteur / IEF Linguère	Formateur Régional (Point Focal - IEF Linguère)
2	Mamadou BA	H	Inspecteur / IEF Matam	Formateur Régional (Point Focal – IEF Matam)

Stage pour Jeunes Leaders sur « Education Science and Mathmatics in Basic Education » (Kyushu, Japon)

	Nom et prénom	Sexe	Fonction / Structure	Fonction dans le PREMST (octobre. 2013)
2013 : 9 – 26 septembre 2013				
1	Samba Sall DIALLO	H	Inspecteur / IEF Kanel	Formateur Régional
2	Faty KANE	F	Institurice / IEF Linguè	Participante de la CAP
3	Djibril FAYE	H	Instituteur / IEF Gossas	Participant de la CAP
4	Cheikh DIARRA	H	Instituteur / IEF Mobour	Participant de la CAP

Formation sur l'Etude de Leçon (Okayama, Japon)

	Nom et prénom	Sexe	Fonction / Structure	Fonction dans le PREMST (octobre. 2013)
2013 : 3 – 29 Octobre 2013				

1	Alioune Badara DIOP	H	Inspecteur / DEE	Coordonateur National
2	Abdou Kader SALL	H	Inspecteur / CRFPE Louga	Formateur Régional
3	Ababacar MBAYE	H	Inspecteur / IEF Kebe	Formateur Régional
4	Khadjatou DIOP	F	Institurice / IEF Louga	Participante de la CAP
5	Ndéye Marie CARVALHO	F	Inspecteur / IEF Foundiougne	Formateur Régional
6	Fodé DIALLO	H	Inspecteur / IEF Gossas	Formateur Régional
7	Niokhor NDONG	H	Instituteur / IEF Foundiougne	Participant de la CAP
8	Samba DIAKHATE	H	Inspecteur / IEF Thiès D épartement	Formateur Régional
9	Mamadou Moustapha KANE	H	Inspecteur / IEF Mbour 2	Formateur Régional
10	Baba NIANG	H	Instituteur / IEF Tivaouane	Participant de la CAP

57

of

ANNEXE 1-3 Liste des homologues Sénégalais

Chef de Projet

Alioune Badara DIOP, DEE

Equipe Nationale

	Nom, Prénom	Fonction / Structures
1	Massounm NIANG	Coordination Nationale des Blocs Scientifiques et Technologique (CNBST)
2	Faye Marguerite NDIAYE	Centre Régional de Formation Personnels de l'Education (CRFPE) de Dakar
3	Papa Ibrahima LY	Centre Régional de Formation Personnels de l'Education (CRFPE) de Louga
4	Deurgueune DIENG	Centre Régional de Formation Personnels de l'Education (CRFPE) de Louga
5	Ibrahima BAR	Inspection d'Académie de Thiès
6	Diamé FAYE	Bloc Scientifiques et Technologique (BST) de Thiès
7	Moussa FAYE	Centre Régional de Formation Personnels de l'Education (CRFPE) de Fatick
8	Maba BA	Inspection de l'Education et de la Formation de Kanel
9	Aminata DIOP	Inspection d'Académie de Kaolack

Equipe Régionale des trois régions pilotes (Louga, Thiès, Fatick)

1) Louga

1	Boubacar SOW	Coordinat. Rég-IA Louga
2	Pape Amadou SIDIBE	Formateur Régional / CRFPE - Louga
3	Ibrahima NDIAYE	Formateur Régional / CRFPE - Louga
4	Abdoulaye Ndiack SARR	Formateur Régional / CRFPE - Louga
5	Abdou Kader SALL	Formateur Régional / CRFPE - Louga
6	Al Hamdou NDIAYE	Formateur Régional / CRFPE - Louga
7	El Hadji NDIAYE	Formateur Régional / CRFPE - Louga
8	Semou NDAO	Formateur Régional / IEF Louga
9	Mor GUEYE	Formateur Régional / IEF Louga
10	Ababacar MBAYE	Formateur Régional / IEF Kébémér
11	Mamadou DIABATE	Formateur Régional / IEF Kébémér
12	Demba Fatim SALL	Formateur Régional / IEF Kébémér
13	Alla THIAW	Formateur Régional / IEF Linguère
14	Mbaye DIEYE	Formateur Régional / IEF Linguère
15	Boubou THIAM	Formateur Régional / IEF Linguère

2) Thiès

1	Mohamadou Lamine DIA	Formateur Régional / IA Thiès
2	Ndèye Nguéya Sall SY	Formateur Régional / IA Thiès
3	Oumar Labou GADIAGA	Formateur Régional / CRFPE Thiès
4	Yandé Sarr NDIAYE	Formateur Régional / CRFPE Thiès
5	Mamadou FALL	Formateur Régional / CRFPE Thiès
6	Lathirole FAYE	Formateur Régional / CRFPE Thiès
7	Papa Birane THIANDOUM	Formateur Régional / CRFPE Thiès
8	Bocar SOW	Formateur Régional / CRFPE Thiès
9	Abdoulaye MANGANE	Formateur Régional / Proviseur LMF
10	Moustapha MBAYE	Formateur Régional / IEF Mbour 2
11	Ismaila Diop NDIAYE	Formateur Régional / IEF Mbour 1
12	Pape Marie SYLLA	Formateur Régional / IEF Tivaouane

13	Abdoulaye SALL	Formateur Régional / IEF Tivaouane
14	Yakhya dit M DIOUF	Formateur Régional / INEFJA Thiès
15	Momar KEBE	Formateur Régional / IEF Thiès Ville
16	Samba DIAKHATE	Formateur Régional / IEF Thiès Dpt
17	Omar DIAKHATE	Formateur Régional / IEF Thiès Dpt
18	Abdoul Ahad BADIANE	Formateur Régional / LETFP Thiès
19	Mbaye NDIAYE	Formateur Régional / INEFJA Thiès
20	Pape THIAM	Formateur Régional / IEF Thiès Ville
21	Abdoulaye	Formateur Régional / IEF Mbour I

3) Fatick

1	Djibril NDIAYE	Formateur Régional / CRFPE Fatick
2	Birame FAYE	Formateur Régional / IA Fatick
3	Papa Amath FAYE	Formateur Régional / IEF Fatick
4	Assane DIAGNE	Formateur Régional / CRFPE Fatick
5	Mame Birame FAYE	Formateur Régional / IEF Fatick
6	Abdoulaye NDOUR	Formateur Régional / CRFPE Fatick
7	Made FAYE	Formateur Régional / IEF Fatick
8	Nouha SARR	Formateur Régional / IEF Fatick
9	Massamba DIEYE	Formateur Régional / CRFPE Fatick
10	Mignane DIOUF	Formateur Régional / IEF Foundiougne
11	Samba BAKHOUM	Formateur Régional / IEF Foundiougne
12	Ndeye Marie CARVALHO	Formateur Régional / IEF Foundiougne
13	Hamath DIALLO	Formateur Régional / IEF Gossas
14	Mor COULIBALY	Formateur Régional / IEF Gossas
15	Fodé DIALLO	Formateur Régional / IEF Gossas

Equipe Régionale de la première zone d'extionsion (Diourbel, Saint-Louis, Matam, Kaolack,

1) Diourbel

1	Alassane BARRO	Formateur Régional / IA Diourbel
2	Moussa FAYE	Formateur Régional / IA Diourbel
3	Balla MANE	Formateur Régional / IEF Bambey
4	Moustapha SALL	Formateur Régional / CRFPE Diourbel
5	Serigne SECK	Formateur Régional / BTS Diourbel
6	Mamadou Aliou KOULIBALY	Formateur Régional / CRFPE Diourbel
7	Alioune FALL	Formateur Régional / CRFPE Diourbel
8	Ababacar SECK	Formateur Régional / IEF Mbacké
9	Sounkharou DIARRA	Formateur Régional / IEF Bambey
10	El Moussa SENE	Formateur Régional / IEF Diourbel
11	Ibrahima DEME	Formateur Régional / CRFPE Diourbel
12	Bassirou KASSE	Formateur Régional / IEF Mbacké
13	Cheikhna LAM	Formateur Régional / IEF Diourbel
14	Ndiaga BA	Formateur Régional / IEF Diourbel
15	Alioune NDIAYE	Formateur Régional / IA Diourbel

2) Saint-Louis

1	Seydi GUISSÉ	Formateur Régional / IA Saint-Louis
---	--------------	-------------------------------------

2	Amadou KONE	Formateur Régional / IA Saint-Louis
3	Mactar FALL	Formateur Régional / IA Saint-Louis
4	Ameth Aly GAYE	Formateur Régional / CRFPE
5	Déthié Thiendella FALL	Formateur Régional / CRFPE
6	Cheikh DIOUF	Formateur Régional / CRFPE
7	Amadou KONE	Formateur Régional / CRFPE
8	Mamadou NDIAYE	Formateur Régional / CRFPE
9	Amadou BARRY	Formateur Régional / IEF Saint-Louis Com
10	Moussa CISSE	Formateur Régional / IEF Saint-Louis Com
11	Ababacar KANE	Formateur Régional / IEF Saint-Louis Com
12	Al Housseynou BA	Formateur Régional / IEF Saint-Louis Dept
13	Samba DIALLO	Formateur Régional / IEF Saint-Louis Dept
14	Mamadou DEMBA	Formateur Régional / IEF Saint-Louis Dept
15	Abou Beydari DIALLO	Formateur Régional / IEF Dagana
16	Issa NDIOR	Formateur Régional / IEF Dagana
17	SIDY BOYE	Formateur Régional / IEF Dagana
18	Mamadou Hamédine SARR	Formateur Régional / IEF Podor
19	Ibrahima SENE	Formateur Régional / IEF Podor
20	Oumar DIAGNE	Formateur Régional / IEF Podor

3) Matam

1	Chérif Mahmoud KEBE	Formateur Régional / IA Matam
2	Mamadou BAL	Formateur Régional / CRFPE Matam
3	Mam Bouh TOURE	Formateur Régional / CRFPE Matam
4	Amadou alhousseynou SARR	Formateur Régional / IEF Matam
5	Mamadou lamine LY	Formateur Régional / IEF Matam
6	Mamadou BA	Formateur Régional / IEF Matam
7	Mamadou madiwou WANE	Formateur Régional / Lycée Matam
8	Maguette Sow DIAW	Formateur Régional / IEF Kanel
9	Baba THIAM	Formateur Régional / IEF Ranérou
10	Mouhamadou BA	Formateur Régional / IEF Ranérou
11	Fallou SENE	Formateur Régional / IEF Matam
12	Mohamadou SOUMARE	Formateur Régional / IEF Kanel
13	Samba Sall DIALLO	Formateur Régional / IEF Kanel
14	Mame Moussa CISSE	Formateur Régional / IEF Kanel
15	Mamadou FAYE	Formateur Régional / IEF Ranérou

4) Kaolack

1	Waly BAKHOUM	Formateur Régional / IA Kaolack
2	Ibrahim THIAO	Formateur Régional / CRFPE Kaolack
3	Mbaye BABOU	Formateur Régional / IA Kaolack
4	Salif SIDIBE	Formateur Régional / IA Kaolack
5	Youga MBENGUE	Formateur Régional / IA Kaolack
6	Alarba KANDE	Formateur Régional / IA Kaolack
7	Dicko Diarra NGOM	Formateur Régional / BST Kaolack
8	Bou FALL	Formateur Régional / CRFPE Kaolack

57

①

9	François FAYE	Formateur Régional / IA Kaolack
10	Emmanuel GUEYE	Formateur Régional / CRFPE Kaolack
11	Doudou FOFANA	Formateur Régional / IEF Kaolack Dept
12	Mamadou FAYE	Formateur Régional / IEF Kaolack Dept
13	Aguibou BA	Formateur Régional / IEF Kaolack Dept
14	Mamadou DIOUF	Formateur Régional / IEF Kaolack Com
15	Abdoulaye GASSAMA	Formateur Régional / IEF Kaolack Com
16	Mamadou FAYE	Formateur Régional / IEF Niore
17	Babacar DIOP	Formateur Régional / IEF Niore
18	Souleymane DIARISSO	Formateur Régional / IEF Niore
19	El Hadji Ab. Aziz FALL	Formateur Régional / IEF Guinguineo
20	Papa Malick HANE	Formateur Régional / IEF Guinguineo

5) Kaffrine

1	Ibrahima NDIAYE	Formateur Régional / IA Kaffrine
2	Mamadou SOW	Formateur Régional / IEF Kaffrine
3	Ibrahima khail SAKHO	Formateur Régional / IEF Kaffrine
4	Diané CISSE	Formateur Régional / IA Kaffrine
5	Abdoul Aziz MBAYE	Formateur Régional / CPI SVT
6	Ibrahima NIASS	Formateur Régional / CPI Physique
7	Jean Michel Déthié FAYE	Formateur Régional / Centre BIT
8	Mamour CISSE	Formateur Régional / IEF Malem Hodar
9	Iman Amady GAYE	Formateur Régional / IEF Malem Hodar
10	Baba THIAM	Formateur Régional / IEF Kougheul
11	Mamadou NGOM	Formateur Régional / IEF Kougheul
12	Youssoupha MARE	Formateur Régional / IEF Birkelane
13	El Hadj Omar DIOP	Formateur Régional / IEF Birkelane
14	Bocar DIAO	Formateur Régional / Lycée Birkelane
15	Bira GAYE	Formateur Régional / IEF Birkelane

Equipe Régionale de la deuxième zone d'extionsion (Dakar, Tambacounda, Kédougou, Ziguinche)

1) Dakar

1	Mouhamadou Bassirou DIALLO	Formateur Régional / IA Dakar
2	Ibrahima Amadou LY	Formateur Régional / IA Dakar
3	Hameth Saloum FALL	Formateur Régional / CRFPE Dakar
4	Amadou Yoro NIANG	Formateur Régional / CRFPE Dakar
5	Mouhamadou Charles WADE	Formateur Régional / CRFPE Dakar
6	Penda Wane BA	Formateur Régional / IA Dakar
7	Seyni WADE	Formateur Régional / IA Dakar
8	Libasse DIAGNE	Formateur Régional / IEF Almadies
9	Fatou MBENGUE	Formateur Régional / IEF Almadies
10	Mamadou GAYE	Formateur Régional / IEF Dakar Plateau
11	Waly Anoune NDIAYE	Formateur Régional / IEF Dakar Plateau
12	Abdoulaye Oumar KANE	Formateur Régional / IEF Grand Dakar
13	Sophie Sylla MAR	Formateur Régional / IEF Grand Dakar
14	Rita Claudia Nd. COLY	Formateur Régional / IEF Guédiawaye

57

df

15	Mame Ali Amadou DIEYE	Formateur Régional / IEF Guédiawaye
16	Ababacar Sadikh DIOP	Formateur Régional / IEF Keur Massar
17	El Hadji Malick SARR	Formateur Régional / IEF Keur Massar
18	Cheikh DIA	Formateur Régional / IEF Pikine
19	Diné DIOP	Formateur Régional / IEF Pikine
20	Méguèye GUEYE	Formateur Régional / IEF Rufisque Com
21	Aboubakry Sadikh NIANG	Formateur Régional / IEF Rufisque Com
22	Aguibou BA	Formateur Régional / IEF Rufisque Dpt
23	Moussa DIOUF	Formateur Régional / IEF Rufisque Dpt
24	Fatou Ba NDOUR	Formateur Régional / IEF Thiaroye
25	Amadou Lamine WADE	Formateur Régional / IEF Thiaroye
26	Ibra DIOP	Formateur Régional / IA Dakar
27	Niowy FALL	Formateur Régional / IA Dakar
28	Mame Abdoulaye SECK	Formateur Régional / IEF Parcelles Assainies
29	Ndiogou NDIAYE	Formateur Régional / IEF Parcelles Assainies
30	Awa Diagne GUEYE	Formateur Régional / IA Dakar

2) Tambacounda

1	Meissa CISS	Formateur Régional / IA Tambacounda
2	Ablaye NIOM	Formateur Régional / IA Tambacounda
3	Aboubacry DIAO	Formateur Régional / CRFPE Tambacounda
4	Ousmane FALL	Formateur Régional / IEF Tambacounda
5	Ahmadou Tidiane BOCOUM	Formateur Régional / CRFPE Tambacounda
6	Abdoulaye CAMARA	Formateur Régional / CRFPE Tambacounda
7	Cheikh LO	Formateur Régional / CRFPE Tambacounda
8	Mamadou DIALLO	Formateur Régional / CRFPE Tambacounda
9	Mouhamadou Matar FALL	Formateur Régional / IEF Koumpentoum
10	Abdoulaye MBALLO	Formateur Régional / IEF Bakel
11	Serigne Mbaye Sy GUEYE	Formateur Régional / IEF Goudiry
12	Oumar WADE	Formateur Régional / IEF Tambacounda
13	Ibrahima SARR	Formateur Régional / IEF Koumpentoum
14	Mbemba DIEBATE	Formateur Régional / IEF Goudiry
15	Djibel NDAO	Formateur Régional / IEF Bakel

3) Kédougou

1	Papa Gorgu NDIAYE	Formateur Régional / IA Kédougou
2	Amadou SOW	Formateur Régional / IA Kédougou
3	Mamoudou Oumar GUEYE	Formateur Régional / IEF Kédougou
4	Amedy DIENG	Formateur Régional / IEF Kédougou
5	Assane NDONGO	Formateur Régional / IEF Saraya
6	El Hadji Mouhamadou DIOUF	Formateur Régional / CRFPE Kédougou
7	Babacar CISSE	Formateur Régional / IEF Salémata

8	Cheikh NDIAYE	Formateur Régional / IEF Kédougou
9	Mamadou NDIONE	Formateur Régional / IEF Salémata
10	Hassimou THIAM	Formateur Régional / IEF Saraya
11	Boubacar BARRY	Formateur Régional / CRFPE Kédougou
12	El Hadji Ibrahima DIOUF	Formateur Régional / LTIMK
13	Momath THIAM	Formateur Régional / CRFPE Kédougou
14	Abdou Aziz SALL	Formateur Régional / CRFPE
15	Mamadou THIAM	Formateur Régional / CRPECTP

4) Ziguinchor

1	Yancouba MASSALY	Formateur Régional / IA Ziguinchor
2	Mamadou MBOUP	Formateur Régional / IA Ziguinchor
3	Albert YADE	Formateur Régional / CRFPE Ziguinchor
4	Ousmane SANE	Formateur Régional / IA Ziguinchor
5	Amadou Sow DIALLO	Formateur Régional / BST Ziguinchor
6	Landing DIEME	Formateur Régional / CRFPE Ziguinchor
7	Cheikh Boucar DIOUF	Formateur Régional / CRFPE Ziguinchor
8	Ibrahima DIATTA	Formateur Régional / IEF Oussouye
9	Ababacar Sy DIOP	Formateur Régional / IEF Oussouye
10	Yaya SAMBOU	Formateur Régional / IEF Ziguinchor
11	Jean Baptiste FAYE	Formateur Régional / IEF Ziguinchor
12	Malal SANE	Formateur Régional / IEF Bignona 1
13	Hyacinthe CISS	Formateur Régional / IEF Bignona 1 (CEM La Sorbonne)
14	Thierno Haby BA	Formateur Régional / IEF Bignona 2
15	Mouhamadou Moustapha DIASSE	Formateur Régional / IEF Bignona 2

5) Sédhiou

1	Saliou FAYE	Formateur Régional / IA Sédhiou
2	Bakary DIEDHIOU	Formateur Régional / IA Sédhiou
3	Doudou Totala DIEDHIOU	Formateur Régional / CRFPE Sédhiou
4	Bathie GAYE	Formateur Régional / CRFPE Sédhiou
5	Cheikh Tidiane DIALLO	Formateur Régional / CRFPE Sédhiou
6	Papa Diène FAYE	Formateur Régional / CRFPE Sédhiou
7	Abou DIALLO	Formateur Régional / IEF Sédhiou
8	Alioune BA	Formateur Régional / IEF Sédhiou
9	Malang SAGNA	Formateur Régional / CEM Fodé Kaba Doumbya
10	Abdoul Aziz Mbacké SECK	Formateur Régional / IEF Bounkiling
11	Abdou BASSENE	Formateur Régional / IEF Bounkiling
12	Younouss SAGNA	Formateur Régional / Lycée Médina Wandifa
13	Jean Jacques DIADIOU	Formateur Régional / IEF Goudomp
14	Cheikh Amadou DIARRA	Formateur Régional / IEF Goudomp
15	Gabriel SAMBOU	Formateur Régional / CEM Goudomp Commune

6) Kolda

1	Amadou DIA	Formateur Régional / IA Kolda
2	Demba FAYE	Formateur Régional / IEF Kolda

57

48

3	Laurent FAYE	Formateur Régional / IA Kolda
4	Ousmane DIOUF	Formateur Régional / CRFPE Kolda
5	Cheikh A.T SY	Formateur Régional / CRFPE Kolda
6	Adama DIAGNE	Formateur Régional / CRFPE Kolda
7	Cherif KOMA	Formateur Régional / CRFPE Kolda
8	Gora DIOP	Formateur Régional / IEF Kolda
9	Omar DANSOKHO	Formateur Régional / IEF Kolda
10	Cheikh SAMB	Formateur Régional / LAMB
11	Ayatoulaye DIONE	Formateur Régional / LAMB
12	Abdou FAYE	Formateur Régional / IEF Vélingara
13	Souleymane MBENGUE	Formateur Régional / IEF Vélingara
14	Abdou A FALL	Formateur Régional / IEF Médina Yoro Foulah
15	Papa Samba DIAGNE	Formateur Régional / IEF Médina Yoro Foulah

57

df

ANNEXE 2. Prévision Budgétaire et Exécution

SOMMAIRE : Budget Prévu et Exécution Financière (Septembre 2011 - Septembre 2013)

Activité	Budget prévu			Budget Exécuté				
	JICA	Sénégal	Total	JICA	% exé	Sénégal	% exé	Total
1. Formation au Kenya et au Japon	124,368,000	0	82,912,000	174,701,793	139%			174,701,792
2. Revision des modules	15,663,000	0	8,133,000	10,288,725	66%			10,288,725
3. Formation Régionale	12,140,320	68,158,250	80,298,570	6,632,032	47%	39,415,468	58%	30,404,170
4. Formation Locale	20,992,840	289,936,000	310,928,840	15,999,775	76%	124,691,203	43%	143,445,568
5. Formation aux Cellules	59,340,000	42,215,000	101,555,000	34,747,569	59%	20,255,900	48%	39,360,139
6. Conférence SMASE-WECSA	9,000,000	0	9,000,000	6,963,000	77%			6,963,000
7. Suivi - Evaluation	55,853,800	55,827,000	111,680,800	42,894,610	44%	31,643,330	57%	58,894,610
8. Bureau	96,330,000	4,000,000	100,330,000	77,286,032	72%	0	0%	77,286,032
9. Envoi des experts	5,250,000	0	5,250,000	0	0%			0
10. Formation des directeurs	36,862,600	0	36,862,600	56,548,070	153%			56,548,070
11. Communication	15,000,000	0	10,000,000	12,971,612	86%			12,971,612
12. Visite d'échange	19,808,000	0	19,808,000	8,250,609	42%			8,250,609
13. Equipements	185,900,000	0	185,900,000	94,788,198				94,788,198
14. Etude de Base et de Fin	16,065,000	0	16,065,000	21,341,650				21,341,650
15. Suivi de la formation au Japon	0	0	0	11,486,400				11,486,400
16. Film de l'Etude leçon	3,232,000	0	0	10,014,972				10,014,972
Total	675,805,560	460,136,250	1,078,723,810	584,915,048	87%	216,005,900	47%	756,745,547

57

8

ANNEXE 3. Cadre Logique du Proiet (Ver. 2.0 Novembre 2012)

Cadre Logique du Proiet		Ver. 2.0 Novembre 2012	
<p>Titre du Proiet : Proiet de Renforcement de l'Enseignement des Mathématiques, des Sciences et de la Technologie (PREMST) Phase 2</p> <p>Agence d'Exécution : Ministère de l'Enseignement Elémentaire, du Moyen Secondaire et des Langues Nationales (ME) et l'Agence Japonaise de Coopération Internationale (JICA)</p> <p>Cible : Enseignants (environs 55 000), Directeurs (environs 6 000), Elèves (environs 1.7 millions) aux écoles élémentaire</p> <p>Régions Cibles : Toutes les 14 régions</p> <p>Durée : Quatre (4) ans (le 1^{er} septembre 2011 – le 31 août 2015)</p>			
Compte rendu / sommaire	Indicateurs objectivement vérifiables	Moyens de vérification	Hypothèses Importantes
<p>Vision / But Accroître les performances scolaires au niveau de l'élémentaire dans les domaines des mathématiques, sciences, et technologie.</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▪ Le résultat du CFEE s'améliore. ▪ Le résultat de tests de performance des élèves élaborés par le Proiet s'élève. 	<ul style="list-style-type: none"> • Rapport bilan PDEF • Rapport de début et de fin de projet 	
<p>Objectif général Améliorer la qualité des enseignements / apprentissages des mathématiques, sciences et technologie.</p>	<ul style="list-style-type: none"> • L'outil d'observation de leçon révèle que la moyenne obtenue avec les enseignants de l'échantillon s'élève à 1,5 sur 3,0¹ : • L'outil d'observation de leçon montre que le pourcentage des enseignants qui atteignent un score d'au moins 1,5 sur 3,0 s'élève à 50%.² 	<ul style="list-style-type: none"> • Rapport de début et de fin de projet 	<ul style="list-style-type: none"> • Le temps d'apprentissage des élèves est maintenu.

¹ La donnée de base est 1,31.

² La donnée de base est 38,1%.

49

8

<p>Résultats attendus</p> <p>1. Le modèle de formation continuée est intégré dans le dispositif de formation existant.</p> <p>2. Les capacités des formateurs sont renforcées.</p> <p>3. Les connaissances des enseignants en pédagogie et dans les contenus disciplinaires en mathématiques, sciences, et technologie sont renforcées.</p> <p>4. L'étude de leçon est pratiquée régulièrement aux niveaux dans les Cellules et dans les écoles.</p>	<p>1.</p> <ul style="list-style-type: none">• Le modèle est validé par le ME ;• Les IA intègrent le modèle dans le Plan de Formation de l'Académie. <p>2.</p> <ul style="list-style-type: none">• Le résultat de l'Outil de Suivi-Evaluation des Formateurs Nationaux appliqué par les participants aux Formations Régionales s'élève à 2,4.• Le résultat de l'Outil de Suivi-Evaluation des Formateurs Régionaux appliqué par les Formateurs Nationaux s'élève à 2,4.³• Le Résultat de l'Outil de Suivi-Evaluation des Formateurs Locaux appliqué par les Formateurs Régionaux s'élève à 2,3.⁴ <p>3.</p> <ul style="list-style-type: none">• Le pourcentage de pré-test et post-test des enseignants dans les 5 nouvelles régions s'améliore de 6%.⁵ <p>4.</p> <ul style="list-style-type: none">• 90% des cellules organisent 03 activités pratiques d'étude de leçons par an. (02 activités pour les 1^e et 2^e années.)• 50% des écoles intègrent l'étude de leçon dans les cellules internes⁶	<p>Lettre circulaire du ME</p> <p>Plan de Formation de l'Académie</p> <p>Rapport Bilan</p> <p>Rapport Bilan pré-test et post-test</p> <p>Rapport Bilan</p>	<p>La mobilité des formateurs nationaux est jugulée.</p>
---	--	--	--

³ La donnée de base est 2,1.

⁴ La donnée de base est 2,0.

⁵ La donnée de base est 58,6%.

⁶ Le pourcentage sera revu selon le résultat du suivi-évaluation en 2011/12.

47

[Signature]

Activités	JICA	Sénégal	Préalables :
<p>0 Mise en œuvre de l'étude de base et l'étude de fin du projet.</p> <p>Résultats 1 Le modèle de formation continuée est intégré dans le dispositif de formation existant.</p> <p>1-1 Mise en place du dispositif stabilisé de formation en cascade ; 1-2 Elaboration d'outils de formation ; 1-3 Mise en place d'un dispositif de suivi –supervision ; 1-4 Organisation de bilans ; 1-5 Campagne de communication.</p> <p>Résultats 2 Les capacités des formateurs sont renforcées.</p> <p>2-1 Formation des formateurs nationaux ; 2-2 Formation des formateurs régionaux ; 2-3 Formation des formateurs locaux.</p> <p>Résultats 3 Les connaissances des enseignants en pédagogie et dans les contenus disciplinaires en mathématiques, sciences, et technologie sont renforcées .</p> <p>3-1 Formation des maîtres ; 3-2 Formation des directeurs sur les trois modules⁷ ; 3-3 Suivi de formation des maîtres (modules) par les directeurs d'école.</p> <p>Résultats 4 L'étude de leçon est pratiquée aux niveaux des Cellules et dans les écoles.</p> <p>4-1 Organisation d'activités pratiques d'étude de leçon ; 4-2 Formation des directeurs sur l'encadrement de l'étude de leçon ; 4-3 Encadrement rapproché des maîtres (étude de leçon) par les directeurs d'école.</p>	<ul style="list-style-type: none"> • Experts à long terme • Experts à court terme (si nécessaire) • Expert au pays tiers (si nécessaire) • Equipements pour les formations régionales et locales • Matériaux pour les formations • Formation dans les pays tiers ou au Japon • Coût local 	<ul style="list-style-type: none"> • Homologues • Bureau du Projet • Dépenses liées à la formation (restauration, logement, transport, honoraires des formateurs, etc.) • Dépenses liées au suivi-évaluation 	<ul style="list-style-type: none"> • La Politique du Gouvernement du Sénégal continue à mettre en priorité à l'amélioration de la qualité de l'éducation, y compris des mathématiques, sciences. • Il n'y aura pas grand changement au niveau du curriculum de l'enseignement élémentaire dans mathématiques, sciences, et le système de la formation continue. • Le CRFPE prend le rôle de la gestion de l'opération de la formation au niveau de région et département.

⁷ Le contenu est: suivi-encadrement, management des ressources humaines, gestion des matériels didactiques.

ANNEXE 4. Cadre Logique du Projet (Ver. 3.0 Décembre 2013)

Cadre Logique du Projet		Ver. 3.0 Décembre 2013	
<p>Titre du Projet : Projet de Renforcement de l'Enseignement des Mathématiques, des Sciences et de la Technologie (PREMST) Phase 2 Agence d'Exécution : Ministère de l'Enseignement Élémentaire, du Moyen Secondaire et des Langues Nationales (ME) et l'Agence Japonaise de Coopération Internationale (JICA) Cible : Enseignants (environ 55 000), Directeurs (environ 6 000), Elèves (environ 1.7 millions) aux écoles élémentaire Régions Cibles : Toutes les 14 régions Durée : Quatre (4) ans (le 1^{er} septembre 2011 – le 31 août 2015)</p>			
Compte rendu / sommaire	Indicateurs objectivement vérifiables	Moyens de vérification	Hypothèses Importantes
<p>Vision / But Accroître les performances scolaires au niveau de l'élémentaire dans les domaines des mathématiques, sciences, et technologie.</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▪ Le résultat de tests de performance des élèves élaborés par le Projet s'élève. 	<ul style="list-style-type: none"> • Rapport bilan PDEF • Rapport de début et de fin de projet 	
<p>Objectif général Améliorer la qualité des enseignements / apprentissages des mathématiques, sciences et technologie.</p>	<ul style="list-style-type: none"> • L'outil d'observation de leçon révèle que la moyenne obtenue avec les enseignants de l'échantillon s'élève à 1,5 sur 3,0¹ : • L'outil d'observation de leçon montre que le pourcentage des enseignants qui atteignent un score d'au moins 1,5 sur 3,0 s'élève à 50%.² 	<ul style="list-style-type: none"> • Rapport de début et de fin de projet 	<ul style="list-style-type: none"> • Le temps d'apprentissage des élèves est maintenu.

¹ La donnée de base est 1,31.

² La donnée de base est 38,1%.

USA



47

<p>Résultats attendus</p> <p>1. Le modèle de formation continuée est intégré dans le dispositif de formation existant.</p> <p>2. Les capacités des formateurs sont renforcées.</p> <p>3. Les connaissances des enseignants en pédagogie et dans les contenus disciplinaires en mathématiques, sciences, et technologie sont renforcées.</p> <p>4. L'étude de leçon est pratiquée régulièrement aux niveaux dans les Cellules et dans les écoles.</p>	<p>1.</p> <ul style="list-style-type: none"> Le modèle est validé par le ME ; Les IEF intègrent le modèle dans le Plan d'Amélioration de la Qualité. <p>2.</p> <ul style="list-style-type: none"> Le résultat de l'Outil de Suivi-Evaluation des Formateurs Nationaux appliqué par les participants aux Formations Régionales s'élève à 2,4. Le résultat de l'Outil de Suivi-Evaluation des Formateurs Régionaux appliqué par les Formateurs Nationaux s'élève à 2,4.³ Le Résultat de l'Outil de Suivi-Evaluation des Formateurs Locaux appliqué par les Formateurs Régionaux s'élève à 2,3.⁴ <p>3.</p> <ul style="list-style-type: none"> Le pourcentage de pré-test et post-test des enseignants dans les 5 nouvelles régions s'améliore de 6%.⁵ <p>4.</p> <ul style="list-style-type: none"> 90% des cellules organisent 03 activités pratiques d'étude de leçons par an. (02 activités pour les 1^e et 2^e années.) 50% des écoles intègrent l'étude de leçon dans les cellules internes⁶ 	<p>Lettre circulaire du ME</p> <p>Plan de Formation d'Amélioration de la Qualité</p> <p>Rapport Bilan</p> <p>Rapport Bilan pré-test et post-test</p> <p>Rapport Bilan Rapport de début et de fin de projet</p>	<p>La mobilité des formateurs nationaux est jugulée.</p>
---	---	--	--



³ La donnée de base est 2,1.

⁴ La donnée de base est 2,0.

⁵ La donnée de base est 58,6%.

⁶Le pourcentage sera revu selon le résultat du suivi-évaluation en 2011/12.

57

[Signature]

Activités	JICA	Sénégal	Préalables :
<p>0 Mise en œuvre de l'étude de base et l'étude de fin du projet.</p> <p>Résultats 1 Le modèle de formation continuée est intégré dans le dispositif de formation existant.</p> <p>1-1 Mise en place du dispositif stabilisé de formation en cascade ; 1-2 Elaboration d'outils de formation ; 1-3 Mise en place d'un dispositif de suivi –supervision ; 1-4 Organisation de bilans ; 1-5 Campagne de communication.</p> <p>Résultats 2 Les capacités des formateurs sont renforcées.</p> <p>2-1 Formation des formateurs nationaux ; 2-2 Formation des formateurs régionaux ; 2-3 Formation des formateurs locaux.</p> <p>Résultats 3 Les connaissances des enseignants en pédagogie et dans les contenus disciplinaires en mathématiques, sciences, et technologie sont renforcées .</p> <p>3-1 Formation des maîtres ; 3-2 Formation des directeurs sur les trois modules⁷; 3-3 Suivi de formation des maîtres (modules) par les directeurs d'école.</p> <p>Résultats 4 L'étude de leçon est pratiquée aux niveaux des Cellules et dans les écoles.</p> <p>4-1 Organisation d'activités pratiques d'étude de leçon ; 4-2 Formation des directeurs sur l'encadrement de l'étude de leçon ; 4-3 Encadrement rapproché des maîtres (étude de leçon) par les directeurs d'école.</p>	<ul style="list-style-type: none"> • Experts à long terme • Experts à court terme (si nécessaire) • Expert au pays tiers (si nécessaire) • Equipements pour les formations régionales et locales • Matériaux pour les formations • Formation dans les pays tiers ou au Japon • Coût local 	<ul style="list-style-type: none"> • Homologues • Bureau du Projet • Dépenses liées à la formation (restauration, logement, transport, honoraires des formateurs, etc.) • Dépenses liées au suivi-évaluation 	<ul style="list-style-type: none"> • La Politique du Gouvernement du Sénégal continue à mettre en priorité à l'amélioration de la qualité de l'éducation, y compris des mathématiques, sciences. • Il n'y aura pas grand changement au niveau du curriculum de l'enseignement élémentaire dans mathématiques, sciences, et le système de la formation continue. • Le CRFPE prend le rôle de la gestion de l'opération de la formation au niveau de région et département.

⁷ Le contenu est: suivi-encadrement, management des ressources humaines, gestion des matériels didactiques.

ANNEXE 6. Le nombre d'enseignants cible devant disposer de modules de formation

Trois Régions Pilots

IA	Enseignants
Louga	3,442
Fatick	3,477
Thiès	6,494
Total	13,413

Première zone d'extension

IA	Enseignants
Diourbel	2,921
Saint Louis	3,604
Matam	2,640
Kaolack	4,341
Kaffine	1,590
Total	15,096

Deuxième zone d'extension

IA	Enseignants
Dakar	13,083
Tamba	2,160
Kedougou	1,071
Kolda	2,551
Sedhiou	2,198
Ziguinchor	3,030
Total	24,093

Total de 14 Régions	52,602
----------------------------	---------------

57

df

ANNEXE 7. List des documents

1. MODULES

1.1. Modules pour les Enseignants

1.1.1. Formation à Distance

- Guide : Guide du Formateur (Formation à Distance)
- Module 1 : Un Modèle de Formation à Distance
- Module 2 : Pédagogie 1 : ASEI-PDSI
- Module 3 : Pédagogie 2 : La Gestion du Groupe Classe
- Module 4 : Mathématiques 1 : Construction Géométrique
- Module 5 : Science 1 : Nutrition de la Plante Verte
- Module 6 : Pédagogie 3: Matériels Didactiques
- Module 7 : Mathématiques 2 : Fractions
- Module 8 : Pédagogie 4 : Evaluation de la Compétence
- Module 9 : Technologie 1 : Source d'Energie
- Module 10 : Technologie 2 : Principes de fonctionnement de quelques objets technologiques
- Module 11 : Science 2 : Microbes et Maladie
- Module 12 : Pédagogie 5 : Le Statut de l'Erreur dans la Démarche de Résolution de Problème

1.1.2. Etude de Leçon

- Module : Etude de Leçon

1.2. Module pour les Directeurs d'Ecole

- Guide: Guide du formateur
- Module 1 : Suivi-Encadrement
- Module 1-2 : Fiche Support
- Module 2 : Management des Ressources Humaines
- Module 3 : Gestion du Matériel Didactique
- Module : Suivi-Encadrement en Etude de Leçon

2. OUTILS

2.1. Outils pour la Formation à Distance

- Guide : Outils de Suivi-Evaluation (Formation à Distance)
- Outil 0 : Evaluation de Séance
- Outil 1 : Fiche d'Evaluation (Formation à Distance)

Outil 2D :	Rapport de Supervision
Outil 3 :	Fiche d'observation de leçon
Outil 4D :	Rapport de Formation dans les Cellules
Outil 5 :	Gestion des Présences
Canevas de Rapport	Canevas de Rapport de la Formation dans les Cellules <ul style="list-style-type: none"> • Rapport Départemental • Rapport Régional • Rapport National
Canevas de Rapport	Canevas de Rapport de Formation Locale

2.2. Outils pour l'Etude de Leçon

Guide :	Outils de Suivi-Evaluation (Etude de Leçon)
Outil 0 :	Evaluation de Séance
Outil 2E :	Rapport de Supervision
Outil 3 :	Fiche d'observation de leçon
Outil 4E :	Procès Verbal de l'Etude de Leçon
Outil 5 :	Gestion des Présences
Outil 6 :	Rapport de Suivi de l'Etude de Leçon
Canevas de Rapport	Canevas de Rapport de la Formation dans les Cellules <ul style="list-style-type: none"> • Rapport Départemental • Rapport Régional • Rapport National
Canevas de Rapport	Canevas de Rapport de Formation Locale

3. RAPPORTS

- 1 Rapport de l'Etude de Base (2012)
- 2 Rapport Bilan Annuel de la Formation dans les Cellules 2012/2013 (trois régions pilotes)
- 3 Rapport Bilan Annuel de la Formation dans les Cellules 2012/2013 (la 1^e zone d'extension)




ANNEXE 8. Programme de l'Evaluation à mi-parcours

Date		Prof. Fujii	M. Tanaka	M. Muraoka	M. Ito
24-Nov	Dim	-	-	-	Arrivée à Dakar
25-Nov	Lun	-	-	-	Recherche à Dakar -Rencontre à la JICA -Entretien avec les experts japonais -Visite courtoisie au DEE -Entretien avec le chef du projet
26-Nov	Mar	-	-	-	Visite sur le terrain① à Saint Louis Matin: Dakar => Saint Louis Rencontres à l'IA: -Entretien avec l'IA -Entretien avec l'IEF Après-midi: Suite des entretiens -Entretien avec l'ETR -Entretien avec l'ETL
27-Nov	Mer	-	-	-	Visite à Saint Louis (continuée) Matin: Visite à deux écoles: -Observation de leçons -Entretien avec le directeur d'école -Entretien avec les enseignants Après-midi: Saint Louis => Thiès
28-Nov	Jeu	-	-	-	Observation de l'atelier bilan à Thiès -Observation de l'atelier -Entretien avec l'ETN -Entretien avec les CR -Entretien avec les CRA Soir: Thiès => Louga
29-Nov	Ven	-	-	-	Visite sur le terrain② à Louga Matin: Louga => Linguère Visite à deux écoles: -Observation de leçons -Entretien avec le directeur d'école -Entretien avec les enseignants Après-midi: Entretien avec l'ETR Soir: Linguère => Louga
30-Nov	Sam	-	-	-	Visite à Louga (continuée) Matin: Louga => Kébémér Observation d'une Cellule -Observation de séance -Entretien avec l'ETL Après-midi: Kébémér => Dakar
1-Dec	Dim	-	Arrivée à Dakar		Elaboration du rapport d'évaluation
2-Dec	Lun	-	Recherche à Dakar -Rencontre à la JICA -Entretien avec les experts japonais -Visite courtoisie au SG -Visite courtoisie au DEE -Entretien avec le chef du projet		

57

ff

3-Dec	Mar	-	<u>Visite sur le terrain^③ à Thiès (Tivaouane)</u> Matin: Dakar => Tivaouane <u>Visite à une école:</u> -Observation d'une leçon -Entretien avec le directeur d'école -Entretien avec les enseignants <u>Après-midi: Entretiens à l'IEF</u> -Visite courtoisie à l'IEF -Entretien avec l'ETN -Entretien avec l'ETR Soir: Tivaouane => Dakar	Elaboration du rapport d'évaluation
4-Dec	Mer	Arrivée à Dakar	<u>Recherche à Dakar</u> -Entretien avec le SG -Entretien avec le DEE -Entretien avec le DPRE	
5-Dec	Jeu	<u>Visite sur le terrain^④ à Kaolack</u> 8h30 Rencontre à la JICA 10h30: Dakar => Kaolack Après-midi: visite courtoisie à l'IEF <u>Visite à une école:</u> -Observation d'une leçon -Discussion sur la leçon observée -Entretien avec le directeur d'école -Entretien avec les enseignants	<u>Recherche à Dakar</u> -Entretien avec le DFC -Entretien avec le STP (CEB) -Entretien avec le Chef du Projet	
6-Dec	Ven	<u>Visite sur le terrain^⑤ à Fatick (Foundiougne)</u> Matin: Kaolack => Foundiougne <u>Visite à l'école Gague Cherif:</u> -Observation de deux leçons -Discussion sur les leçons observées -Entretien avec le directeur d'école -Entretien avec les enseignants -Entretien avec l'ETR Foundiougne => Kaolack	<u>Consultation sur le contenu du rapport d'évaluation:</u> <u>Participants:</u> Représentant du DEE, Représentant du DPRE, Représentant du DFC, Représentant du DAGE, le chef du projet, l'ETN	
7-Dec	Sam	Matin: Kaolack => Thiès Dept	Matin: Dakar => Thiès Dept	
		<u>Visite sur le terrain^⑥ Thiès Dept</u> <u>Observation d'une Cellule</u> -Observation de séance -Entretien avec l'ETL Après-midi: Mbour => Dakar		
8-Dec	Dim	Elaboration / finalisation du rapport d'évaluation		
9-Dec	Lun	<u>Partage du rapport final de l'évaluation et stabilisation du rapport:</u> <u>Participants:</u> DEE, DPRE, DAGE, DFC, DRH, DAGE, STP, l'ETN		
10-Dec	Mar	<u>Signature du rapport d'évaluation</u> Compte rendu à la JICA Départ de Dakar		

NB: ETN = Equipe Technique Nationale, ETR = Equipe Technique Régionale, ETL = Equipe Technique Locale, CR = Coordonnateurs Régionaux, CRA = Coordonnateurs Régional Adjoint

NB2: Les IA sont invités à choisir quelques membres des équipes concernées pour les entretiens.

ANNEX 1. Evaluation Grid

ANNEX 1-1: Achievements of the Project

Evaluation Items	Necessary Information and Data (Indicators)	Findings of Study															
Achievement of Overall Goal																	
<p>【Overall Goal】 To improve the academic performance at elementary level in the subject of mathematics, science and technology</p>	<p>The result of CFEE (Indicator in PDEF) improves</p>	<p>○ The national average of CFEE score was shapely decreased in 2012/2013 due to the change of contents and scoring system of the CFEE. As seen in following table, National average in 2012/2013 (33.9%) is higher than the average of zone pilote (31.0). Therefore, it is difficult to say the project implementation has an impact on the CFEE score.</p> <p>Pass Rate of CFEE</p> <table border="1" data-bbox="1019 515 1637 655"> <thead> <tr> <th></th> <th>2010/2011</th> <th>2012/2013</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Pilot Zone</td> <td>56.0%</td> <td>31.0 %</td> </tr> <tr> <td>First expansion regions</td> <td>53.0%</td> <td>24.6 %</td> </tr> <tr> <td>Second expansion regions</td> <td>58.9%</td> <td>37.2 %</td> </tr> <tr> <td>National Average</td> <td>55.3%</td> <td>33.9%</td> </tr> </tbody> </table> <p>Source: National Statistical Yearbook</p>		2010/2011	2012/2013	Pilot Zone	56.0%	31.0 %	First expansion regions	53.0%	24.6 %	Second expansion regions	58.9%	37.2 %	National Average	55.3%	33.9%
		2010/2011	2012/2013														
Pilot Zone	56.0%	31.0 %															
First expansion regions	53.0%	24.6 %															
Second expansion regions	58.9%	37.2 %															
National Average	55.3%	33.9%															
<p>Result of performance test developed by the Project improves</p>	<p>○ In the baseline survey in February 2012, the project conducted a test to 2,480 pupils to measure pupil's ability in Math and science using question sheet developed by the project. The project will conduct the end-line survey to measure an impact of PREMST on the pupil's achievement. The table below shows that the results of the base-line survey.</p> <p>Average Accuracy Rate</p> <table border="1" data-bbox="1019 850 1843 967"> <thead> <tr> <th></th> <th>Number of pupil</th> <th>Math</th> <th>Sciences</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Pilot Zone</td> <td>433</td> <td>43.7%</td> <td>40.3%</td> </tr> <tr> <td>First expansion regions</td> <td>970</td> <td>37.6%</td> <td>34.6%</td> </tr> <tr> <td>Second expansion regions</td> <td>1077</td> <td>37.2%</td> <td>35.3%</td> </tr> </tbody> </table> <p>Source: baseline survey (Feb. 2012)</p> <p>It is too early to measure the impact of the Project on academic achievement of pupils at this time of the project period.</p> <p>○ Even though, a long-term perspective is essential in order to improve academic achievement, the result of questionnaire in the mid-term evaluation shows only 31% of teachers answered that the Project has contributed to the improved quality of pupils' learning.</p>		Number of pupil	Math	Sciences	Pilot Zone	433	43.7%	40.3%	First expansion regions	970	37.6%	34.6%	Second expansion regions	1077	37.2%	35.3%
	Number of pupil	Math	Sciences														
Pilot Zone	433	43.7%	40.3%														
First expansion regions	970	37.6%	34.6%														
Second expansion regions	1077	37.2%	35.3%														

Achievement of Project Purpose																		
To improve the quality of teaching to support learning mathematics, science and technology	<p>The sample teachers obtained 1.5 out of 3.0 in average score of the lesson observation tool.</p> <p>More than 50% of sample teacher obtained 1.5 out of 3.0 in average score of the lesson observation tool.</p>	<p>○ The both indicators of project purpose have been achieved by the time of mid-term review. As a result of the classroom monitoring in 5 districts¹ using M&E Tool of Lesson Observation in June 2013, the average score of Lesson Observation was 1.55 (target:1.50) which indicates satisfactory level of teacher's lessons, and the 54.3% (target:50%) of teachers were obtained more than 1.5 in the lesson observation.</p> <p>Analysis of Lesson Observation</p> <table border="1" data-bbox="1014 384 1839 660"> <thead> <tr> <th>Indicators</th> <th>Baseline (2012 Feb.) (n=68)</th> <th>2013 June (n=46)</th> <th>Increase</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Average score of teacher's Lesson Observation</td> <td>1.36</td> <td>1.55</td> <td>0.19</td> </tr> <tr> <td>Percentage of teacher obtained more than score of 1,5</td> <td>42.6%</td> <td>54.3%</td> <td>117</td> </tr> </tbody> </table> <p>Source: Baseline survey and Project M&E Report</p>	Indicators	Baseline (2012 Feb.) (n=68)	2013 June (n=46)	Increase	Average score of teacher's Lesson Observation	1.36	1.55	0.19	Percentage of teacher obtained more than score of 1,5	42.6%	54.3%	117				
Indicators	Baseline (2012 Feb.) (n=68)	2013 June (n=46)	Increase															
Average score of teacher's Lesson Observation	1.36	1.55	0.19															
Percentage of teacher obtained more than score of 1,5	42.6%	54.3%	117															
Achievement of Outputs																		
1.A continuing training model is integrated in the existing training framework	1(a).The model is validated by the MoE	○ Document de capitalization of "MODELE DE FORMATION CONTINUE DU PREMST" was validated by the Ministry of Education in the workshop of 30 th August 2013. The model is new planning to be disseminated to all 14 provinces in Senegal. The ministerial letter about this capitalization will be issued.																
	1(b).IA integrate the model in their annual training plan	<p>○ IA suspended to develop the annual training plan. Therefore, the indicator should be modified as "IEF integrate the model in their Plan d'Amélioration de la Qualité."</p> <p>○ Because of the initiation of the PAQUEB supported by the Afd and the World Bank, Quality Improvement Plan (Plan d'Amélioration de la Qualité) must be developed in each IEF instead of the annual training plan developed by IA. The modification of the PDM indicator is needed.</p>																
2.The capacity of trainers is strengthened	<p>2(a). The result of evaluation of NT by the RT improves</p> <p>2(b). The result of evaluation of RT by the NT improves</p> <p>2(c).The result of evaluation of RC by the RT improves</p>	<p>○ Regarding trainer's capacity evaluation, the indicators of NT and LT in First expansion regions have not been achieved at target level. On the other hand, the capacity of RT and LT in Zone pilots was sufficiently developed by the PREMST.</p> <p>Trainers' Capacity</p> <table border="1" data-bbox="1014 1098 1928 1294"> <thead> <tr> <th>Indicators</th> <th>Target</th> <th>Baseline (2012 Feb.)</th> <th>2013 June</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>NT (evaluated by RT)</td> <td>2.4</td> <td>2.1</td> <td>2.1</td> </tr> <tr> <td>RT (evaluated by NT)</td> <td>2.4</td> <td>2.1</td> <td>2.4</td> </tr> <tr> <td>LT(evaluated by RT)</td> <td>2.3</td> <td>2.0</td> <td>2.3 (Pilot Zone) 2.1(first expanding regions)</td> </tr> </tbody> </table> <p>Source: Baseline survey and Project M&E Report</p>	Indicators	Target	Baseline (2012 Feb.)	2013 June	NT (evaluated by RT)	2.4	2.1	2.1	RT (evaluated by NT)	2.4	2.1	2.4	LT(evaluated by RT)	2.3	2.0	2.3 (Pilot Zone) 2.1(first expanding regions)
Indicators	Target	Baseline (2012 Feb.)	2013 June															
NT (evaluated by RT)	2.4	2.1	2.1															
RT (evaluated by NT)	2.4	2.1	2.4															
LT(evaluated by RT)	2.3	2.0	2.3 (Pilot Zone) 2.1(first expanding regions)															

¹ 5 districts are Linguère, Kanel, Foundiougne, Niore Kougheul where the project has involved since 2011

		<ul style="list-style-type: none"> ○ The one of the reasons way the score of NT has not attained the target level is that some NTs might be discouraged in the participation of Regional Training because of delay of transportation and accommodation fee from the Ministry of Education. 									
3. Teachers' knowledge on subject contents of mathematics, science and technology and teaching method is enhanced	3(a). The percentage answered of pre-test and post-test of training in 5 new regions improves by 6%	<ul style="list-style-type: none"> ○ There is no data to measure at the time of the midterm review. In baseline survey (February 2012), the result of the pre-test for the 612 teachers from 5 provinces of First expansion regions was 58.6% in average. The implementation of the post-test in base-line survey is planned in 2015. ○ The results of questionnaire in the midterm review show that the teacher's knowledge and skills has been improved through attending cluster training. 									
4. Lesson study is regularly practiced at the cluster and school levels	4(a). 90% of Clusters implement at least three practical activities of lesson per year. (Twice for each 1st and 2nd years)	<p><u>Implementation rate</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ In 2011/2012, 92% of the C.A.P conducted lesson study. However, in 2012/2013, only 57% of the C.A.P conducted Lesson Study. The most of C.A.P were able to conduct once or twice of session due to the postponed of regional and local training caused by the delay of the national budget for training. <p><u>Implementation Rate of Lesson Study</u></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>2011/2012</th> <th>2012/2013</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Pilot Zone</td> <td>92%</td> <td>57%</td> </tr> <tr> <td>First expansion</td> <td>99.6%</td> <td>74%</td> </tr> </tbody> </table> <p>Source: Project M&E Report</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ For example, in Louga region, 6 times of C.A.P instead of 3 times of standard is planned for 2013/2014 to catch up the number of CAP which was not implemented in the year 2012/2013. ○ Other factors to lessen the implementation rate of CAP were frequent reschedule of CAP by the strike of teachers and lack of communication between Regional Coordinator and Focal Point of IEF. ○ Compare to the implementation rate between Lesson Study and Distance Training, the rate of Distance Training is higher than the rate of lesson study. This is because implementation of the Distance Training has a pressure to complete training modules, on the other hand, Lesson Study has no module to be complete. <p><u>Teacher's Participation Rate</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ High rate of teacher's participation to C.A.P (approx. 80%) has been identified in the midterm review. ○ The teachers' participation to C.A.P is depending on the management of school heads and representatives of C.A.P. Selection of LT and implementation of appropriate monitoring by IEF have an positive influence on the participation rate. 		2011/2012	2012/2013	Pilot Zone	92%	57%	First expansion	99.6%	74%
		2011/2012	2012/2013								
Pilot Zone	92%	57%									
First expansion	99.6%	74%									
	4(b). 50% of schools make use of the lesson study in school-based training	<ul style="list-style-type: none"> ○ The data collection on the indicator of use of Lesson Study in cellule internal in the schools is not sufficient. ○ In Fatick province, 85% of schools have implemented cellule internal according to the data from 450 schools (out of 800-900 schools). However, schools which were not submitted their report have a possibility not to implement any cellule internal. ○ Therefore this indicator is necessary to be measured by the sampling survey in the end-line survey. 									

Inputs Provided		
Inputs	<p><u>Japanese Side:</u></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Long-term experts 2. Short-term /Third-country experts 3. Materials and modules for implementing training 4. Equipment for regional and local training 5. Training in the third country or Japan 6. Local cost for the Project <p><u>Government of Senegal:</u></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Counterparts 2. Project's Office 3. Expenditures related to training and M&E 	<p>The following inputs were provided as planned (As of Sep. 2013. See Annex 1 for details.)</p> <p><u>Japanese Side:</u></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Long-term expert (3) 2. Short-term experts (2) 3. Materials and modules for implementing training 4. Equipment for regional and local training 5. Materials and equipment for the training 6. Training in the third country (15) Japan (36) 7. Local cost for the Project (584,915,047 FCFA) <p><u>Government of Senegal:</u></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Counterparts <ul style="list-style-type: none"> Project director (1) NT (9) RT(242), Pilot Zone(52)First expansion (85) Second expansion regions(105) LT (1855) Pilot Zone(469)First expansion (590) Second expansion regions(796) 2. Project's Office 3. Expenditures related to training and M&E (216 005 900 FCFA)²
Precondition		
Are the preconditions are still valid and does not hinder project activity implementation?	<p>The education policy whose priority issue is to improve the quality of Education, including mathematics, science and technology education continues.</p> <p>The primary education curriculum of mathematics science and technology, and the system of INSET don't change considerably.</p>	<p>○ Program for the Improvement of Quality, Equity and Transparency (PAQUET) 2013-2025 stresses on the promotion of quality education. In the program, promoting the development of the teaching of sciences, technology and innovations (STI) is also focused.</p> <p>○ For the work shop of the new curriculum developed by the Ministry of education with support of CIDA, JICA experts and counterpart of PRIMST were engaged, as a result, the consistency between the new national curriculum and PREMST modules will be secured.</p>

² For the payment of 89 566 250 FCFA, all appreciation procedures for its divorcement have been completed.

ANNEX 1-2: Process of the Project Implementation

Evaluation Items	Necessary Information and Data (Indicators)	Findings of Study																																
Implementation of planned activities	Record of implemented activities	<p>○ Most of the activities in the PDM have been implemented as planned. However, following activities were delayed or were not confirmed their progress due to the lack of information.</p> <p>1-1 The Phase 2 model was validated in a workshop by the Ministry of Education, but a formal ministerial letter has not yet been issued.</p> <p>2-3 Some training sessions were postponed because of delay of budget allocation of the Senegal side.</p> <p>3-3 Insufficient information available about this activity</p> <p>4-3 Insufficient information available about Internal Cells</p> <p>Activities of the Project</p> <table border="1" data-bbox="987 523 1917 1177"> <thead> <tr> <th data-bbox="987 523 1509 555">Activity</th> <th data-bbox="1509 523 1917 555">Progress</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="987 555 1509 587">0 To conduct Baseline and End-line survey</td> <td data-bbox="1509 555 1917 587">Nearly on schedule</td> </tr> <tr> <td data-bbox="987 587 1509 619">1-1 To introduce regional and local trainings</td> <td data-bbox="1509 587 1917 619">Nearly on schedule</td> </tr> <tr> <td data-bbox="987 619 1509 667">1-2 To develop instruments and M&E tools etc for trainings</td> <td data-bbox="1509 619 1917 667">Implemented in different timing as original plan</td> </tr> <tr> <td data-bbox="987 667 1509 715">1-3 To introduce M&E system for training and lesson</td> <td data-bbox="1509 667 1917 715">Nearly on schedule</td> </tr> <tr> <td data-bbox="987 715 1509 762">1-4 To conduct review workshops for sharing the outcomes with stakeholders</td> <td data-bbox="1509 715 1917 762">Nearly on schedule</td> </tr> <tr> <td data-bbox="987 762 1509 810">1-5 To conduct public relations about math and science education, and project activities</td> <td data-bbox="1509 762 1917 810">Nearly on schedule</td> </tr> <tr> <td data-bbox="987 810 1509 842">2-1 To implement trainings for National Trainers</td> <td data-bbox="1509 810 1917 842">Implemented behind schedule</td> </tr> <tr> <td data-bbox="987 842 1509 874">2-2 To implement trainings for Regional Trainers</td> <td data-bbox="1509 842 1917 874">On schedule</td> </tr> <tr> <td data-bbox="987 874 1509 906">2-3 To implement trainings for Local Trainers</td> <td data-bbox="1509 874 1917 906">Implemented behind schedule</td> </tr> <tr> <td data-bbox="987 906 1509 938">3-1 To implement cluster trainings for teachers</td> <td data-bbox="1509 906 1917 938">Implemented behind schedule</td> </tr> <tr> <td data-bbox="987 938 1509 970">3-2 To implement trainings for principals³</td> <td data-bbox="1509 938 1917 970">On schedule</td> </tr> <tr> <td data-bbox="987 970 1509 1018">3-3 To carry out on-site support on distant module for teachers</td> <td data-bbox="1509 970 1917 1018">Insufficient information available about this activity</td> </tr> <tr> <td data-bbox="987 1018 1509 1066">4-1 To carry out lesson study in cluster trainings and school-based trainings</td> <td data-bbox="1509 1018 1917 1066">Implemented behind schedule</td> </tr> <tr> <td data-bbox="987 1066 1509 1098">4-2 To implement trainings for principals⁴</td> <td data-bbox="1509 1066 1917 1098">Nearly on schedule</td> </tr> <tr> <td data-bbox="987 1098 1509 1145">4-3 To carry out on-site support on lesson study for teachers</td> <td data-bbox="1509 1098 1917 1145">Insufficient information available about Internal Cells.</td> </tr> </tbody> </table> <p>Source: Plan of Operation</p> <p>○ Regarding Activity 3-3 and 3-4, necessary data should be collected in the end-line survey to follow progress of those activities (recommendation)</p>	Activity	Progress	0 To conduct Baseline and End-line survey	Nearly on schedule	1-1 To introduce regional and local trainings	Nearly on schedule	1-2 To develop instruments and M&E tools etc for trainings	Implemented in different timing as original plan	1-3 To introduce M&E system for training and lesson	Nearly on schedule	1-4 To conduct review workshops for sharing the outcomes with stakeholders	Nearly on schedule	1-5 To conduct public relations about math and science education, and project activities	Nearly on schedule	2-1 To implement trainings for National Trainers	Implemented behind schedule	2-2 To implement trainings for Regional Trainers	On schedule	2-3 To implement trainings for Local Trainers	Implemented behind schedule	3-1 To implement cluster trainings for teachers	Implemented behind schedule	3-2 To implement trainings for principals ³	On schedule	3-3 To carry out on-site support on distant module for teachers	Insufficient information available about this activity	4-1 To carry out lesson study in cluster trainings and school-based trainings	Implemented behind schedule	4-2 To implement trainings for principals ⁴	Nearly on schedule	4-3 To carry out on-site support on lesson study for teachers	Insufficient information available about Internal Cells.
Activity	Progress																																	
0 To conduct Baseline and End-line survey	Nearly on schedule																																	
1-1 To introduce regional and local trainings	Nearly on schedule																																	
1-2 To develop instruments and M&E tools etc for trainings	Implemented in different timing as original plan																																	
1-3 To introduce M&E system for training and lesson	Nearly on schedule																																	
1-4 To conduct review workshops for sharing the outcomes with stakeholders	Nearly on schedule																																	
1-5 To conduct public relations about math and science education, and project activities	Nearly on schedule																																	
2-1 To implement trainings for National Trainers	Implemented behind schedule																																	
2-2 To implement trainings for Regional Trainers	On schedule																																	
2-3 To implement trainings for Local Trainers	Implemented behind schedule																																	
3-1 To implement cluster trainings for teachers	Implemented behind schedule																																	
3-2 To implement trainings for principals ³	On schedule																																	
3-3 To carry out on-site support on distant module for teachers	Insufficient information available about this activity																																	
4-1 To carry out lesson study in cluster trainings and school-based trainings	Implemented behind schedule																																	
4-2 To implement trainings for principals ⁴	Nearly on schedule																																	
4-3 To carry out on-site support on lesson study for teachers	Insufficient information available about Internal Cells.																																	
Relation between stakeholders	Is there good relationship among stakeholders?	○ Joint Coordination Committee (JCC) is implemented three times by November 2013 to share the progress of the Project.																																

³ Supposed content is an assistance on teacher's self-study and practice of training contents in their lesson

⁴ Supposed content is an assistance on teacher's drawing up lesson plan and practice of training contents in their lesson

	Are the system of command and responsibility of each level of stakeholder (national, regional and local level) clear?	<ul style="list-style-type: none"> ○ In December 2012, the secretary general was retired and a new project manager (chef de projet) has been selected from NT in DEE. However, a replacement of the NT has not been assigned yet. Due to heavy burdens of Project Manager caused by nationwide implementation of project, it is necessary to assign new NT from DEE. ○ The use of sufficient number of RT is considered rather increase of NT's number to disseminate project effect nationwide according to trend of decentralization policy.
Relation between other donors	Is there any cooperation relationship or unnecessary duplication of activities with other donors?	<ul style="list-style-type: none"> ○ Current donor for national education are JICA, CIDA (curriculum development), USAID (Partnership for Improvement of Literacy and Mathematics in School :PALME). The method of PREMST Lesson Study is considered to apply a method of action learning in PALME ○ Afd and the World Bank are planning to support the provision of the school based subsidiary under the project of PAQUEB. PREMST activities are considered to be integrated in the Quality Improvement Plan (Plan d'Amélioration de la Qualité) developed by IEF under the PAQUEB.
Monitoring and Evaluation (M&E) on the progress and achievement of the Project	M&E on Regional, Local and cluster Training.	<ul style="list-style-type: none"> ○ M&E is carried out for all levels of training sessions and school head training. The results of M&E were shared with the stakeholders in feedback meetings for further improvement of the Project. The results were also summarized in M&E reports in each IA and IEF.
	M&E on distance training and lessons study.	<ul style="list-style-type: none"> ○ Monitoring rate of cluster training was only 55%. The reasons of the low rate of monitoring implementation by RT are lack of means of transportation and frequent reschedule of CAP.
Prevention and contribution factor to implementation progress, output and project purpose achievement	Is there any contribution factor?	<ul style="list-style-type: none"> ○ The review sessions of Regional and Cluster Training provide an opportunity to improve training sessions and also to exchange information about the procedures and logistics of training preparation among trainers from different regions. ○ The quality training modules developed by the Project is one of the promoting factors to increase participation rate of C.A. P. The audio-visual aids also help teachers visualise what a good lesson-study session looks like. The audio-visual aids intend to demonstrate examples of what is difficult to explain in the written module.
	Was the delay of disbursement of training cost influenced negatively on the project?	<ul style="list-style-type: none"> ○ In addition to the delay of disbursement of transportation free from BCI, disbursement was not made for many participants due to the deficiency of necessary documents. The regional training in 3 districts of Louga province and Diourbel district were postponed because of the boycott of the participants. ○ Another reason for the boycott was the payment from BCI is lower than per diem of PDEF (donor rate) ○ Teachers' strike of the C.A.P. activity has led to a lower C.A.P implementation rate in several departments in Louga region.

ANNEX 1-3. Evaluation by the Five Criteria

Relevance: High

Evaluation Items	Necessary Information and Data (Indicators)	Findings of Study
Necessity		
Does the Project Purpose correspond with the needs of target group?	Does the PREMST approach correspond with the needs teachers and pupils?	<ul style="list-style-type: none"> ○ The implementation of CAP training and cellule internal are standardized under the ministerial order in Senegal, however, the concrete contents of CAP training were not defined. Therefore the frequency and quality of CAP training and cellule internal were differed. ○ There is no institutionalized system of in-service training for primary school teachers. In-service training is normally held on ad hoc basis. ○ The duration of pre-service teacher's training is reduced and nearly two-thirds of primary teachers in Senegal are contract and volunteer teachers. It is negatively affects the quality of education. Therefore the necessity of in-service training is high. ○ Low level of pupil's achievement in mathematics and science (according to the results of the SNERS 2012) was also reconfirmed in the baseline survey of the Project. ○ The effort of the Government made it possible to move the primary school completion rate from 49.7% in 2006 to 66.2% in 2011. However, this result remains insufficient in view of the intermediate objective of 85% targeted in 2010 and 100% targeted by the year 2015.
Priority		
Consistency of Super Goal, Overall Goal and Project Purpose with the National Development Policy of Senegal	Does improving the quality of basic education in the field of mathematics and science through strengthening the ability of teachers have priority in the policy of the Government of Senegal?	<ul style="list-style-type: none"> ○ Program for the Improvement of Quality, Equity and Transparency (PAQUET) 2013-2025 stresses on the improvement of quality of teachers/ apprentices and promotion of quality education. In the program, promoting the development of the teaching of Sciences, Technology and Innovations (STI) is also focused. ○ Funds voted for education within the State budget have increased a lot between 2000 and 2011. From 105 billion CFAF in 2000, they reached 432 billion CFAF in 2011, an annual average increase rate of 12.5%.
Consistency with the cooperation policy of Japan and the JICA country program	Is there any important change concerning the cooperation policy of Japan and the JICA country program after the Project started?	<ul style="list-style-type: none"> ○ There has been no major change in the cooperation policy of Japan and the JICA country program. ○ Basic education is one of the priority sectors of JICA Country Program on Senegal. ○ Yokohama Action Plan issued at TICAD V held in June 2013, reinforcement of teaching and learning of Science, Technology Engineering and Mathematics (STEM) is focused as one of the priorities in TICAD V.
Suitability as a Means		
Is selection of target group appropriate?	Are the selection and number of National, Regional and Local Team appropriate?	<ul style="list-style-type: none"> ○ The selection of trainers was carried out according to the eligibility criteria. Thus, each level of trainers has sufficient knowledge and skills to facilitate training sessions. ○ RT is selected from secondary education teachers, staff of CRFPE. This approach has positive impact on quality of secondary education and on consistency of lesson contents between pre-service and in-service teacher's training. ○ LT is selected with criteria of academic level, commitment and availability. In the interview, RTs of Saint-Louis department suggested that LT has sufficient ability to conduct C.A.P but their number is not sufficient to conduct CAP training.
	Are the selection and number of training in Japan and third country appropriate?	<ul style="list-style-type: none"> ○ Selection and number of training in Japan and third country are appropriate.

Is the PREMST approach appropriate?	Is in-service training an appropriate activity to improve quality of mathematics and science education?	○ As many of primary teachers had an academic background in arts not science, the project responds to the needs of primary teachers to enhance their weakness. Moreover, about half of teachers are contract or volunteer teachers in Senegal.
	Is the cascade training system combined with the cluster system using C.A.P. an appropriate approach?	○ The cascade system is functioning effectively in transmitting project approach from the national to local level. Each level of trainer was selected appropriately according to certain criteria to avoid a dilution of contents in the cascade training system. The cluster system using C.A.P. make the INSET effective in terms of covering the huge number of teachers in all regions. ○ Using C.A.P. which exists throughout Senegal is appropriate strategy to expand the project nationwide with minimum input.
	Is the distance training system an appropriate approach?	○ Most of the LT were used training note to prepare the before attending their training session, however, it is difficult to monitor if participants prepare with training note or not.
	Is the technical supporting system relying on the inputs from SMASE-WECSA appropriate?	○ By October 2013, 15 counterparts mainly RT participated to the training in SMASE-WECSA. ○ Through Third Country Training was useful for the initiation of the Project Phase I, however the project are not eager to have inputs from SMASE-WECSA in Kenya. Thus, Third Country Training in Kenya has been discontinued since 2013.
Does Japan have advantage in technical cooperation in this field?	Have the experience from similar projects been utilized in the Project?	○ The project member participated to the 3 rd SMASE-WECSA technical committee in Zambia. One of the objectives was to exchange with the project of Zambia about the Lesson Study.
	Have the experience of developing education in Japan been utilized in the Project?	○ By October 2013, 21 counterparts mainly NT and RT participated to the Lesson Study training in Okayama University.

Effectiveness: Fair

Evaluation Items	Necessary Information and Data (Indicators)	Findings of Study																				
The Prospect of the Project Purpose Achievement																						
Is the Project Purpose appropriate?	Degree of the achievement of Project Purpose	<ul style="list-style-type: none"> ○ The results of the Lesson Study observation in June 2013 in 5 districts which were target districts of baseline survey. The both indicators of Project Purpose have been achieved by the time of midterm review, the average score of Lesson Observation was 1.55 (target:1.50), and the 54.3% (target:50%) of teachers were obtained more than 1.5 in the lesson observation. ○ In the questionnaire, 64% of teachers answered that the Project contributes to the improvement of mathematics and science lesson. This shows that improving the practice of teacher's lessons requires a long-term effort. 																				
	Is the level of the Project Purpose appropriate?	<ul style="list-style-type: none"> ○ The target indicator of Lesson Observation which measures the Project Purpose was set based on the baseline survey. End-line survey will be implemented before end of the project. In the end-line survey same sample teachers will be observed their lessons, in order to compare before and after the project involvement. 																				
Cause and Effect Relations																						
Outputs contribute to the achievement of Project Purpose?	Is the integration of the project INSET model into the existing teacher training framework contributing to strengthening the teaching ability of teachers? (Output 1)	<ul style="list-style-type: none"> ○ INSET model of PREMST was validated by the Ministry of Education in the workshop of 30th August 2013. The validation will facilitate the dissemination of the project to nationwide. ○ Modules for teachers and school heads have been developed. NT has sufficient ability to develop the training modules based on the needs of primary teachers in collaboration with the RT. NT and RT share and revised training modules during the Regional Training. All school heads and teacher satisfy with Modules which they used in the Lesion Plan, Distance and school head training. ○ Posters and brochures of the project were developed for the sensitization of project activities. 																				
	It the capacity development of National, Regional and Local team members contributing to strengthening ability of teachers? (Output 2)	<ul style="list-style-type: none"> ○ In the questionnaire 100% of school heads are satisfy with the School Head Training and 86% of teacher are satisfy with Distance Training, only 67% of teacher are satisfy with Lesson Study Training. 																				
	It the implementation of cluster training, training for principals and distant module for teachers contributing to strengthening ability of teachers? (Output 3)	<ul style="list-style-type: none"> ○ In the questionnaire 100% of school heads are satisfy with the School Head Training and 86% of teacher are satisfy with Distance Training, only 67% of teacher are satisfy with Lesson Study Training. <p>Satisfaction Level of Training Participants</p> <table border="1" data-bbox="891 1034 1715 1193"> <thead> <tr> <th></th> <th>Head teacher training</th> <th>Distance learning</th> <th>Lesson Study</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Very satisfied</td> <td>25</td> <td>22</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>Satisfied</td> <td>75</td> <td>64</td> <td>52</td> </tr> <tr> <td>Neither</td> <td>0</td> <td>14</td> <td>33</td> </tr> <tr> <td>Unsatisfied</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p>Source: Midterm Evaluation</p>		Head teacher training	Distance learning	Lesson Study	Very satisfied	25	22	15	Satisfied	75	64	52	Neither	0	14	33	Unsatisfied	0	0	0
	Head teacher training	Distance learning	Lesson Study																			
Very satisfied	25	22	15																			
Satisfied	75	64	52																			
Neither	0	14	33																			
Unsatisfied	0	0	0																			
	Is the practice of lesion study at the cluster and school level contributing to strengthening the teaching ability of teachers? (Output4)	<ul style="list-style-type: none"> ○ Although C.A.P. training has contributed to the strengthening of the capacity of teachers, some difficulties of C.A.P. Training have been identified by stakeholders such as: 1) overcrowded C.A.P. sessions; 2) insufficient time management; 3) insufficient follow up by inspectors and school directors; 4) lack of materials for training; and 5) composing much theory and less practice. ○ Only 38% of the trainers reply that follow-up and monitoring by NT and RT is appropriate. Moreover, monitoring rate of Cluster Training by RT was only 55%. The reasons of the low implementation rate of monitoring are lack of means of transportation and overlap of the training schedule. 																				

Important Assumptions	
NTs don't transfer considerably	○ In December 2012, the secretary general was retired and a new project manager (chef de projet) has been selected from NT in DEE. However, a replacement of the NT has not been assigned yet. Due to heavy burdens of Project Manager caused by nationwide implementation of project, it is necessary to assign new NT from DEE.
Are there any important assumptions for the implementation of the project?	○ The delay of reimbursements of transport expenses from BCI caused some trainers and participants to lose motivation.

Efficiency:High

Evaluation Items	Necessary Information and Data (Indicators)	Findings of Study
Degree of Outputs Achievement		
Are Outputs achieved as planned?		<ul style="list-style-type: none"> ○ Most of the planned activities have been implemented successfully and outputs are being produced, which is expected to contribute to the attainment of the Project Purpose. However, some training sessions were postponed because of delay of budget allocation of the Senegal side, and insufficient information about school head's supports and current situation of cellule internal at school level hinders understanding of progress of project activities.
Cause and Effect Relationship		
Are activities effective to generate Outputs?	Is training in Japan and Kenya contributing to strengthening the ability of NT, RT?	<ul style="list-style-type: none"> ○ As a result of trainer's capacity evaluation, the indicators of NT have not been achieved at target level. However, RT answered in the interview that NT has enough ability to conduct Regional training.
	Is the Regional Training contributing to strengthening the ability of RT, LT?	<ul style="list-style-type: none"> ○ As a result of trainer's capacity evaluation, the indicators of RT and LT in pilot zone have been achieved at target level. In the interview, LT and teachers are also express that RT and LT have enough abilities to conduct training.
	Is the training for school directors contributing to upgrading the capacity of monitoring/supervision?	<ul style="list-style-type: none"> ○ NT suggests that school directors need to be sensitized on PREMST activities to ensure teachers to attend trainings and use acquired knowledge and skills in their classes. ○ School directors are also able to have an opportunity to gather and share experiences, learn from good practices and discuss each other how to solve school problems.
Are quality, quantity, and timing of inputs suitable from the attained Outputs?	Are the number, specialties and dispatch timing of experts appropriate?	<ul style="list-style-type: none"> ○ Three Japanese long-term and two short-term experts have functioned effectively. Although the number of Japanese expert was minimal, the Project contributes to the outstanding number of teachers (55,000 teachers and 6,000 school heads in all Senegal).
	Are the specification, quantity, and installation timing of equipment appropriate?	<ul style="list-style-type: none"> ○ The inputs of the Project are appropriate. In the questionnaire, all respondents are satisfied with training in Japan and third country, Kenya. Moreover, 91% are satisfied with support of Japanese long-term and short-term experts, and 76% are satisfied with equipment provides by the Project. ○ Most of the procured materials and machinery have been maintained appropriately and utilized to produce the Outputs. Especially computers and related equipment for each IA and IEF are effectively used to providing module and process the data of M&E activates.
	Are the number, qualification, timing and period of training in Japan and Kenya appropriate?	<ul style="list-style-type: none"> ○ According to the results of interview, appropriate stakeholders participated to the training in Japan and Kenya in terms of their qualification, and timing and period of training are also sufficient to promote their understanding.
	Is the local activity budget of both Japanese side and Senegal side appropriate?	<ul style="list-style-type: none"> ○ Regarding cost sharing, approx. 80% of training cost (Regional, District and Local training) and 50% of monitoring cost was planned to be borne by Senegal government. By the September 2013. Currently only 47% of original cost has been borne by the Senegal side.

Other Factors		
Factors which have affected the efficiency of the implementation process of the Project	Is the network of SMASE-WECSA used effectively?	<ul style="list-style-type: none"> ○ The project member participated to the 3rd SMASE-WECSA technical committee in Zambia. One of the objectives was to exchange with the project of Zambia about the Lesson Study. ○ By October 2013, 15 counterparts mainly RT participated to the training in SMASE-WECSA. The project member also participated to the Conference of SMASE-WECSA
	Are lessons and learned from project phase I used effectively?	<ul style="list-style-type: none"> ○ Indicators of PDM was reduced in the phase II based on the experience of phase I which spent much time to collect and analyze qualitative data. ○ The experiences of the past JICA project called “the project for school head training in Louga (2004-2006)” was used to plan the distance training of the Project.
	Are local resource used effectively?	<ul style="list-style-type: none"> ○ Using the existing C.A.P. system which functions without any monetary incentive for teacher’s training allowed the project to be cost-efficient. ○ The efficient use of existing facilities CRFPE (EFI and PRF) for regional training and primary schools for local training contributed to minimizing the initial cost of the project. ○ Converting LT to the CAP representative leads to minimize the project cost, transportation fee for Cluster Training, because technical support for CAP is the original task of CAP representative.

Impact: Fair

Evaluation Items	Necessary Information and Data (Indicators)	Findings of Study
Achievement possibility of Overall Goal and Super Goal		
Possibility of the achievement of the Overall Goal	Is achievement of Overall Goal expected from the present situation of the Project?	<ul style="list-style-type: none"> ○ Even comparing CFEE score in Zone pilot and national average in 2012/2013, National average (33,9%) is higher than the score of zone pilote (31,0). Therefore, it is difficult to say the project implementation has an impact on the CFEE score. ○ Only 31 % of the school head and teachers suggest that the project contributes to the improved quality of learning of pupils. ○ As a result of interviews, some stakeholders also recognize the change of pupils' attitude and performances. However, there is no concrete evidence that project attribute to the increase of pupils' achievement. ○ In the questionnaire, only 31% of teachers answered that the Project has contributed to the improved quality of pupils' learning.
Important Assumptions for achievement of Overall Goal		
Work absence of teachers doesn't increase.		<ul style="list-style-type: none"> ○ Teacher's strike hinders implementation of CAP and cellule internal. However, it is reported that during teacher's strike, some CAP supported by PREMST was implemented. However, frequency of teacher's strike has lessened after the assignment of the new president.
Extended Effect		
Is there any expansion of effects?	Impact on other subjects	<ul style="list-style-type: none"> ○ In Thies province, it is reported that lesson study is used to other subjects than mathematics and science to improve in quality of lessons in all subjects. ○ In the interview, many teachers expressed that ASEI-PDSI and Lesson study are applicable to other subjects and is useful in improving the quality of teaching and learning in all subjects. ○ Other donors, Canada and USAID have considered applying the INSET system mixed with cascade and cluster training developed in PREMST to capacity development of teachers.
	Impact on Pre-Service Education and Training (PRESET)	<ul style="list-style-type: none"> ○ Some RT applied training modules of PREMST to the pre-service training in CRFPE on a personal basis.
	Impact on new curriculum	<ul style="list-style-type: none"> ○ JICA experts and NT were invited to the Workshop of Revision of the Guide of Curriculum about developing new pre-service curriculum. As a result, terminology of lesson plan in curriculum guide and PREMST modules has a consistency.
	Other impacts	<ul style="list-style-type: none"> ○ The C.A.P. Training is positively affected on the pass rate of CEAP. In the CEAP the mathematics and French are required disciplines, and teachers who are trained with developed modules tend to select science from the elective disciplines after the intervention of the project to C.A.P.

Sustainability: Fair

Evaluation Items	Necessary Information and Data (Indicators)	Findings of Study/Focuses																																
Policy Aspects																																		
Continuation of the policy support	Are strengthening of quality of basic education and focus of mathematics and science education being the priority of the national strategy?	<ul style="list-style-type: none"> ○ Program for the Improvement of Quality, Equity and Transparency (PAQUET) 2013-2025 stresses on the improvement of quality of teachers/ apprentices and promotion of quality education. in the program, promoting the development of the teaching of Sciences, Technology and Innovations (STI) is also focused. ○ The importance of teachers' training for quality basic education as well as science and technology are stipulated in the national education policy of Senegal, which assures the continuous commitment of the Government of Senegal to the Project. 																																
	Do the Ministry of Education have a strategy concerning the institutionalization of INSET and continuation of C.A.P. activities?	<ul style="list-style-type: none"> ○ Document de capitalization of "MODELE DE FORMATION CONTINUE DU PREMST" was validated by the Ministry of Education in the workshop of 30th August 2013. The model is new planning to be disseminated to all 14 provinces in Senegal. The ministerial letter about this capitalization will be issued ○ For 6 provinces of Second expansion regions, the Distance Training is implemented from 2013 to 2014, and after project period the Lesson Study is implemented as an original plan. However, introduction of the Lesson Study without Project support may have difficulties. Thus, in 2014 the Lesson Study is introduced in the local training in Second expansion regions, and remaining distance training is implemented after the project period. 																																
Organization Aspect																																		
INSET management system	Do National Team, Regional Team manage project activities as their major duty?	○ National Team and Regional Team manage project activities as their ad hoc duties.																																
	Is the role and responsibility of each member and organization clarified?	○ Roles and responsibilities of each member and organization are determined clearly in the "MODELE DE FORMATION CONTINUE DU PREMST (September 2013)".																																
	Is there enough inspector to continue training and monitoring of cluster training?	○ Since most of the member of National Team and Regional Team are selected from inspectors, PRESET or INSET trainers, the INSET and school monitoring is their original mandate. However, IA and IEF have very limited budget and means of transportation for monitoring to CAP and school activities.																																
	Other aspects of the INSET management	○ The evaluation team observed the lack of basic materials, it is difficult to conduct effective training.																																
Fanatical Aspects																																		
Budget allocation	Strategy to secure the budget required for INSET	<ul style="list-style-type: none"> ○ Regarding cost sharing, approx. 80% of training cost (Regional, District and Local training) and 50% of monitoring cost was planned to be borne by Senegal government. By the September 2013. Currently only 47% of original cost has been borne by the Senegal side. <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="4">Budget Allocation (Sep.2011-Sep.2013)</th> </tr> <tr> <th>Activities</th> <th>Plan</th> <th>Actual</th> <th>%</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Regional training</td> <td>68,158,250</td> <td>39,415,468</td> <td>58</td> </tr> <tr> <td>Local training</td> <td>289,936,000</td> <td>124,691,203</td> <td>44</td> </tr> <tr> <td>Cluster training</td> <td>42,215,000</td> <td>20,255,900</td> <td>47</td> </tr> <tr> <td>M&E</td> <td>55,827,000</td> <td>31,643,330</td> <td>38</td> </tr> <tr> <td>Office</td> <td>4,000,000</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>Total</td> <td>460,136,250</td> <td>216,005,900</td> <td>47</td> </tr> </tbody> </table> <p>Source: Project Report</p>	Budget Allocation (Sep.2011-Sep.2013)				Activities	Plan	Actual	%	Regional training	68,158,250	39,415,468	58	Local training	289,936,000	124,691,203	44	Cluster training	42,215,000	20,255,900	47	M&E	55,827,000	31,643,330	38	Office	4,000,000	0	0	Total	460,136,250	216,005,900	47
Budget Allocation (Sep.2011-Sep.2013)																																		
Activities	Plan	Actual	%																															
Regional training	68,158,250	39,415,468	58																															
Local training	289,936,000	124,691,203	44																															
Cluster training	42,215,000	20,255,900	47																															
M&E	55,827,000	31,643,330	38																															
Office	4,000,000	0	0																															
Total	460,136,250	216,005,900	47																															

		<ul style="list-style-type: none"> ○ The recurrent cost of the training after the project is estimated in the “MODELE DE FORMATION CONTINUE DU PREMST (September 2013)”. The total cost for Local training and developing annual report is estimated 61,410,000 CFA francs per year, amounting to 1,173 F CFA per teacher. ○ Use of national budget lines is suggested from the Academic Training Plans of IA, the Quality Improvement Plan of IEF or budget of CRFPE to support lifelong learning. Training activities in CAP and monitoring will be included in the regular activities of IEF.
Technical Aspects		
Are the NT, RT, RC capable enough to continuously provide quality INSET?	Ability to manage INSET	<ul style="list-style-type: none"> ○ Most of the participants in Regional and Local training shows satisfaction with the quality of the sessions, which demonstrates the capability of NT and RT to facilitate training sessions with a certain quality. ○ Most of the participants in C.A.P. show satisfaction with the quality of the sessions, which demonstrates the capability of LTs to facilitate training sessions with a certain quality. However, the measure for maintaining quality of C.A.P. Training after end of the project must be taken into consideration.
	Ability to develop training modules	<ul style="list-style-type: none"> ○ National Team is successfully developed the training modules based on the needs of primary teachers in collaboration with the Regional Team. NT and RT share of the modules during the Regional Training. ○ The modules are highly appreciated by teachers trained in C.A.P. and receiving the training modules is one of the major incentives for teachers to participate C.A.P. Although inappropriate contents of the modules were identified at the early stage of the project, the quality of the module has been improved.
	Ability to exercise monitoring and evaluating	<ul style="list-style-type: none"> ○ Some RTs identified the difficulties in conducting M&E activities, especially in data analysis.

ANNEXE 1. Grille d'Evaluation

ANNEXE 1-1: Réalisations du Projet

Rubriques d'Evaluation	Informations et Données Nécessaires (Indicateurs)	Findings of Study																			
Réalisation de l'Objectif Global																					
【Objectif Global】 Accroître les performances scolaires au niveau de l'élémentaire dans les domaines des mathématiques, sciences, et technologie.	Le résultat du CFEE s'améliore.	<p>○ La moyenne nationale des scores du CFEE avait déjà baissé en 2012/2013 en raison des changements opérés sur les contenus et le système de notation au CFEE. Comme le montre le tableau suivant, la moyenne Nationale en 2012/2013 (33,9%) est supérieure à la moyenne de la zone pilote (31,0). Par conséquent, il est difficile de dire que la mise en œuvre du projet a un impact sur le score du CFEE.</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">Taux de réussite au CFEE</th> </tr> <tr> <th></th> <th>2010/2011</th> <th>2012/2013</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Zone pilote</td> <td>56,0%</td> <td>31,0 %</td> </tr> <tr> <td>1^{ère} zone d'extension</td> <td>53,0%</td> <td>24,6 %</td> </tr> <tr> <td>2^{ème} zone d'extension</td> <td>58,9%</td> <td>37,2 %</td> </tr> <tr> <td>Moyenne Nationale</td> <td>55,3%</td> <td>33,9%</td> </tr> </tbody> </table> <p>Source: Annuaire Statistique National</p>	Taux de réussite au CFEE				2010/2011	2012/2013	Zone pilote	56,0%	31,0 %	1 ^{ère} zone d'extension	53,0%	24,6 %	2 ^{ème} zone d'extension	58,9%	37,2 %	Moyenne Nationale	55,3%	33,9%	
	Taux de réussite au CFEE																				
	2010/2011	2012/2013																			
Zone pilote	56,0%	31,0 %																			
1 ^{ère} zone d'extension	53,0%	24,6 %																			
2 ^{ème} zone d'extension	58,9%	37,2 %																			
Moyenne Nationale	55,3%	33,9%																			
Le résultat de tests de performance des élèves élaborés par le Projet s'élève.	<p>○ Dans le cadre de l'étude de base menée en février 2012, le projet a effectué test pour 2480 élèves pour mesurer les compétences des élèves en Math et sciences en utilisant la liste des questions élaborée par le projet. L'étude va mener un enquête finale pour mesurer les impacts du PREMST sur les performances des élèves. Le table ci-dessous présente les résultats de l'étude de base.</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">Taux de Précision Moyenne</th> </tr> <tr> <th></th> <th>Nombre d'élèves</th> <th>Mathématiques</th> <th>Sciences</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Zone pilote</td> <td>433</td> <td>43,7%</td> <td>40,3%</td> </tr> <tr> <td>1^{ère} zone d'extension</td> <td>970</td> <td>37,6%</td> <td>34,6%</td> </tr> <tr> <td>2^{ème} zone d'extension</td> <td>1077</td> <td>37,2%</td> <td>35,3%</td> </tr> </tbody> </table> <p>Source: étude de base (février 2012)</p> <p>○ Il est prématuré de mesurer l'impact du Projet sur les performances académiques des élèves, à ce stade du projet.</p> <p>○ Bien qu'il soit essentiel d'avoir une perspective à long terme pour améliorer les rendements scolaires, les données tirées des questionnaires de la revue à mi-parcours révèlent que 31% seulement des enseignants ont déclaré que le projet a contribué à améliorer la qualité d'apprentissage des élèves</p>	Taux de Précision Moyenne					Nombre d'élèves	Mathématiques	Sciences	Zone pilote	433	43,7%	40,3%	1 ^{ère} zone d'extension	970	37,6%	34,6%	2 ^{ème} zone d'extension	1077	37,2%	35,3%
Taux de Précision Moyenne																					
	Nombre d'élèves	Mathématiques	Sciences																		
Zone pilote	433	43,7%	40,3%																		
1 ^{ère} zone d'extension	970	37,6%	34,6%																		
2 ^{ème} zone d'extension	1077	37,2%	35,3%																		

Réalisation du But du Projet																			
1. Améliorer la qualité des enseignements / apprentissages des mathématiques, sciences et technologie.	L'outil d'observation de leçon révèle que la moyenne obtenue avec les enseignants de l'échantillon s'élève à 1,5 sur 3,0 ¹	<ul style="list-style-type: none"> ○ Les deux indicateurs corrélés au but du projet ont été réalisés au moment de la revue à mi-parcours. En résultat du monitoring en classe, au niveau des 5 districts³ en utilisant les outils de S&E comme l'Observation des leçons, menée en juin 2013, le score moyen pour l'Observation des leçons était de 1,55 (objectif:1,50) qui indique un niveau satisfaisant pour les leçons données par les enseignants indiquant le niveau de satisfaction par rapport au leçons donnés par les enseignants, et 54,3% (objectif:50%) des enseignants ont eu plus de 1,5 pour l'observation des leçons. 	<p>Analyse de l'Observation des Leçons</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">Indicateurs</th> <th style="text-align: center;">Situation de Référence (fév. 2012)(n=68)</th> <th style="text-align: center;">Juin 2013 (n=46)</th> <th style="text-align: center;">Augmentation</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Score moyen pour l'observation des leçons données par les enseignants</td> <td style="text-align: center;">1,36</td> <td style="text-align: center;">1,55</td> <td style="text-align: center;">0, 19</td> </tr> <tr> <td>Pourcentage d'enseignants ayant obtenu un score supérieur à 1,5</td> <td style="text-align: center;">42,6%</td> <td style="text-align: center;">54,3%</td> <td style="text-align: center;">11,7</td> </tr> </tbody> </table>	Indicateurs	Situation de Référence (fév. 2012)(n=68)	Juin 2013 (n=46)	Augmentation	Score moyen pour l'observation des leçons données par les enseignants	1,36	1,55	0, 19	Pourcentage d'enseignants ayant obtenu un score supérieur à 1,5	42,6%	54,3%	11,7				
	Indicateurs			Situation de Référence (fév. 2012)(n=68)	Juin 2013 (n=46)	Augmentation													
Score moyen pour l'observation des leçons données par les enseignants	1,36	1,55	0, 19																
Pourcentage d'enseignants ayant obtenu un score supérieur à 1,5	42,6%	54,3%	11,7																
L'outil d'observation de leçon montre que le pourcentage des enseignants qui atteignent un score d'au moins 1,5 sur 3,0 s'élève à 50%. ²	Source: Etude de base et Rapport de S&E du Projet																		
Réalisation des Résultats																			
1. Le modèle de formation continuée est intégré dans le dispositif de formation existant.	1(a). Le modèle est validé par le ME	<ul style="list-style-type: none"> ○ Le Document de capitalisation du "MODELE DE FORMATION CONTINUE DU PREMST" a été validé par le Ministère de l'Education lors de l'atelier du 30 août 2013. Le modèle concerne le nouveau modèle de planification devant être diffusé dans l'ensemble des 14 régions du Sénégal. La Note ministérielle sur cette capitalisation va être publiée. 	<ul style="list-style-type: none"> ○ Les IA ont arrêté l'élaboration des plans annuels de formation Par conséquent l'indicateur devrait être modifié comme les "IEF ont intégré le modèle dans leurs Plans d'Amélioration de la Qualité." ○ En raison de l'initiation du PAQUEB avec le soutien de l'AFD et de la Banque Mondiale, un Plan d'Amélioration de la Qualité doit être développé dans chaque IEF, à l place des plans de formation annuels élaborés par les IA. La modification des indicateurs du PDM s'impose. 																
	1(b). Les IA intègrent le modèle dans le Plan de Formation de l'Académie.																		
2. Les capacités des formateurs sont renforcées.	2(a). Le résultat de l'Outil de Suivi-Evaluation des Formateurs Nationaux appliqué par les participants aux Formations Régionales s'élève à 2,4.	<ul style="list-style-type: none"> ○ En ce qui concerne l'évaluation des capacités des formateurs, les indicateurs liés aux NT et LT dans la 1^{ère} zone d'extension n'ont pas atteint le niveau ciblé. D'autre part, la capacité des RT et LT au niveau des Zones pilotes ont été suffisamment développés par le PREMST. 	<p>Compétences des Formateurs</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">Indicateurs</th> <th style="text-align: center;">Objectifs</th> <th style="text-align: center;">Situation de Référence (Fév. 2012.)</th> <th style="text-align: center;">Juin 2013</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>NT (évalué par le RT)</td> <td style="text-align: center;">2,4</td> <td style="text-align: center;">2,1</td> <td style="text-align: center;">2,1</td> </tr> <tr> <td>RT (évalué par le NT)</td> <td style="text-align: center;">2,4</td> <td style="text-align: center;">2,1</td> <td style="text-align: center;">2,4</td> </tr> <tr> <td>LT (évalué par le RT)</td> <td style="text-align: center;">2,3</td> <td style="text-align: center;">2,0</td> <td style="text-align: center;">2,3 (Zone pilote)</td> </tr> </tbody> </table>	Indicateurs	Objectifs	Situation de Référence (Fév. 2012.)	Juin 2013	NT (évalué par le RT)	2,4	2,1	2,1	RT (évalué par le NT)	2,4	2,1	2,4	LT (évalué par le RT)	2,3	2,0	2,3 (Zone pilote)
	Indicateurs			Objectifs	Situation de Référence (Fév. 2012.)	Juin 2013													
NT (évalué par le RT)	2,4	2,1	2,1																
RT (évalué par le NT)	2,4	2,1	2,4																
LT (évalué par le RT)	2,3	2,0	2,3 (Zone pilote)																
2(b). Le résultat de l'Outil de Suivi-Evaluation des Formateurs Régionaux appliqué par les																			

¹ La donnée de base est de 1,31.

² La donnée de base est de 38,1%.

³ Les 5 districts sont Linguère, Kanel, Foundiougne, Niore Kounghoul où le projet intervient depuis 2011

	<p>Formateurs Nationaux s'élève à 2,4.⁴</p> <p>2(c). Le Résultat de l'Outil de Suivi-Evaluation des Formateurs Locaux appliqué par les Formateurs Régionaux s'élève à 2,3.⁵</p>	<p style="text-align: right;"><u>2,1(1^{ère} zone d'extension)</u></p> <p>Source: Etude de base et Rapport de S&E du Projet</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ L'une des raisons pour lesquelles le score du NT n'avait pas atteint le niveau escompté est que certains NT pourraient être découragés par rapport à la participation aux Formations Régionales en raison du retard dans l'allocation des frais de transport et d'hébergement par le Ministère de l'Education. 									
<p>3. Les connaissances des enseignants en pédagogie et dans les contenus disciplinaires en mathématiques, sciences, et technologie sont renforcées.</p>	<p>3(a).Le pourcentage de pré-test et post-test des enseignants dans les 5 nouvelles régions s'améliore de 6%.⁶</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ Il n'y a pas de données à mesurer au moment de l'évaluation à mi-parcours. Lors de l'enquête de base (Février 2012), les résultats des pré-tests pour 612 enseignants issus de 5 régions de la 1^{ère} zone d'extension étaient en moyenne de 58,6%. La mise en œuvre du post-test dans le cadre de l'enquête de base est prévue pour 2015. ○ Les résultats du questionnaire de l'évaluation à mi-parcours montrent que les connaissances et les compétences des enseignants ont été améliorées à travers leur participation aux Cellules d'Animation Pédagogique (CAP : à la formation du groupe scolaire). 									
<p>4. L'étude de leçon est pratiquée régulièrement aux niveaux dans les Cellules et dans les écoles.</p>	<p>4(a). 90% des cellules organisent 3 activités pratiques d'étude de leçons par an. (2 activités pour les 1e et 2e années.)</p>	<p><u>Taux d'exécution</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ En 2011/2012, 92% des C.A.P ont effectué des leçons. Cependant, en 2012/2013, seulement 57% des C.A.P ont fait des leçons. La plupart des C.A.P a pu mettre en œuvre une session à une ou deux reprises, en raison du report des sessions de formations régionales et local à cause du retard accusé dans la mobilisation du budget de formation au niveau national. <p><u>Taux d'Exécution des études de leçons</u></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">2011/2012</th> <th style="text-align: center;">2012/2013</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Zone pilote</td> <td style="text-align: center;">92%</td> <td style="text-align: center;">57%</td> </tr> <tr> <td>Zone d'extension première</td> <td style="text-align: center;">99.6%</td> <td style="text-align: center;">74%</td> </tr> </tbody> </table> <p>Source: Rapport de S&E du Projet</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ Par exemple, dans la région de Louga 6 C.A.P au lieu de 3, suivant la norme ont été planifiés pour 2013/2014 en vue de rattraper le nombre de CAP qui n'avait pas été exécuté en 2012/2013. ○ Les autres facteurs ayant fait baisser le tux d'exécution des CAP ont été les fréquentes reprogrammations des CAP en raison des grèves d'enseignants et du manque de communication entre les Coordinateur Régional et le Point Focal de l'IEF. ○ En comparant les taux d'exécution des études de leçons et des Sessions de Formation à Distance, le taux d'exécution des sessions de Formation à Distance est supérieur à celui des études de leçons. Ceci est dû au fait que les formateurs devaient finir rapidement l'élaboration les modules de Formation à Distance, d'autre part, il n'y a pas de modules à développer pour les Etudes de leçons. <p><u>Taux de Participation des Enseignants</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ Un taux élevé de participation des enseignants au C.A.P (approximativement 80%) a été identifié lors de l'évaluation à mi-parcours. ○ La participation des enseignants au C.A.P dépend de la gestion des directeurs d'écoles et des 		2011/2012	2012/2013	Zone pilote	92%	57%	Zone d'extension première	99.6%	74%
	2011/2012	2012/2013									
Zone pilote	92%	57%									
Zone d'extension première	99.6%	74%									

⁴ La donnée de base est 2,1.

⁵ La donnée de base est 2,0.

⁶ La donnée de base est 58,6%.

		représentants du C.A.P. L Sélection des LT et la mise en œuvre d'un monitoring approprié par les IEF a une influence positive sur le taux de participation.
	4(b). 50% des écoles intègrent l'étude de leçon dans les cellules internes ⁷	<ul style="list-style-type: none"> ○ La collecte des données sur les indicateurs relatifs à l'utilisation des études de leçon au sein de la cellule interne de l'école n'est pas suffisante. ○ Dans la région de Fatick 85% des écoles ont mis en place des cellules internes, d'après les données recueillies au niveau de 450 écoles (sur 800-900 écoles). Cependant, les écoles qui n'ont soumis leurs rapports ont la possibilité de ne pas mettre en place une cellule interne. ○ Par conséquent, cet indicateur doit nécessairement être mesuré à travers l'enquête par sondage menée dans le cadre de l'étude finale.
Intrants Fournis		
Intrants	<p><u>Partie Japonaise:</u></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Experts à long-terme experts 2. Experts à court-terme/Pays tiers 3. Matériels et modules de mise en œuvre de la formation 4. Equipement destiné à la formation au niveau régional et local 5. Formation en pays tiers ou au Japon 6. Coût local pour le Projet <p><u>Gouvernement du Sénégal:</u></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Homologues 2. Bureau du Projet 3. Dépenses liées à la formation et au S&E 	<p>Les intrants suivant ont été fournis comme prévu (en septembre 2013. Voir Annexe 1 pour les détails.)</p> <p><u>Partie Japonaise:</u></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Experts à long-terme (3) 2. Experts à court-terme (2) 3. Matériels et modules de mise en œuvre de la formation 4. Equipement destiné à la formation au niveau régional et local 5. Equipement destiné à la formation 6. Formation en pays tiers (15) Japon (36) 7. Coût du Projet en monnaie locale (584 915 047 FCFA) <p><u>Gouvernement du Sénégal:</u></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Homologues <ul style="list-style-type: none"> Directeur du Projet (1) NT (9) RT(242), Zone pilote(52)1e zone d'extension(85) 2e zone d'extension(105) LT (1855) Zone pilote(469)1e zone d'extension(590) 2e zone d'extension(796) 2. Bureau du Projet 3. Dépenses liées à la formation et S&E (216 005 900FCFA)
Conditions Préalables		
Les conditions préalables sont-elles toujours valables et ne constituent elles pas une entrave à la mise en œuvre des activités du Projet?	La politique éducative dont la priorité est l'amélioration continue de la qualité de l'Enseignement, notamment l'enseignement des mathématiques, des sciences et de la technologie.	○ Programme d'amélioration de la Qualité, de l'Equité et de la Transparence (PAQUET) 2013-2025 met l'accent sur la promotion de la qualité de l'éducation. L'accent est également mis sur le programme de promotion de l'enseignement des sciences, de la technologie et des innovations (STI).
	Le curriculum de l'élémentaire pour les mathématiques, les sciences et la technologie, et le système d'INSET ne subissent pas de changement notable.	○ Pour ce qui de l'atelier sur les nouveau curricula développés par le Ministère de l'Education avec l'appui de l'ACDI, les experts de la JICA experts et les homologues se sont impliqués, en conséquence, la cohérence entre les nouveau curricula nationaux et les modules du PRIMST va être garantie.

⁷Le pourcentage sera revu en fonction des résultats du suivi-évaluation en 2011/12.

ANNEXE 1-2: Processus de Mise en Œuvre du Projet

Rubriques d'Evaluation	Informations et Données Nécessaires (Indicateurs)	Conclusions de l'Etude																																
Mise en œuvre des activités prévues	Compte rendu sur les activités menées	<p>○ La plupart des activités dans le PDM ont été menés comme prévu. Cependant, les activités suivantes ont été retardées ou leur progression n'a pas été confirmés du fait du manqué d'information.</p> <p>1-1 Le modèle de la Phase 2 a été validé à l'occasion d'un atelier organisé par le Ministère de l'Education mais aucune note ministérielle officielle n'a été émise.</p> <p>2-3 Certaines sessions de formation ont été différée en raison du retard dans l'allocation du budget de contrepartie par la partie sénégalaise.</p> <p>3-3 Insuffisance des informations disponibles sur cette activité</p> <p>4-3 Insuffisance des informations disponibles sur les Cellules Internes</p> <p>Activités du Projet</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>Activité</th> <th>Etat d'avancement</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0 Mise en œuvre de l'étude de base et l'étude de fin du projet</td> <td>Presque dans les temps</td> </tr> <tr> <td>1-1 Mise en place du dispositif stabilisé de formation en cascade</td> <td>Presque dans les temps</td> </tr> <tr> <td>1-2 Elaboration d'outils de formation</td> <td>Mis en œuvre à un moment différent de la planification initiale</td> </tr> <tr> <td>1-3 Mise en place d'un dispositif de suivi – supervision</td> <td>Presque dans les temps</td> </tr> <tr> <td>1-4 Organisation de bilans</td> <td>Presque dans les temps</td> </tr> <tr> <td>1-5 Campagne de communication</td> <td>Presque dans les temps</td> </tr> <tr> <td>2-1 Formation des formateurs nationaux</td> <td>Retard dans la mise en œuvre</td> </tr> <tr> <td>2-2 Formation des formateurs régionaux</td> <td>Dans les temps</td> </tr> <tr> <td>2-3 Formation des formateurs locaux</td> <td>Retard dans la mise en œuvre</td> </tr> <tr> <td>3-1 Formation des maîtres</td> <td>Retard dans la mise en œuvre</td> </tr> <tr> <td>3-2 Formation des directeurs sur les trois modules⁸</td> <td>Dans les temps</td> </tr> <tr> <td>3-3 Suivi de formation des maîtres (modules) par les directeurs d'école</td> <td>Insuffisance des informations disponibles sur cette activité</td> </tr> <tr> <td>4-1 Organisation d'activités pratiques d'étude de leçon</td> <td>Retard dans la mise en œuvre</td> </tr> <tr> <td>4-2 Formation des directeurs sur l'encadrement de l'étude de leçon</td> <td>Presque dans les temps</td> </tr> <tr> <td>4-3 Encadrement rapproché des maîtres (étude de leçon) par les directeurs d'école</td> <td>Insuffisance des informations disponibles sur les Cellules Internes.</td> </tr> </tbody> </table> <p>Source: Plan d'Opération</p>	Activité	Etat d'avancement	0 Mise en œuvre de l'étude de base et l'étude de fin du projet	Presque dans les temps	1-1 Mise en place du dispositif stabilisé de formation en cascade	Presque dans les temps	1-2 Elaboration d'outils de formation	Mis en œuvre à un moment différent de la planification initiale	1-3 Mise en place d'un dispositif de suivi – supervision	Presque dans les temps	1-4 Organisation de bilans	Presque dans les temps	1-5 Campagne de communication	Presque dans les temps	2-1 Formation des formateurs nationaux	Retard dans la mise en œuvre	2-2 Formation des formateurs régionaux	Dans les temps	2-3 Formation des formateurs locaux	Retard dans la mise en œuvre	3-1 Formation des maîtres	Retard dans la mise en œuvre	3-2 Formation des directeurs sur les trois modules ⁸	Dans les temps	3-3 Suivi de formation des maîtres (modules) par les directeurs d'école	Insuffisance des informations disponibles sur cette activité	4-1 Organisation d'activités pratiques d'étude de leçon	Retard dans la mise en œuvre	4-2 Formation des directeurs sur l'encadrement de l'étude de leçon	Presque dans les temps	4-3 Encadrement rapproché des maîtres (étude de leçon) par les directeurs d'école	Insuffisance des informations disponibles sur les Cellules Internes.
Activité	Etat d'avancement																																	
0 Mise en œuvre de l'étude de base et l'étude de fin du projet	Presque dans les temps																																	
1-1 Mise en place du dispositif stabilisé de formation en cascade	Presque dans les temps																																	
1-2 Elaboration d'outils de formation	Mis en œuvre à un moment différent de la planification initiale																																	
1-3 Mise en place d'un dispositif de suivi – supervision	Presque dans les temps																																	
1-4 Organisation de bilans	Presque dans les temps																																	
1-5 Campagne de communication	Presque dans les temps																																	
2-1 Formation des formateurs nationaux	Retard dans la mise en œuvre																																	
2-2 Formation des formateurs régionaux	Dans les temps																																	
2-3 Formation des formateurs locaux	Retard dans la mise en œuvre																																	
3-1 Formation des maîtres	Retard dans la mise en œuvre																																	
3-2 Formation des directeurs sur les trois modules ⁸	Dans les temps																																	
3-3 Suivi de formation des maîtres (modules) par les directeurs d'école	Insuffisance des informations disponibles sur cette activité																																	
4-1 Organisation d'activités pratiques d'étude de leçon	Retard dans la mise en œuvre																																	
4-2 Formation des directeurs sur l'encadrement de l'étude de leçon	Presque dans les temps																																	
4-3 Encadrement rapproché des maîtres (étude de leçon) par les directeurs d'école	Insuffisance des informations disponibles sur les Cellules Internes.																																	

⁸ Le contenu est: suivi-encadrement, management des ressources humaines, gestion des matériels didactiques.

		<ul style="list-style-type: none"> ○ Concernant l'Activité 3-3 et 3-4, les données nécessaires devraient être collectées à travers l'étude finale, en vue de suivre la progression de ces activités (recommandation)
Relation entre les acteurs	Y a-t-il de bonnes relations entre les acteurs?	<ul style="list-style-type: none"> ○ Le Comité Conjoint de Coordination (CCC) s'est réuni trois fois en novembre 2013 pour partager le
	Le système de contrôle et de responsabilité pour chacun des niveaux d'acteurs est-il clair (au niveau national, régional et local)?	<ul style="list-style-type: none"> ○ En Décembre 2012, le secrétaire général est allé en retraite et un nouveau chef de projet a été choisi parmi les NT de la DEE. Cependant, le remplaçant du NT n'a pas encore été nommé. En raison des importantes charges de travail du Chef de Projet, le projet étant mis en œuvre à l'échelle nationale, il est nécessaire de nommer un nouveau NT au sein de la DEE. ○ L'utilisation d'un nombre suffisant de RT est envisagé plutôt que l'accroissement du nombre de NT en vue de la diffusion des effets du projet, à l'échelle nationale conformément à la tendance de la politique de décentralisation.
Relation avec les autres bailleurs	Y a-t-il une quelconque relation de collaboration ou duplication superflue des activités menées par d'autres bailleurs?	<ul style="list-style-type: none"> ○ Les bailleurs actuels de l'éducation nationale sont la JICA, l'ACDI (développement des curricula), l'USAID (Partenariat pour l'Amélioration de la Littérature et des Mathématiques à l'École: PALME). La méthode des études de cours du PREMST est envisagée pour l'application de la méthode de l'apprentissage par l'action du PALME. ○ L'AFD et la Banque Mondiale entendent appuyer la fourniture de subventions scolaires, dans le cadre du projet du PAQUEB. Il est envisagé d'intégrer les activités du PREMST dans le Plan d'Amélioration de la Qualité élaboré par les IEF, dans le cadre du PAQUEB.
Suivi et Evaluation (S&E) de la progression et de la réalisation du Projet	S&E de la Formation, au niveau Régional, Local et des groupes scolaires.	<ul style="list-style-type: none"> ○ Le S&E est mené à tous les niveaux des sessions de formation et de la formation des directeurs d'école. Les résultats du S&E ont été partagés avec les acteurs lors des réunions de feedback en vue d'une meilleure amélioration du Projet. Les résultats ont également été récapitulés dans les rapports de S&E des IA et des IEF.
	S&E de la formation à distance et des études de leçons.	<ul style="list-style-type: none"> ○ Taux de monitoring de la formation au niveau des groupes scolaires n'a été que de 55%. La raison de la faiblesse du taux de l'exécution du monitoring par les RT sont le manque de moyens de transport et les fréquentes reprogrammations du CAP.
Facteurs entravant et contribuant à la progression dans la mise en œuvre, à la réalisation des résultats et du but du projet	Existe-t-il un facteur favorisant	<ul style="list-style-type: none"> ○ Les bilans régionales et locales sont des opportunités d'amélioration des sessions de formation mais également une occasion pour les formateurs des différentes régions d'échanger des informations sur les procédures et la logistique relatives à la préparation des sessions de formation. ○ La qualité des modules de formation développés par le projet est un aspect positif qui a augmenté le taux de participation aux C.A.P. Egalement, les supports audio-visuels permettent aux enseignants comment doit se dérouler une bonne étude de leçon. Les supports audio-visuels montrent des exemples qui ne sont pas faciles à expliquer dans les modules.
	Le retard accusé dans le décaissement du budget de formation a-t-il négativement influencé le projet?	<ul style="list-style-type: none"> ○ En plus du retard dans le décaissement des frais de transport sur le BCI, le décaissement n'a pas été effectif pour beaucoup de participants en raison de l'indisponibilité de certains documents. La formation régionale au niveau des 3 départements de la région de Louga et de la région de Diourbel a été reportée en raison du boycott des participants. ○ Une autre raison de ce boycott est que les paiements effectués sur le BCI sont inférieurs aux perceptions du PDEF (taux appliqué par les bailleurs) ○ Le boycott des CAP par les enseignants a engendré un faible taux d'exécution dans les départements de la région de Louga

ANNEXE 1-3. Evaluation basée sur Cinq Critères

Pertinence: Elevée

Rubriques d'Evaluation	Informations et Données Nécessaires (Indicateurs)	Conclusions de l'Etude
Nécessité		
Le But du Projet correspond il aux besoins du groupe ciblé?	L'approche du PREMST correspond il avec les besoins des enseignants et des élèves?	<ul style="list-style-type: none"> ○ La mise en œuvre de la formation CAP et la mise en place des cellules internes ont été normalisées, au Sénégal, par arrêté ministériel. Cependant, les contenus de la formation CAP n'ont pas été concrètement définis. Par conséquent, la fréquence et la qualité des sessions de formation CAP et des cellules internes a été différente. ○ Il n'y a pas un système de formation continue des enseignants de l'élémentaire. La formation continue se fait normalement sur une base ad hoc. ○ La durée de la formation initiale des enseignants est réduite et environ deux tiers des enseignants du primaire, au Sénégal, sont des contractuels ou des volontaires. Cela affecte négativement la qualité de l'enseignement. Par conséquent la formation initiale est hautement nécessaire. ○ Le faible niveau de performance des élèves en mathématiques et en sciences (révélé par les résultats du SNERS 2012) a été confirmé par l'étude de base du projet. ○ Les efforts consentis par le Gouvernement ont permis de faire passer le taux d'achèvement à l'élémentaire de 49,7% en 2006 à 66,2% en 2011. Cependant, ce résultat demeure insuffisant, compte tenu du fait que l'objectif intermédiaire visé était de 85% en 2010 et 100% pour l'horizon 2015.
Priorité		
Cohérence du Supra Objectif, de l'Objectif Global et du But du Projet avec la Politique Nationale de Développement du Sénégal	La priorité est accordée à l'amélioration de la qualité de l'enseignement élémentaire dans le domaine des mathématiques et des sciences, à travers le renforcement des compétences des enseignants, dans le politique du Gouvernement Sénégalais?	<ul style="list-style-type: none"> ○ Le Programme d'amélioration de la Qualité, de l'Equité et de la Transparence (PAQUET) 2013-2025 met l'accent sur l'amélioration de la qualité de l'apprentissage des enseignants et de la promotion de la qualité de l'enseignement. De la cadre de ce programme, l'accent est également mis sur la promotion du développement de l'enseignement des Sciences, de la Technologie et des Innovations (STI). ○ Les Fonds votés pour l'éducation dans le Budget de l'Etat ont beaucoup augmenté entre 2000 et 2011. C'est passé de 105 milliard CFAF en 2000 à 432 milliard CFAF en 2011, cela fait un taux d'accroissement moyen annuel de 12.5%.
Cohérence avec la politique de coopération du Japon et du programme pays de la JICA	Y a-t-il un quelconque changement important par rapport à la politique de coopération du Japon et du programme pays de la JICA, après le démarrage du Projet?	<ul style="list-style-type: none"> ○ Il y a eu des changements majeurs dans la politique de coopération du Japon et le programme pays de la JICA. ○ L'enseignement élémentaire est l'un des secteurs prioritaires du programme pays de la JICA pour le Sénégal. ○ Le Plan d'Action de Yokohama adopté lors du TICAD V tenu en juin 2013, renforcement de l'enseignement et de l'apprentissage des Sciences, de la Technologie, de l'Ingénierie et des Mathématiques (STEM) mais l'accent sur les priorités de TICAD V.
La durabilité en tant que Moyen		
La sélection des groupes cibles se fait elle de façon appropriée?	Le nombre d'Equipes Nationales, Régionales et Locales est il approprié?	<ul style="list-style-type: none"> ○ La sélection des formateurs a été menée suivant les critères d'éligibilité. Par conséquent, les formateurs des différents niveaux ont des connaissances et compétences suffisantes pour faciliter les sessions de formation. ○ Les RT sont choisis parmi les enseignants de l'enseignement secondaire, le personnel du CRFPE. Cette approche a un impact positif sur la qualité de l'enseignement secondaire et sur la cohérence

		<p>entre les contenus des leçons dans le cadre de la formation initiale et continue des enseignants.</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ Les LT sont choisis sur la base de critères académiques, de l'engagement et de la disponibilité. Lors des interviews, les FR du département de St-louis ont suggéré que les FL ont une compétence suffisante pour conduire le C.A.P mais leur effectif est insuffisant pour conduire la formation CAP.
	La sélection et le nombre de formation au Japon et en pays tiers est il approprié?	<ul style="list-style-type: none"> ○ La Sélection et nombre de formations au Japon et en pays tiers est il approprié.
L'approche du PREMST est elle appropriée?	La formation continue est elle une activité appropriée pour améliorer la qualité de l'enseignement des mathématiques et des sciences?	<ul style="list-style-type: none"> ○ Comme beaucoup d'enseignants de l'élémentaire avaient un background littéraire et non pas scientifique, le projet satisfait aux besoins des enseignants du primaire pour combler leurs faiblesses. De plus, au Sénégal, environ la moitié des enseignants est constituée de contractuels et de volontaires de l'enseignement.
	Le système de formation en cascade est il combiné avec le système de modules dans le cadre du C.A.P. est il une approche approprié?	<ul style="list-style-type: none"> ○ Le système de formation en cascade fonctionne de façon efficace pour la transmission de l'approche du projet au niveau national et local. Les formateurs des différents niveaux ont été choisis de façon appropriée, en fonction de certains critères, en vue d'éviter la dilution des contenus du système de formation en cascade. Le système de module basé sur le C.A.P. rend l'INSET effectif, en termes de couverture d'un grand nombre d'enseignants, dans l'ensemble des régions ciblées. ○ L'utilisation des C.A.P. existant à travers le Sénégal constitue une stratégie appropriée pour diffuser le projet à l'échelle nationale avec un minimum d'intrants.
	Le système de formation à distance est il une approche appropriée?	<ul style="list-style-type: none"> ○ Les plupart des LT ont utilisé les notes de formation pour se préparer avant de prendre part à la session de formation. Cependant, il est difficile de vérifier si les participants se sont préparés à l'aide des notes de formation ou non.
	Le système de soutien technique basé sur les intrants du SMASE-WECSA est il approprié?	<ul style="list-style-type: none"> ○ D'ici octobre 2013, 15 homologues, notamment des RT ont pris part à la formation du SMASE-WECSA. ○ Bien que la Formation en Pays Tiers fusse utile pour l'initiation de la phase 1 du projet, l'équipe du projet n'est pas très disposée à recevoir les intrants de SMASE-WECSA, au Kenya. Donc, la Formation en Pays Tiers, au Kenya a été discontinuée depuis 2013.
Le Japon tire t il des avantage de la coopération technique dans ce domaine?	Les expériences issues des projets similaires ont ils été utilisés dans le cadre du Projet?	<ul style="list-style-type: none"> ○ Les membres du projet ont pris part au 3ème Comité Technique du SMASE-WECSA en Zambie. L'un des objectifs a été d'échanger avec le projet de la Zambie sur les Etudes de Leçon.
	Les expériences de développement des l'enseignement au Japon ont-ils été utilisés dans le Projet?	<ul style="list-style-type: none"> ○ D'ici octobre 2013, 21 homologues, notamment des NT et RT ont pris part à la formation sur les Etudes de Leçon à l'Université d'Okayama.

Efficacité: assez bonne

Rubriques d'Evaluation	Informations et Données Nécessaire (Indicateurs)	Conclusions de l'Etude																				
Les Possibilités d'Atteinte du But du Projet																						
Le But du Projet est il pertinent?	Degré de réalisation du But du Projet	<ul style="list-style-type: none"> ○ D'après l'observation des résultats des Etudes de Leçons dans les 5 districts ciblés par l'étude de base, en juin 2013, les deux indicateurs corrélés au But du Projet ont été atteints au moment de l'évaluation à mi-parcours, le score obtenu pour l'Observation en classe a été de 1,55 (objectif:1,50), et 54,3% (objectif:50%) des enseignants ont eu plus de 1,5 en observation en classe. ○ 64% des enseignants qui ont répondu au questionnaire ont déclaré que le projet contribue à l'amélioration de la qualité des leçons de mathématiques et des sciences. Ceci démontre que la pratique des leçons requiert des efforts soutenus à long terme. 																				
	Le niveau du But du Projet est il approprié?	<ul style="list-style-type: none"> ○ L'indicateur ciblé pour l'Observation en classe, lequel permet de mesurer le But du Projet a été défini sur la base de l'étude de base. L'étude finale sera menée avant la fin du projet. Dans l'étude finale le même échantillon d'enseignants feront l'objet d'observation en classe, en vue de comparer leurs compétences avant et après leur implication dans le projet. 																				
Relations de Cause à Effet																						
Les Résultats contribuent à l'atteinte du But du Projet?	L'intégration du modèle INSET du projet dans le cadre de formation des enseignants existant, contribue-t-elle au renforcement des compétences des enseignants? (Résultat 1)	<ul style="list-style-type: none"> ○ Le modèle INSET du PREMST a été validé par le Ministère de l'Education lors de l'atelier du 30 août 2013. Cette validation va en faciliter la diffusion à l'échelle nationale. ○ Des Modules destinés aux enseignants et aux directeurs d'école ont été développés. les NT sont suffisamment compétents pour développer des modules de formation, sur la base des besoins des enseignants du primaire, en collaboration avec les RT. les NT et les RT partagent et révisent les modules de formation. Tous les directeurs d'école et enseignants sont satisfaits des modules utilisés pour la formation à distance et la formation des directeurs d'école. ○ Des Posters et brochures du projet ont été développés pour la sensibilisation sur les activités du projet. 																				
	Le renforcement des compétences des membres de l'équipe Nationale, Régionale et Locale contribue t il au renforcement des compétences des enseignants? (Résultat 2)	<ul style="list-style-type: none"> ○ Selon le questionnaire 100% des directeurs d'école sont satisfaits de leur formation, 86% des enseignants se disent satisfaits de la formation à distance and 67% des enseignants sont également satisfaits de la formation en étude de leçon 																				
	La mise en œuvre de la formation modulaire, la formation des directeurs d'école et le module de formation à distance des enseignants contribue t elle au renforcement des compétences des enseignants? (Résultat 3)	<ul style="list-style-type: none"> ○ In the questionnaire 100% of school heads are satisfy with the School Head Training and 86% of teacher are satisfy with Distance Training, only 67% of teacher are satisfy with Lesson Study Training. <p>Niveau de satisfaction des participants aux différentes formations</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>Formation Directeurs écoles</th> <th>Formation à distance</th> <th>Etude de Leçon</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Très satisfaisant</td> <td>25</td> <td>22</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>Satisfaisant</td> <td>75</td> <td>64</td> <td>52</td> </tr> <tr> <td>Peu satisfaisant</td> <td>0</td> <td>14</td> <td>33</td> </tr> <tr> <td>Pas du tout satisfaisant</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ○ Source: Evaluation à mi-parcours 		Formation Directeurs écoles	Formation à distance	Etude de Leçon	Très satisfaisant	25	22	15	Satisfaisant	75	64	52	Peu satisfaisant	0	14	33	Pas du tout satisfaisant	0	0	0
	Formation Directeurs écoles	Formation à distance	Etude de Leçon																			
Très satisfaisant	25	22	15																			
Satisfaisant	75	64	52																			
Peu satisfaisant	0	14	33																			
Pas du tout satisfaisant	0	0	0																			

	<p>La pratique des études de leçon au niveau des groupes scolaires et école contribue t elle au renforcement des compétences en enseignements, des enseignants? (Résultat 4)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ Bien que les C.A.P aient contribué au renforcement des capacités des enseignants, les acteurs ont noté quelques difficultés tels que : 1) le nombre pléthorique des participants aux C.A.P ; 2) une gestion insuffisante de temps ; 3) une supervision insuffisante de la part des Inspecteurs et Directeurs d'écoles ; 4) un manque de matériel de formation ; et 5) des séances théoriques plus nombreuses que les séances pratiques ○ 38% des formateurs ont déclaré que les activités de suivi et de supervision menées par les FN et les FR sont appropriées. Cependant, le taux de supervision des cellules d'animation pédagogique s'élève à par FR 55% seulement. Les raisons de ce faible taux d'exécution des activités de supervision sont le manque de moyens de transport et le chevauchement des calendriers de formation.
Hypothèses Importantes		
<p>NT ne font pas l'objet de transferts considérable</p>		<ul style="list-style-type: none"> ○ En décembre 2012, le secrétaire général est allé en retraite et un nouveau chef de projet a été nommé au sein du NT de la DEE. Cependant, le remplacement de ce NT n'a pas encore été nommé. Etant donné que le Chef de Projet a une lourde charge de travail du fait de la mise en œuvre à l'échelle nationale du projet, il faudrait nommer un nouveau NT au niveau de la DEE.
<p>Y a-t-il une quelconque hypothèse important pour la mise en œuvre du projet?</p>		<ul style="list-style-type: none"> ○ Le retard des remboursements des frais de transport sur le BCI a fait perdre à certains formateurs et participants, leur motivation.

Efficacité:

Rubriques d'Evaluation	Informations et Données Nécessaire (Indicateurs)	Conclusions de l'Etude
Degré de réalisation des Résultats		
Les Résultats ont ils été atteint comme prévu?		<ul style="list-style-type: none"> ○ La plupart des activités prévues a été menée avec succès et les résultats sont en train d'être produits ; ceci devra contribuer à la réalisation du but du Projet. Cependant, certaines formation ont été différée en raison du retard dans l'allocation du budget de contrepartie du Sénégal et l'insuffisance des informations sur l'appui fourni par les Directeurs d'école et la situation courante des cellules internes au niveau des écoles empêche de comprendre la progression des activités du projet.
Relation des Cause à Effet		
Les activités sont elles effectives au point de générer des Résultats?	Les formations au Japon et au Kenya ont elles contribué au renforcement des compétences des NT, RT?	<ul style="list-style-type: none"> ○ Le résultat de l'évaluation des capacités des formateurs montre que le niveau escompté pour les indicateurs liés aux NT a été atteint. Cependant, les RT ont répondu à l'interview que les NT sont assez qualifiés pour conduire la formation Régionale.
	La Formation Régional contribue t elle au renforcement des compétences des RT, LT?	<ul style="list-style-type: none"> ○ Le résultat de l'évaluation des capacités des formateurs montre que le niveau escompté pour les indicateurs liés aux RT et LT, au niveau des zones pilotes ont été atteint. Lors des interviews, les LT et les enseignants ont également déclaré que les RT et les LT sont assez qualifiés pour conduire la formation.
	La formation des directeurs d'école contribue t elle à l'amélioration des capacités de monitoring/supervision?	<ul style="list-style-type: none"> ○ Les NT ont suggéré que les directeurs d'école soient sensibilisés sur les activités du PREMST pour s'assurer que les enseignants puissent prendre part aux sessions de formation et puissent utiliser les connaissances et compétences acquises, en classe. ○ Le directeurs d'école sont également en mesure de trouver une opportunité de se réunir et partager des expériences, apprendre les bonne pratiques et discuter entre eux des solutions à apporter aux problèmes qu'ils rencontrent.
La qualité, la quantité, et le timing des intrants sont ils convenables pour les Résultats atteints?	Le nombre, les spécialités et la programmation des l'envoi des experts sont ils adéquats?	<ul style="list-style-type: none"> ○ Trois experts japonais à long-terme et deux experts à court-terme sont effectivement intervenus. Bien que le nombre d'experts japonais soit minime, le projet a contribué à toucher un nombre remarquable d'enseignants (55.000 enseignants et 6.000 directeurs d'écoles dans tous le Sénégal.)
	Les spécifications, la quantité et la programmation de la mise en place des équipements sont ils appropriés?	<ul style="list-style-type: none"> ○ Les contributions du projet sont appropriées. Les interviewés se disent satisfaits des formations reçues au Japon et au Kenya. De plus, 91% des interviewés sont satisfaits de l'appui du Japon à travers la mise à disposition d'experts qui ont travaillé soit à long terme ou à courts termes dans le projet ; et 76% se disent satisfaits du matériel fournit par le projet. ○ La plupart du matériel et des machines acquis a été bien entretenue et utilisée pour produire les Résultats. En particulier les ordinateurs et les équipements connexes pour les différentes IA et IEF ont été efficacement utilisés pour distribuer les modules et traiter les données des activités de S&E.
	Le nombre, les qualifications, la programmation et la durée des formations au Japon et au Kenya sont elles appropriées?	<ul style="list-style-type: none"> ○ D'après les résultats des interviews, le profile des acteurs ayant pris part à la formation au Japon et au Kenya a été approprié ; du point de vue de leurs qualification, de leur programmation et de la durée de la formation les conditions ont été réunies pour assurer leur compréhension.
	Le budget destiné aux activités locales issu des deux parties japonaise et sénégalaise, est il approprié?	<ul style="list-style-type: none"> ○ Pour ce qui est du partage des coût, environ 80% des dépenses liées à la formation (formation au niveau Régional, District et Local) et 50% des dépenses liées au monitoring étaient censés être pris en charge par le Gouvernement du Sénégal au mois de septembre 2013. A ce jour, seulement 7% des coûts initialement prévus ont été pris en charge par la Partie sénégalaise..

Autres Facteurs		
Facteurs ayant affecté l'efficience du processus de mise en œuvre du Projet	Le réseau de SMASE-WECSA est il efficacement utilisé?	<ul style="list-style-type: none"> ○ Les membres du projet ont pris part à la 3ème réunion technique de SMASE-WECSA, en Zambie. L'un des objectifs de cette rencontre a été d'échanger avec le projet de la Zambie sur les Etudes de Leçon. ○ Avant octobre 2013, 15 homologues Sénégalais en l'occurrence des formateurs régionaux, ont participé à la formation et à la conférence de SMASE-WECSA.
	Les leçons tirées de la Phase 1 du projet sont elles efficacement utilisées?	<ul style="list-style-type: none"> ○ Les Indicateurs du PDM ont été réduits dans la phase II en s'inspirant de l'expérience de la phase I durant laquelle beaucoup de temps a été consacré à la collecte et à l'analyse des données qualitatives. ○ Les expériences issues d'un projet antérieur de la JICA, notamment "le projet de formation des directeurs d'école à Louga (2004-2006)" ont été utilisées pour planifier la composante formation à distance du Projet.
	Les ressources locales sont elles efficacement utilisées?	<ul style="list-style-type: none"> ○ En utilisant le système C.A.P. existant qui fonctionne sans aucune motivation pécuniaire pour la formation des enseignants permet au projet économique. ○ L'utilisation efficiente des installations existantes CRFPE (EFI et PRF) pour la formation régionale et celle des écoles primaires pour la formation locale ont contribué à la réduction des coûts initiaux du projet ○ Le changement de statut de formateur local à représentant de CAP minimise les coûts du projet, les frais de transport relatifs aux CAP dans la mesure où leur appui technique aux CAP est une tâche qui leur incombe.

Impact: Assez bon

Rubriques d'Evaluation	Informations et Données Nécessaire (Indicateurs)	Conclusions de l'Etude
Possibilités de Réalisation de l'Objectif Global et du Supra Objectif		
Possibilités de réalisation de l'Objectif Global	La situation présente du Projet laisse t elle penser que l'Objectif Global sera atteint?	<ul style="list-style-type: none"> ○ Même en comparant les scores du CFEE dans la Zone pilote à la moyenne nationale, en 2012/2013, la moyenne Nationale (33,9%) est plus élevée que le score de la zone pilote (31,0). Par conséquent, il est difficile de dire que la mise en œuvre du projet a impacté sur les score du CFEE. ○ 31 % seulement des directeurs d'école et des enseignants suggèrent que les projet contribue à l'amélioration de la qualité de l'enseignement et de l'apprentissage par les élèves. ○ En résultat des interviews, certains acteurs reconnaissent également les changements intervenus par rapport à l'attitude et aux performances des élèves. Cependant, il n'existe pas de données concrètes pouvant démontrer la contribution du projet à l'amélioration des rendements scolaires des élèves. ○ Selon le questionnaire, 31% seulement des enseignants ont répondu que le projet a contribué à l'amélioration de la qualité d'apprentissage des élèves.
Hypothèses Importantes pour la réalisation de l'Objectif Global		
L'absence des enseignants n'a pas augmenté.		<ul style="list-style-type: none"> ○ Les grèves des enseignants, entravent la mise en œuvre des CAP et des cellules internes. Cependant, on dit que durant la grève des enseignants, avec l'appui du PREMST certains CAP ont été mis en œuvre. Cependant, la fréquence des grèves des enseignants a baissé après l'avènement du nouveau président.
Effets étendus		
Y a-t-il une quelconque expansion des effets?	Impact sur les autres disciplines	<ul style="list-style-type: none"> ○ Dns la région de Thiès, on dit que les études de leçon sont utilisées dans d'autres disciplines que les mathématiques et les sciences pour améliorer la qualité des leçons dans toutes les disciplines. ○ Dans l'interview, beaucoup d'enseignants ont affirmé que l'ASEI-PDSI et l'étude de leçon sont des approches qui peuvent être appliquées aux autres disciplines et est utile pour l'amélioration de la qualité de l'enseignement et de l'apprentissage dans toutes les disciplines. ○ D'autres partenaires comme le Canada et l'USAID envisagent d'utiliser le modèle de formation continue combiné à la formation en cascade et aux CAP pour le renforcement de capacités des enseignants.
	Impact sur la Formation Initiale (PRESET)	<ul style="list-style-type: none"> ○ Certains RT ont personnellement appliqué les modules de formation du PREMST à la formation initiale au niveau du CRFPE.
	Impact sur les nouveau curricula	<ul style="list-style-type: none"> ○ Les experts de la JICA et les NT ont été invités à l'Atelier sur la Révision du Guide Curriculaire portant sur l'élaboration de curriculum de formation initiale. Le résultat a été que la terminologie du plan des leçons dans le guide curriculaire et les modules du and PREMST modules sont en cohérence.
	Autres impacts	<ul style="list-style-type: none"> ○ La formation C.A.P. a positivement affectée le taux de réussite au CEAP. Au CEAP, les mathématiques et le français sont des matières obligatoires et les enseignant formés avec les modules ont tendance tend à choisir les sciences comme discipline optionnelle, après l'intervention du projet sur le C.A.P.

Durabilité: Assez bonne

Rubriques d'Evaluation	Informations et Données Nécessaire (Indicateurs)	Conclusions de l'Etude/Centres d'intérêt
Aspects Politiques		
Continuation de l'appui politique	Le renforcement de la qualité de l'enseignement élémentaire et la promotion de l'enseignement des mathématiques et des sciences constituent ils une priorité de la stratégie nationale?	<ul style="list-style-type: none"> ○ Programme d'Amélioration de la Qualité, de l'Equité et de la Transparence (PAQUET) 2013-2025 met l'accent sur l'amélioration de la qualité des enseignants/apprentissages et la promotion de la qualité de l'éducation. L'accent est également sur le programme de promotion du développement des l'enseignement des Sciences, de la Technologie et des Innovations (STI). ○ L'importance de la formation des enseignants pour un enseignement de base de qualité, ainsi que la promotion des sciences et de la technologie sont stipulés dans la politique nationale d'éducation du Sénégal, garantissant ainsi l'engagement continu du Gouvernement du Sénégal en faveur du Projet.
	Le Ministère de l'Education a-t-il défini une stratégie par rapport à l'institutionnalisation des INSET et à l continuation des activités des C.A.P.?	<ul style="list-style-type: none"> ○ Le Document de capitalisation du "MODELE DE FORMATION CONTINUE DU PREMST" a été validé par le Ministère de l'Education à l'occasion de l'atelier tenu le 30 août 2013. Le modèle concerne la diffusion du nouveau planning dans les 14 régions du Sénégal. La note ministérielle relative à cette capitalisation va être publiée. 781646252 letter about this capitalization will be issued ○ Pour les 6 régions de la 2^{ème} zone d'extension, la Formation à Distance est mise en œuvre de 2013 à 2014, après l'achèvement du projet, l'Etude de Leçon sera mise en œuvre comme initialement prévu. Cependant, l'introduction des Etudes de Leçon, sans l'appui du Projet pourrait rencontrer des difficultés. De ce fait, en 2014 l'Etude de Leçon sera introduite dans la formation locale au niveau de la 2^{ème} zone d'extension, et le reste de la formation à distance sera mis en œuvre après l'achèvement du Projet.
Aspects Organisationnels		
Système de gestion des INSET	Les Equipes Nationales, Régionales gèrent elles les activités du projet comme une de leur responsabilités majeures?	○ L'équipe Nationale et régionale gère les activités du projet comme leurs fonctions ad hoc.
	Les rôles et responsabilité des différents membres et organisations sont ils clarifiés?	○ Les Rôles et responsabilités des différents membres et organisations sont clairement définis dans le "MODELE DE FORMATION CONTINUE DU PREMST (septembre 2013)".
	Y a-t-il un nombre suffisant d'inspecteur pour assurer la poursuite de la formation et du monitoring des formations modulaires?	○ Comme la plupart des membres de des Equipes Nationales et Régionales sont choisis parmi les inspecteurs, les formateurs PRESET ou INSET, les INSET et le monitoring des écoles correspondent à leur mandat initial. Cependant, le budget des IA et des IEF est très limité, ainsi que leurs moyens logistiques nécessaires aux activités de monitoring des CAP et des écoles.
	Autres aspects liés à la gestion des INSET	○ Le projet doit réfléchir sur la manière de doter les FL et de matériel de formation pour les C.A.P. L'équipe d'évaluation a noté qu'avec le manque de matériel de base il est difficile de conduire avec efficacité la formation.
Aspect Financiers		
Allocation du Budget	Stratégie de sécurisation du budget nécessaire pour les INSET	○ Pour ce qui est du partage des coûts, approximativement 80% des coûts de formation (Formation Régionale, District et Locale) et 50% du coût du monitoring était censé être pris en charge par le gouvernement du Sénégal avant le mois septembre 2013. Présentement, seulement 37% des coûts initiaux ont été pris en charge par la partie sénégalaise.

		<p>Allocation du Budget (sep.2011-sep.2013)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>Activités</th> <th>Plan</th> <th>Actuel</th> <th>%</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Formation Régionale</td> <td>68,158,250</td> <td>23,772,138</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>Formation Locale</td> <td>289,936,000</td> <td>127,445,793</td> <td>44</td> </tr> <tr> <td>Formation Modulaire</td> <td>42,215,000</td> <td>4,612,570</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>M&E</td> <td>55,827,000</td> <td>16,000,000</td> <td>29</td> </tr> <tr> <td>Bureau</td> <td>4,000,000</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>Total</td> <td>460,136,250</td> <td>171,830,501</td> <td>37</td> </tr> </tbody> </table> <p>Source: Rapport du Projet</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ Les dépenses récurrentes de formation après le projet sont estimées dans le “MODELE DE FORMATION CONTINUE DU PREMST (Septembre 2013)”. Les dépenses totales pour la formation locale et l’élaboration des rapports annuels est estimé à 61 410 000 CFA francs par and, soit 1 173 F CFA par enseignant. ○ L’utilisation des lignes du budget national est suggérée dans les Plans de Formation Académique des IA, le Plan d’Amélioration de la Qualité des IEF ou le budget des CRFPE en vue de promouvoir l’apprentissage à long terme. Les activités de Formation au CAP et le monitoring seront intégrées dans les activités courantes des IEF. 	Activités	Plan	Actuel	%	Formation Régionale	68,158,250	23,772,138	35	Formation Locale	289,936,000	127,445,793	44	Formation Modulaire	42,215,000	4,612,570	11	M&E	55,827,000	16,000,000	29	Bureau	4,000,000	0	0	Total	460,136,250	171,830,501	37
Activités	Plan	Actuel	%																											
Formation Régionale	68,158,250	23,772,138	35																											
Formation Locale	289,936,000	127,445,793	44																											
Formation Modulaire	42,215,000	4,612,570	11																											
M&E	55,827,000	16,000,000	29																											
Bureau	4,000,000	0	0																											
Total	460,136,250	171,830,501	37																											
Aspects Techniques																														
Les NT, RT, RC sont ils assez outillés pour fournir des INSET de qualité?	Capacité de gérer les INSET	<ul style="list-style-type: none"> ○ La plupart des participants de la formation Régionale et Locale témoignent leur satisfaction par rapport à la qualité des sessions ; ceci démontre les compétences des NT et RT concernant la facilitation des sessions de formation, en assurant une certaine qualité. ○ La plupart des participants du C.A.P. témoignent leur satisfaction par rapport à la qualité des sessions ; ceci démontre les compétences des LT concernant la facilitation des sessions de formation, en assurant une certaine qualité. Cependant, les mesures prises pour maintenir la qualité des Formations C.A.P. après l’achèvement du projet doivent être prises en compte. 																												
	Capacité de développer des modules de formation	<ul style="list-style-type: none"> ○ L’Equipe Nationale a réussi à développer des modules de formation sur la base des besoins des enseignants du primaire en collaboration avec l’Equipe Régionale. Les NT et RT partagent les modules pendant la Formation Régional. ○ Les modules sont hautement appréciés par les enseignants formés au C.A.P. et la réception des modules est l’une des motivations majeures pour les enseignants de prendre part au C.A.P. Même si certains contenus des modules aient été jugés inappropriés, dès l’étape initiale du projet, la qualité des modules a été améliorée. 																												
	Capacité de conduire le monitoring et évaluation	<ul style="list-style-type: none"> ○ Certains RT ont noté les difficultés liées à la conduite des activités de M&E, en particulier concernant l’analyse des données. 																												

